文部科学省認可通信教育

放送大学
教養学部

2023年度第2学期

面接授業時間割表

九州・沖縄ブロック版

〈開講期間〉2023年10月14日(土)～2024年1月28日(日)

目次

Ⅰ．科目登録の申請等について …… 1

Ⅱ．開設科目一覧

学習センター別面接授業開設科目一覧…… 11

科目区分別面接授業開設科目一覧…… 19

Ⅲ．案内図・授業概要

福岡学習センター…… 22

北九州サテライトスペース…… 34

佐賀学習センター…… 38

長崎学習センター…… 46

熊本学習センター…… 56

大分学習センター…… 66

宮崎学習センター…… 76

鹿児島学習センター…… 86

沖縄学習センター…… 98

Ⅳ．学習センター以外の場所で行う面接授業 …… 110

【巻末資料】

科目追加登録申請書

Ⅰ．科目登録の申請等について

この冊子は、**九州・沖縄ブロック［福岡（北九州サテライトスペース）、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄］**の各学習センターで開設される2023年度第２学期面接授業の時間割表です。

2023年度第２学期面接授業の科目登録に必要な冊子は、次のとおりです。

○「科目登録申請要項（2023年度第２学期）」（科目登録申請票付）
○「2023年度第２学期面接授業開設科目一覧」
○「2023年度第２学期面接授業時間割表［九州・沖縄ブロック版］」（本冊子）
※2019年度第１学期より、授業時間帯が変更になりましたので、ご注意ください。（詳細P2）

なお、九州・沖縄ブロック以外の各学習センターにおける開設科目の詳細（授業概要）につきましては、各学習センターに備え付けの時間割冊子または、放送大学ウェブサイト（https://www.ouj.ac.jp/）をご利用ください。

〔科目登録・履修にあたっての注意事項〕

１．科目登録申請票提出後の変更・追加・取消等はできません。慎重に選択の上申請してください。
※インターネット（システムWAKABA）で科目登録申請する場合は、科目登録申請期間内であれば、科目登録申請画面において変更・追加・取消等ができます。
ただし、すべて取消することはできませんので、その場合は、本部までご連絡ください。

２．授業を欠席しても、他の科目への振り替え、授業料の返還は行いませんのでご了承ください。

３．次の場合、申請しても科目登録されませんので、ご注意ください。
①過去５年以内に単位を修得した面接授業科目と全く同じ科目名の授業を申請した場合
②過去５年以内に単位を修得した面接授業科目と相互に履修制限の関係にある科目を申請した場合（具体的な科目については全国版「面接授業開設科目一覧」の〈申請上の注意〉でご確認ください）
③授業日程が重複する複数の面接授業科目を申請した場合
(申請したもののうち１科目が登録され、その他は登録されません)
④複数の学習センターで開設する科目を受講する際、学習センター間の移動時間として最低１時限分以上の間隔がない場合
（申請したもののうち１科目が登録され、その他は登録されません）
⑤同時に同じ科目名（同じ科目コード）の科目を複数申請した場合
（申請したもののうち１科目が登録され、その他は登録されません）
⑥現在履修中の面接授業科目と全く同じ科目名の授業、または現在履修中の面接授業科目と履修制限の関係にある科目を申請した場合

４．担当講師は、都合により変更する場合があります。授業日程にやむを得ず変更が生じた場合、受講生の方には電話及びキャンパスメール（学生メール）等によりすみやかにお知らせします。なお、授業日程の変更等の際は、交通費等は補償しませんので、あらかじめご了承ください。

講師の病気など、事情により他の講師が代講する場合があります。

担当講師変更・日程変更等についてはウェブサイトに最新情報を随時掲載いたします。

（https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/）

５．2023年度第２学期の九州・沖縄ブロック各学習センターの授業実施時間帯は以下のとおりです。**下記実施時間と異なる科目もありますので、必ず各々の科目の日程・実施時間欄を確認の上受講してください。**

［福岡、北九州、大分面接授業実施時間］

１時限：　９：４５～１１：１５
２時限：１１：２５～１２：５５
３時限：１３：４０～１５：１０
４時限：１５：２０～１６：５０
※２日目
４時限：１５：２０～１６：０５
試験・レポート等：16：05～16：50

［佐賀、宮崎面接授業実施時間］

１時限：　９：３０～１１：００
２時限：１１：１０～１２：４０
３時限：１３：３０～１５：００
４時限：１５：１０～１６：４０
※２日目
４時限：１５：１０～１５：５５
試験・レポート等：15：55～16：40

［鹿児島面接授業実施時間］

１時限：　９：５０～１１：２０
２時限：１１：３０～１３：００
３時限：１３：５０～１５：２０
４時限：１５：３０～１７：００
※２日目
４時限：１５：３０～１６：１５
試験・レポート等：16：15～17：00

［熊本、長崎、沖縄面接授業実施時間］

１時限：１０：００～１１：３０
２時限：１１：４０～１３：１０
３時限：１４：００～１５：３０
４時限：１５：４０～１７：１０
※２日目
４時限：１５：４０～１６：２５
試験・レポート等：16：25～17：10

［鹿児島（鹿児島県立奄美図書館）面接授業実施時間］

１時限：　９：３０～１１：００
２時限：１１：１０～１２：４０
３時限：１３：３０～１５：００
４時限：１５：１０～１６：４０
５時限：１６：５０～１８：０５
試験・レポート等：18：05～18：20
【２日目】
１時限：　９：３０～１１：００
２時限：１１：１０～１２：１０
３時限：１３：００～１４：３０
試験・レポート等：14：30～15：00

６．受講したい科目の選択にあたっては授業概要をご覧ください。科目によっては、「授業テーマ」を記載しておりますが、授業の進捗状況にあわせて、変更する場合がありますのであらかじめご了承願います。

授業受講に際し必要な図書（授業当日必ずご持参いただくもの）は「教科書」として指定しておりますので、受講生の方各自でご用意をお願いいたします。なお、教科書を指定する授業は、本冊子の授業概要に示してあります。

なお、消費税等の変動により、教科書・参考書の価格が表示価格と異なる可能性があります。

［教科書］：授業で使用します。事前に各自で必ず用意しておいてください。
［参考書］：受講する前に読んでおいた方が良いものや授業を理解する上で参考となるものです。（参考書の購入は、必須ではありません）

７．面接授業の成績はⒶ～Ｅの６区分の評価があり、「Ⓐ～Ｃ」の場合１単位が与えられます。授業時間とは別に成績評定のための試験・レポート等＊の時間が設定されます。

＊　筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当講師の指定する方法により実施されます。（シラバスに記載されているので、必ずご確認ください）

＊　フィールドワーク等、一部の科目については試験・レポート等がない場合もあります。

８．カリキュラム改正については、本冊子７～８ページをご参照ください。

９．科目区分の変更に伴う単位の取り扱いについては、本冊子９～10ページをご参照ください。

【心理学実験系科目についてのご注意】

面接授業の心理学実験系科目の受講に際しては、従来から抽選により受講者の決定が行われていますが、2020年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、対面授業の中止(閉講)、定員削減等の措置をとったことから、依然として定員に対して希望者が多い状態となっており、当初の計画どおりに履修できない可能性があります。

本学では、このような事態の改善に向け、定員の増員や追加開講の実施、ライブ Web 授業「心理学実験（基礎）」の新規開講等、種々の計画に取り組んでまいります。

感染症や災害の発生等の非常時における対応として、閉講（中止）、Web（Zoom等）授業への変更や受講制限等の措置をとる可能性があります。それらの情報は、全国の学習センター等からのお知らせや本学ウェブサイト、システムWAKABAにてお知らせいたしますので、定期的にご確認ください。

また、シラバス左下の「実施会場欄」に、“※不測の事態発生時は閉講”または“※不測の事態発生時はWeb（Zoom）授業で実施”と表示していますので、これらの措置が実施される可能性があることをご理解いただき、面接授業の科目登録をご検討ください。

特に卒業見込者、資格取得を主眼とした単位修得を目的とする方は、放送授業やオンライン授業を積極的に受講してください。

【ライブWeb授業について】

Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。学習センターではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講します。2023年度第2学期の授業科目は、**2023年8月初旬にWebサイトでのみ公開**いたします。（本冊子には掲載されません。）詳細は、以下をご確認ください。

＜放送大学Webサイト/選ばれる理由/
いつでも、だれでも、自由な学び方を/ライブWeb授業＞

〔追加科目登録について〕

1　登録申請方法

科目登録決定後空席のある科目については、追加登録受付期間中に科目の追加登録をすることができます。この機会を活かして面接授業にご参加ください。

（追加登録の受付について）

当該科目を開設する学習センター・サテライトスペースで行います。
空席数よりも申請者数が多い場合は、抽選による選考を行います。

（申請方法）

①窓口申請　または　②郵送申請
※北九州サテライトスペース実施科目を郵送申請する場合は、福岡学習センターにご郵送ください。

（必要なもの）

①窓口申請の場合

・追加登録申請書 ・授業料（１科目　5,500円） ・学生証	※希望者が定員を超えた場合、受付初日当日の（10月19日（木））午前10時までに来所の方を対象に抽選を行います。 それ以降は先着順です。 当該学生の学生証をご持参の方であれば、代理人による登録も可能です。

②郵送申請の場合（現金書留にて郵送してください。）

・追加登録申請書 ・授業料（１科目　5,500円） ・学生証のコピー ・返信用封筒（長形3号・84円切手貼付・宛名明記）	※希望者が定員を超えた場合、受付初日2日前（10月17日（火））までに到着したものは、受付初日午前10時までに各学習センター・サテライトスペースへの来所者分と併せて抽選します。 それ以降は先着順です。

※追加登録申請書は、本冊子巻末付録のほか、放送大学ウェブサイトよりダウンロードできます。また、学習センター窓口にも用意しています。
※郵送による申請は現金書留のみでの受付となります。追加登録初日以前に窓口に来所しての受付・お預かりはできません。
※申請の前に空席状況を確認してください。
※期限内に郵便が届かなかったり、申請した科目が満席の場合、あるいは申請内容に不備がある場合は、返送にかかる費用を差し引いた金額をお返ししますので、あらかじめご了承ください。
※授業料は、１科目につき5,500円です。
※科目登録申請（登録）後は、科目の変更・取消、授業料の返還はできませんのでご注意ください。

空席状況の発表：２０２３年１０月１４日（土）12時
追加科目登録期間＊1：**１０月１９日（木）～科目ごとに定められた追加登録受付期限日＊2**
（原則として、開講日の１週間前。一部例外あり＊3）
最終受付期限日　１月１４日（日）

＊１　追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行っておりません。
＊２　各科目の追加登録受付期限日については空席発表時に、放送大学ウェブサイトに掲載します。追加登録の受付開始後は、システムWAKABAで毎日その時々の空席状況を確認することができます。詳しくは本冊子６ページをご参照ください。追加登録受付期限日の前であっても、定員に達し次第、受付を締め切ります。
＊３　授業準備の都合上、追加登録を受け付けない科目、または１週間前まで受け付けられない科目がありますのでご了承ください。
対　象　者：２０２３年度第２学期に学籍のあるすべての全科履修生・選科履修生・科目履修生

◎科目登録・追加科目登録にあたっては、「科目登録申請要項（2023年度第２学期）」をお読みの上、手続きを行ってください。

● 空席状況の確認

受講したい科目を決めたら、その科目に「空席」があるか確認します。空席状況は、「空席発表日」に学習センター・サテライトスペースでの掲示、放送大学ウェブサイトでお知らせします。10月19日（木）15時以降はシステムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認することができます。

10月14日	10月19日　追加登録受付期間終了まで
① 放送大学ウェブサイト 10月14日（土）12時現在の空席状況を公表	② システムWAKABA 10月19日（木）15時～リアルタイムで空席状況を確認

次の手順で空席状況をご確認ください。

① 10月14日　放送大学ウェブサイトで空席状況を公表します。

システムWAKABA

【ログイン方法】

放送大学トップページ→在学生（WAKABA）をクリック→システムWAKABA（教務情報システム）をクリック→**システムWAKABAへログイン**

→面接授業（該当学期）のページ→お知らせ　の「空席状況のお知らせ」に掲載。

面接授業ウェブサイト２学期

② 10月19日15時からは、システムWAKABAで空席の状況をリアルタイムで確認いただけます。

システムWAKABA

【ログイン方法】

放送大学トップページ→在学生（WAKABA）をクリック→システムWAKABA（教務情報システム）をクリック→**システムWAKABAへログイン**

→教務情報→科目登録申請→空席照会をクリック

→希望の科目を検索

空席状況は、検索された時点のものです。
学習センターで申請される際には、空席状況が変わっている場合もありますのであらかじめご了承ください。

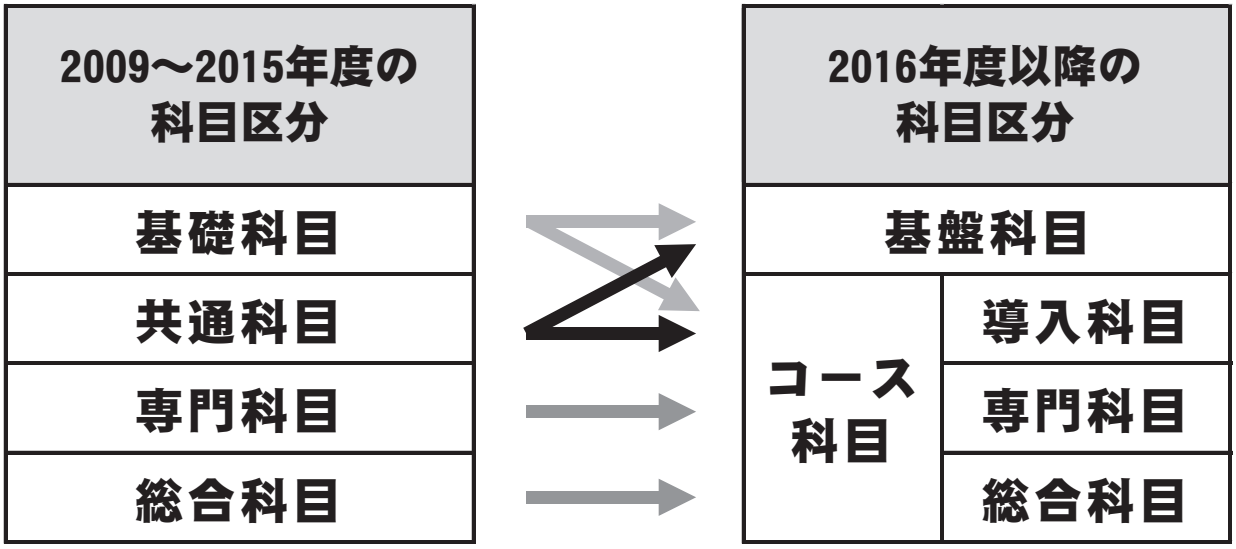
※学習センターによって追加登録の受付方法が異なります。
詳しくは、5ページを確認するか、学習センターへ直接お問い合わせください。

カリキュラム改正について

放送大学は、2016 年度から教養学部のカリキュラム全体を見直し、本学の多様な学生ニーズに対応したカリキュラムによる教育を開始しました。

１、2009～2015 年度カリキュラムの科目区分と 2016 年度以降カリキュラムの科目区分の関係

卒業要件に関わる科目区分を 2015 年度までの「基礎科目、共通科目、専門科目、総合科目」の 4 つから「基盤科目とコース科目（導入科目・専門科目・総合科目）」の 2 区分としています。



2016 年度以降カリキュラムのそれぞれの科目区分の名称と到達目標（定義）は以下のとおりです。

区　分		目　　標
基盤科目		放送大学のすべてのコースにおける学習をするために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身に付けること。 あわせて放送大学で学習することの魅力を知り、学習への意欲を一層強めるために、今日の社会における教養の意義、放送大学における教育の体系、生涯学習等についての理解を深めること。
コース科目	導入科目	各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識及びそこで求められる基礎的な能力を身に付けること。
	専門科目	導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身に付けること。
	総合科目	学際的な知識、分析手法を身に付け、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通じて、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うこと。

２、ナンバリング制の導入

学生が授業内容やレベルを勘案して授業科目を履修できるように、授業科目に番号を付し、分類するナンバリング制を導入し、履修の順序、学問体系のつながりを示すことで教育体系の「見える化」を実現しました。

ナンバリングレベル表示	初級（10）	中級（20）	上級（30）
総合科目（400）	410	420	430
専門科目（300）	310	320	330
導入科目（200）	210	220	230
基盤科目（100）	110	120	130

＜参考＞シラバスの見方について

カリキュラムの科目区分およびナンバリングレベルを表示しています。

科目コード	
学習センター	
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	新・初歩からのパソコン
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	○○　○○ 放送大学教授
日程 実施時間	○月○日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 ○月○日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター ※不測の事態発生時は○○○

授業概要

【授業内容】
これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
【授業テーマ】
第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル）
第2回 ワードによる文書作成とPDF保存
第3回 Webとメールの活用
第4回 セキュリティ
第5回 システムWAKABA・自己学習サイト
第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス
第7回 オンライン授業の実践
第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）
【学生へのメッセージ】
基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。）
学生証　授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。
【教科書】
・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
授業当日に配付します
【参考書】
・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。／¥0）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。

感染症や災害発生等の非常時における対応を表示しています。
※不測の事態発生時は閉講
又は
※不測の事態発生時は Web(Zoom)授業で実施

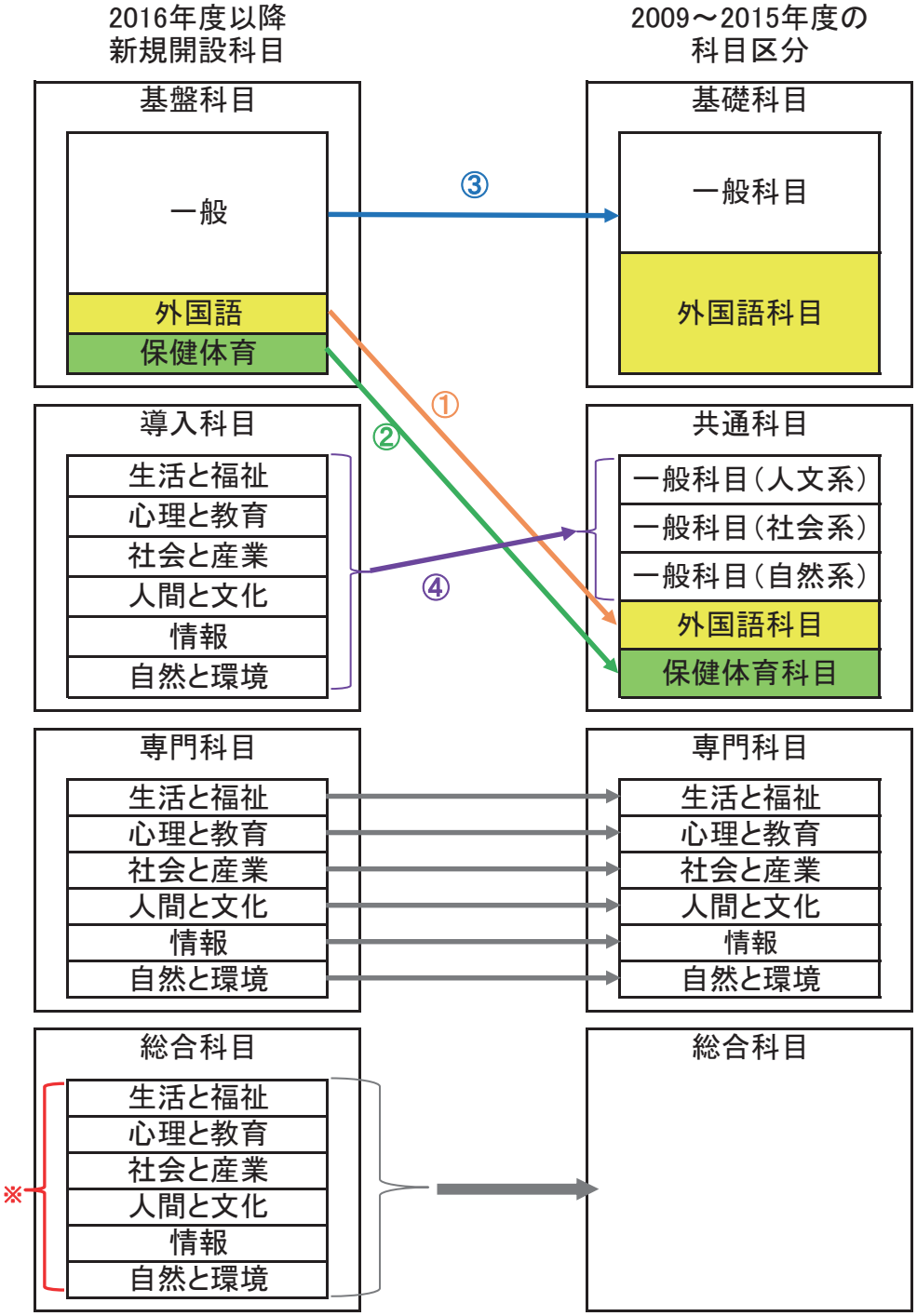
2009～2015 年度カリキュラムで該当する科目区分を表示しています。

科目区分の変更に伴う単位の取り扱いについて

2016年度のカリキュラム改正により科目区分が変わりました。この変更に伴う修得単位の取り扱い（以下「読み替え」という）は、入学年度（所属カリキュラム）により以下のとおりとなります。

i ）2009～2015年度入学者が2016年度以降の新規開設科目の単位を修得した場合

① 外国語は、共通科目（外国語科目）に読み替える。
② 保健体育は、共通科目（保健体育科目）に読み替える。
③ 外国語と保健体育以外の基盤科目は、基礎科目（一般科目）に読み替える。
④ 導入科目は、共通科目（一般科目、系の別なし）に読み替える。



※　面接授業では、コースを区別せず所属のコース科目として扱います。

ⅱ 2016年度以降の入学者が2015年度以前の開設科目の単位を修得している場合
（2015年度以前の入学者が2016年度の新カリキュラムへ移行する場合も同様）

＜基盤科目への読み替え＞

① まず、外国語科目と保健体育科目はすべて基盤科目に読み替える。

② この読み替えにおいて14単位を超えなければ、次に、その他の基礎科目と共通科目について単位修得の古い順から基盤科目に読み替える。（外国語・保健体育と合わせて14単位を満たすまで）

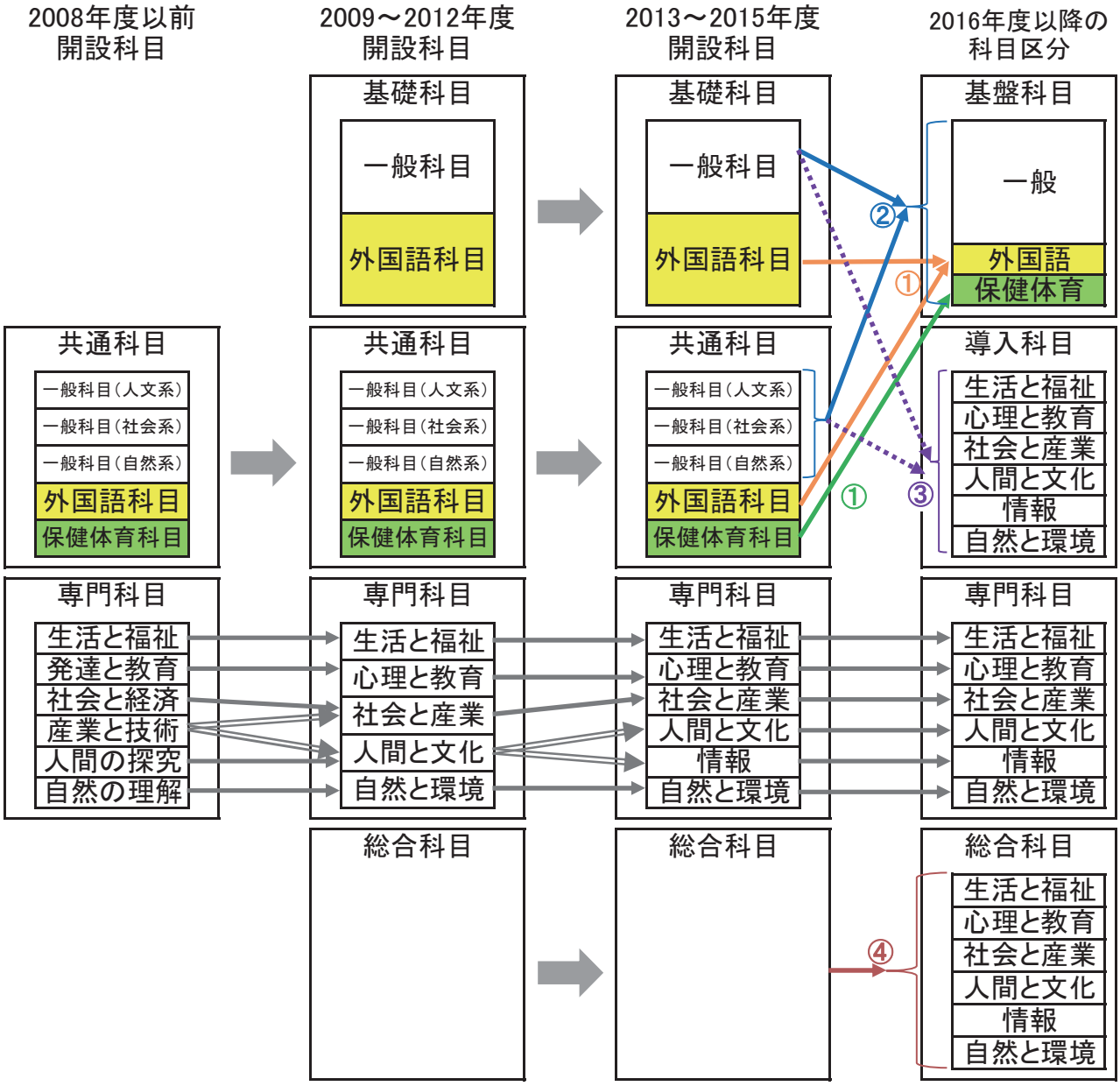
＜導入科目への読み替え＞

③ 上記①、②で基盤科目として読みかえられなかった基礎科目と共通科目は、すべて導入科目（自コース開設扱い）に読み替える。

＜総合科目への読み替え＞

④ 総合科目は総合科目（自コース開設扱い）に読み替える。

※ 産業と技術専攻の情報系の専門科目は、人間と文化コースの専門科目に読み替える。ただし、2008年度以前の面接授業については、社会と産業コースの専門科目に読み替える。
人間と文化コース（旧 産業と技術）の情報系の専門科目を2012年度までに修得した場合は、所属コースにより人間と文化コース又は情報コースの専門科目に読み替える。



＊ただし、2016年度以降の新規開設科目は、この取り扱いに該当しない。

Ⅱ．開設科目一覧

学習センター別面接授業開設科目一覧

【福岡学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	10月21日(土) 10月28日(土)	笠原義晃	23
基盤科目：外国語	科学の不思議を英語で読む	11月４日(土) 11月５日(日)	松村瑞子	25
導入科目：人間と文化	近年の大宰府史跡の調査研究成果	11月15日(水) 11月16日(木)	進村真之 他３名	28
専門科目：生活と福祉	生物としてのヒトと生活する人間	10月21日(土) 10月22日(日)	安河内朗	23
専門科目：生活と福祉	生活習慣病の予防にむけて	11月18日(土) 11月19日(日)	樗木晶子	28
専門科目：心理と教育	職場活性化の組織心理学	10月21日(土) 10月22日(日)	池田浩	24
専門科目：心理と教育	心理学実験１	11月４日(土) 11月５日(日)	山本健太郎	25
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月11日(土) 11月12日(日)	金子周平	26
専門科目：心理と教育	心理学実験３	11月18日(土) 11月25日(土)	分部利紘	29
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月24日(金) 12月１日(金)	花田利郎	30
専門科目：心理と教育	心理学実験２	12月16日(土) 12月17日(日)	藤村まこと	32
専門科目：社会と産業	日本と中国の現実から学ぶ経済学	11月12日(日) 11月19日(日)	堀井伸浩	27
専門科目：社会と産業	犯罪と刑事裁判	11月25日(土) 11月26日(日)	田淵浩二	30
専門科目：人間と文化	博物館を学ぶ	11月９日(木) 11月10日(金)	白井克也 他７名	26
専門科目：人間と文化	大宰府の成立３	12月16日(土) 12月17日(日)	坂上康俊	32
専門科目：情報	社会基盤としてのネットワーク	11月18日(土) 11月25日(土)	藤村直美	29
専門科目：情報	デジタルメディアと社会	12月９日(土) 12月10日(日)	青木久美子	31
専門科目：情報	情報化社会における図書館	12月９日(土) 12月10日(日)	渡邊由紀子	31
専門科目：情報	ＤＸデザイン	12月16日(土) 12月17日(日)	富松潔	33
専門科目：自然と環境	自然災害と防災	11月11日(土) 11月12日(日)	笠間清伸 他６名	27
総合科目	社会物理学と歴史文学の視座	10月28日(土) 10月29日(日)	谷本潤	24

【北九州サテライトスペース開設科目】

科　目　区　分	科　　目　　名	開　講　日	担 当 講 師	掲載ページ
基盤科目	レポート作成の基本２０２３	10月21日(土) 11月４日(土)	渡　邊　淳　子	35
基盤科目：外国語	韓国の言語と文化基礎	10月14日(土) 10月15日(日)	李　　相　穆	35
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月18日(土) 11月19日(日)	税　田　慶　昭	36
専門科目：心理と教育	変わる道徳教育	11月25日(土) 11月26日(日)	堺　　正　之	37
専門科目：社会と産業	企業社会論	11月11日(土) 11月12日(日)	平　野　　琢	36
専門科目：自然と環境	変動する大地：地球科学の基礎	12月16日(土) 12月17日(日)	小山内　康　人	37

【佐賀学習センター開設科目】

科　目　区　分	科　　目　　名	開　講　日	担 当 講 師	掲載ページ
基盤科目：外国語	漢詩で学ぶ初歩の中国語	11月４日(土) 11月５日(日)	古　川　末　喜	39
導入科目：人間と文化	武士の生き方、「葉隠」の世界	11月11日(土) 11月12日(日)	藤　井　祐　介	41
専門科目：生活と福祉	生活を豊かにする看護学	12月23日(土) １月６日(土)	古　賀　明　美 他２名	45
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月９日(木) 11月10日(金)	村久保　雅　孝	40
専門科目：心理と教育	心理学実験１	12月２日(土) 12月３日(日)	田　中　沙来人	43
専門科目：心理と教育	子ども家庭支援の心理学基礎講座	12月２日(土) 12月３日(日)	田　口　香津子	44
専門科目：社会と産業	まちを読み解く	11月４日(土) 11月５日(日)	三　島　伸　雄	39
専門科目：社会と産業	オペレーションズ・マネジメント	12月16日(土) 12月17日(日)	松　井　美　樹	44
専門科目：人間と文化	日本の城と城下町の歴史	11月18日(土) 11月19日(日)	宮　武　正　登	42
専門科目：人間と文化	１６・１７世紀の日本と欧州	11月25日(土) 11月26日(日)	杉　森　哲　也	43
専門科目：情報	データサイエンスの基礎	11月４日(土) 11月５日(日)	皆　本　晃　弥	40
専門科目：情報	ワイヤレス通信の原理と技術	11月18日(土) 11月19日(日)	豊　田　一　彦	42
専門科目：自然と環境	微生物による発酵とは？	１月６日(土) １月７日(日)	小　林　元　太	45
総合科目	読む科学と編集デザイン	11月11日(土) 11月18日(土)	荒　木　博　申	41

【長崎学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	11月５日(日) 11月12日(日)	藤村　誠	48
基盤科目：外国語	フランス語会話入門	11月25日(土) 11月26日(日)	大橋絵理	50
専門科目：生活と福祉	ウイメンズヘルス	11月11日(土) 11月12日(日)	宮原春美	49
専門科目：生活と福祉	健康寿命の延長に向けて２	11月18日(土) 11月19日(日)	宮明寿光 他７名	49
専門科目：生活と福祉	児童虐待の理解と対応	12月９日(土) 12月10日(日)	柿田多佳子 他３名	52
専門科目：心理と教育	心理学実験２	10月21日(土) 10月22日(日)	吉武久美子	47
専門科目：心理と教育	心理学実験１	11月４日(土) 11月11日(土)	前原由喜夫	47
専門科目：心理と教育	社会心理学入門	12月９日(土) 12月10日(日)	森　津太子	53
専門科目：心理と教育	学校カウンセリング技法	12月16日(土) 12月17日(日)	内野成美	53
専門科目：心理と教育	心理学実験３	12月23日(土) 12月24日(日)	加來秀俊	54
専門科目：社会と産業	電気と社会	11月25日(土) 11月26日(日)	山下敬彦 古里友宏	51
専門科目：社会と産業	ＳＤＧｓと未来のエネルギー社会	12月23日(土) 12月24日(日)	藤本　登	55
専門科目：人間と文化	伝統的絵画表現	12月２日(土) 12月３日(日)	牧野一穂	51
専門科目：人間と文化	絵巻物に学ぶ長崎唐人貿易	12月16日(土) 12月17日(日)	砂﨑素子	54
専門科目：情報	３ＤＣＧ入門：まなぴーを作ろう	11月18日(土) 11月19日(日)	浅井紀久夫	50
専門科目：自然と環境	地震の科学入門	11月４日(土) 11月５日(日)	馬越孝道	48
専門科目：自然と環境	身近にある毒を知る：パート２	12月２日(土) 12月３日(日)	山下樹三裕	52

【熊本学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	論文・レポートの書き方	11月４日(土) 11月５日(日)	田畑博敏	60
基盤科目	新・初歩からのパソコン	12月２日(土) 12月３日(日)	中野裕司	62
基盤科目：外国語	英語を楽しく読む	12月２日(土) 12月９日(土)	齋藤靖	62
導入科目：人間と文化	規範倫理学入門	10月28日(土) 10月29日(日)	田中朋弘	59
専門科目：生活と福祉	最期まで自分らしくを支えるケア	10月22日(日) 10月29日(日)	村上美華 他２名	59
専門科目：生活と福祉	心臓病への対処	12月３日(日) 12月17日(日)	副島弘文	63
専門科目：心理と教育	心理学実験２	10月14日(土) 10月15日(日)	渡辺功	57
専門科目：心理と教育	心理学実験２	10月21日(土) 10月28日(土)	渡辺功	58
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月18日(土) 11月19日(日)	橋口真人	60
専門科目：心理と教育	発達が気になる子どもの支援	12月16日(土) 12月17日(日)	大河内彩子	64
専門科目：心理と教育	災害支援の心理学	12月23日(土) 12月24日(日)	古賀香代子	64
専門科目：社会と産業	人口減少時代の地域づくり	10月21日(土) 10月22日(日)	金岡省吾 他３名	58
専門科目：社会と産業	沿岸域の生物多様性と水産資源	12月９日(土) 12月10日(日)	逸見泰久	63
専門科目：人間と文化	西洋建築史研究のエッセンス	11月25日(土) 11月26日(日)	吉武隆一	61
専門科目：情報	プログラミングの学び方と教え方	11月18日(土) 11月19日(日)	辰己丈夫	61
専門科目：自然と環境	宇宙と地球と石ころの不思議	10月14日(土) 10月15日(日)	西山忠男	57
専門科目：自然と環境	光と色の化学－光編	12月23日(土) 12月24日(日)	藤本斉	65

【大分学習センター開設科目】

科　目　区　分	科　　目　　名	開　講　日	担 当 講 師	掲載ページ
基盤科目	論文･レポートの書き方基礎	10月28日(土) 10月29日(日)	大　下　晴　美	69
導入科目：生活と福祉	大分県郷土料理を探る	12月２日(土) 12月３日(日)	望　月　美左子	71
導入科目：人間と文化	大分の小説を読む	10月14日(土) 10月15日(日)	山　田　繁　伸	67
導入科目：情報	情報整理１	10月21日(土) 10月22日(日)	鈴　木　雄　清	68
導入科目：情報	情報整理２	12月２日(土) 12月３日(日)	後　藤　善　友	71
導入科目：自然と環境	大分の水と温泉	10月28日(土) 10月29日(日)	大　上　和　敏	69
導入科目：自然と環境	はじめて学ぶ香りの科学	11月25日(土) 11月26日(日)	坂　本　幸　司 塩　屋　幸　樹	70
専門科目：生活と福祉	リハビリテーションの科学	12月９日(土) 12月10日(日)	阿　南　雅　也	72
専門科目：心理と教育	心理学実験２	10月14日(土) 10月15日(日)	森　下　　覚	67
専門科目：心理と教育	発達障害の理解と支援	11月11日(土) 11月12日(日)	佐　藤　晋　治	70
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	12月２日(土) 12月３日(日)	中　村　廣　光	72
専門科目：社会と産業	データ分析と経済学	12月16日(土) 12月17日(日)	下　田　憲　雄	73
専門科目：社会と産業	財務諸表分析と投資	12月16日(土) 12月17日(日)	鵜　崎　清　貴	74
専門科目：人間と文化	梅園のみた国東の宇宙－鬼の里	10月21日(土) 10月22日(日)	飯　沼　賢　司	68
専門科目：情報	生涯学習時代のｅラーニング	12月９日(土) 12月10日(日)	山　田　恒　夫	73

【宮崎学習センター開設科目】

科　目　区　分	科　　目　　名	開　講　日	担 当 講 師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	10月21日(土) 10月22日(日)	坂　本　眞　人	77
基盤科目	ホスピタリティとマナーを考える	12月２日(土) 12月３日(日)	柚木崎　千　春	81
基盤科目：外国語	コミュニケーション英語	10月28日(土) 10月29日(日)	福　島　三穂子	78
基盤科目：外国語	韓国語入門	11月18日(土) 11月19日(日)	韓　　壽　燕	80
導入科目：生活と福祉	病気と薬：薬物治療入門	10月21日(土) 10月22日(日)	柳　田　俊　彦	77
導入科目：社会と産業	会計学２－税務会計（所得税）－	11月25日(土) 11月26日(日)	土　田　　博	81
導入科目：情報	データサイエンス入門	11月11日(土) 11月12日(日)	藤　井　良　宜	79
専門科目：生活と福祉	精神保健学	12月23日(土) 12月24日(日)	川　村　道　子	84
専門科目：心理と教育	行動論的カウンセリング	10月28日(土) 10月29日(日)	前　田　直　樹	78
専門科目：心理と教育	臨床心理学	11月11日(土) 11月12日(日)	宮　野　秀　市	80
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	12月２日(土) 12月３日(日)	小　澤　拓　大	82
専門科目：心理と教育	心理学実験３	12月９日(土) 12月10日(日)	内　藤　健　一	82
専門科目：人間と文化	旧暦と年中行事	11月４日(土) 11月５日(日)	永　松　　敦	79
専門科目：人間と文化	漢字の歴史と文化	12月９日(土) 12月10日(日)	山　元　宣　宏	83
専門科目：自然と環境	果樹園芸科学	12月16日(土) 12月17日(日)	鉄　村　琢　哉	83

【鹿児島学習センター開設科目】

科　目　区　分	科　　目　　名	開　講　日	担 当 講 師	掲載ページ
基盤科目：外国語	中国語で話してみよう	10月28日(土) 10月29日(日)	寺　西　光　輝	89
基盤科目：外国語	観光とおもてなしのための英語	12月９日(土) 12月10日(日)	山　崎　美智子	94
導入科目：生活と福祉	精神的健康のセルフマネジメント	12月２日(土) 12月３日(日)	山　下　亜矢子	94
導入科目：社会と産業	戦後日本政治入門	10月14日(土) 10月15日(日)	平　井　一　臣	87
導入科目：社会と産業	発酵食品のひみつ	11月25日(土) 11月26日(日)	髙　峯　和　則	93
導入科目：社会と産業	日本経済の概観－現状と課題－	12月９日(土) 12月10日(日)	石　塚　孔　信	95
導入科目：人間と文化	近代天皇制から象徴天皇制へ	11月９日(木) 11月10日(金)	茶　谷　誠　一	91
導入科目：人間と文化	唐詩へのいざない	11月25日(土) 11月26日(日)	高　津　　孝	96
導入科目：情報	画像記号による計算機操作の基礎	10月21日(土) 10月22日(日)	内　山　博　之	88
導入科目：自然と環境	水族館学入門	12月16日(土) 12月17日(日)	佐々木　　章 他２名	95
専門科目：生活と福祉	認知症と高齢者のこころの病気	10月20日(金) 10月27日(金)	長　友　医　継	88
専門科目：生活と福祉	リスクコミュニケーション論	10月28日(土) 10月29日(日)	奈　良　由美子	90
専門科目：生活と福祉	リスクコミュニケーション論	10月28日(土) 10月29日(日)	奈　良　由美子	96
専門科目：心理と教育	心理学実験２	10月14日(土) 10月15日(日)	田　爪　宏　二	87
専門科目：心理と教育	心理アセスメントの基礎	10月21日(土) 10月22日(日)	関　山　　徹	89
専門科目：心理と教育	心理学実験３	11月25日(土) 11月26日(日)	有　倉　巳　幸	93
専門科目：社会と産業	鹿児島の地域課題と政策２	11月11日(土) 11月12日(日)	西　　啓一郎 他３名	91
専門科目：人間と文化	宮沢賢治の童話を読む	11月４日(土) 11月５日(日)	村　瀬　士　朗	90
専門科目：人間と文化	建築のカタチを考える	11月18日(土) 11月19日(日)	柴　田　晃　宏	92
専門科目：自然と環境	鹿児島の自然環境と土砂災害	11月18日(土) 11月19日(日)	寺　本　行　芳	92

【沖縄学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	お金についての本当の話	10月21日(土) 10月22日(日)	日熊隆則	100
基盤科目	新・初歩からのパソコン	10月28日(土) 10月29日(日)	國田樹	101
基盤科目	日本語教育の世界～入門編～	12月２日(土) 12月３日(日)	尚真貴子	106
基盤科目：外国語	基礎からはじめる英語	10月28日(土) 10月29日(日)	大城賢	102
専門科目：生活と福祉	怒り解消のアンガーマネジメント	10月21日(土) 10月22日(日)	大湾知子	100
専門科目：生活と福祉	老年学への招待	10月28日(土) 10月29日(日)	下地敏洋	102
専門科目：生活と福祉	健康生成論とストレス対処力	11月11日(土) 11月12日(日)	戸ヶ里泰典	108
専門科目：心理と教育	心理学実験２	10月21日(土) 10月22日(日)	古川卓	101
専門科目：心理と教育	脳の機能とその異常の物質的理解	10月28日(土) 10月29日(日)	山本秀幸	103
専門科目：心理と教育	心理学実験１	11月11日(土) 11月12日(日)	遠藤光男	104
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月11日(土) 11月12日(日)	田中寛二	105
専門科目：心理と教育	家族心理学	12月９日(土) 12月10日(日)	井村弘子	107
専門科目：心理と教育	心理学実験３	12月16日(土) 12月17日(日)	廣瀬等	107
専門科目：人間と文化	南島考古学	10月14日(土) 10月15日(日)	上原静	99
専門科目：人間と文化	世界文化遺産というシステム	12月２日(土) 12月３日(日)	河野俊行	106
専門科目：人間と文化	ユーラシアの都市と交通空間	12月16日(土) 12月17日(日)	長部悦弘	108
専門科目：情報	ＡＩ・機械学習入門	11月４日(土) 11月５日(日)	宮田龍太	103
専門科目：自然と環境	神経科学入門	10月14日(土) 10月15日(日)	高木博	99
専門科目：自然と環境	やさいの機能性	11月４日(土) 11月５日(日)	上地俊徳	104
専門科目：自然と環境	沖縄の自然環境と世界自然遺産	11月11日(土) 11月12日(日)	佐々木健志	105

科目区分別面接授業開設科目一覧

【基盤科目】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
新・初歩からのパソコン	福　岡	23
レポート作成の基本２０２３	北九州	35
新・初歩からのパソコン	長　崎	48
論文・レポートの書き方	熊　本	60
新・初歩からのパソコン	熊　本	62
論文・レポートの書き方基礎	大　分	69
新・初歩からのパソコン	宮　崎	77
ホスピタリティとマナーを考える	宮　崎	81
お金についての本当の話	沖　縄	100
新・初歩からのパソコン	沖　縄	101
日本語教育の世界～入門編～	沖　縄	106

【基盤科目：外国語】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
科学の不思議を英語で読む	福　岡	25
韓国の言語と文化基礎	北九州	35
漢詩で学ぶ初歩の中国語	佐　賀	39
フランス語会話入門	長　崎	50
英語を楽しく読む	熊　本	62
コミュニケーション英語	宮　崎	78
韓国語入門	宮　崎	80
中国語で話してみよう	鹿児島	89
観光とおもてなしのための英語	鹿児島	94
基礎からはじめる英語	沖　縄	102

【導入科目：生活と福祉】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
大分県郷土料理を探る	大　分	71
病気と薬：薬物治療入門	宮　崎	77
精神的健康のセルフマネジメント	鹿児島	94

【導入科目：社会と産業】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
会計学２－税務会計（所得税）－	宮　崎	81
戦後日本政治入門	鹿児島	87
発酵食品のひみつ	鹿児島	93
日本経済の概観－現状と課題－	鹿児島	95

【導入科目：人間と文化】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
近年の大宰府史跡の調査研究成果	福　岡	28
武士の生き方、「葉隠」の世界	佐　賀	41
規範倫理学入門	熊　本	59
大分の小説を読む	大　分	67
近代天皇制から象徴天皇制へ	鹿児島	91
唐詩へのいざない	鹿児島	96

【導入科目：情報】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
情報整理１	大　分	68
情報整理２	大　分	71
データサイエンス入門	宮　崎	79
画像記号による計算機操作の基礎	鹿児島	88

【導入科目：自然と環境】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
大分の水と温泉	大　分	69
はじめて学ぶ香りの科学	大　分	70
水族館学入門	鹿児島	95

【専門科目：生活と福祉】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
生物としてのヒトと生活する人間	福　岡	23
生活習慣病の予防にむけて	福　岡	28
生活を豊かにする看護学	佐　賀	45
ウイメンズヘルス	長　崎	49
健康寿命の延長に向けて２	長　崎	49
児童虐待の理解と対応	長　崎	52
最期まで自分らしくを支えるケア	熊　本	59
心臓病への対処	熊　本	63
リハビリテーションの科学	大　分	72
精神保健学	宮　崎	84
認知症と高齢者のこころの病気	鹿児島	88
リスクコミュニケーション論	鹿児島	90
リスクコミュニケーション論	鹿児島	96
怒り解消のアンガーマネジメント	沖　縄	100
老年学への招待	沖　縄	102
健康生成論とストレス対処力	沖　縄	108

【専門科目：心理と教育】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
職場活性化の組織心理学	福　岡	24
心理学実験１	福　岡	25
心理検査法基礎実習	福　岡	26
心理学実験３	福　岡	29
心理検査法基礎実習	福　岡	30
心理学実験２	福　岡	32
心理検査法基礎実習	北九州	36
変わる道徳教育	北九州	37
心理検査法基礎実習	佐　賀	40
心理学実験１	佐　賀	43
子ども家庭支援の心理学基礎講座	佐　賀	44
心理学実験２	長　崎	47
心理学実験１	長　崎	47
社会心理学入門	長　崎	53
学校カウンセリング技法	長　崎	53
心理学実験３	長　崎	54
心理学実験２	熊　本	57
心理学実験２	熊　本	58
心理検査法基礎実習	熊　本	60
発達が気になる子どもの支援	熊　本	64
災害支援の心理学	熊　本	64
心理学実験２	大　分	67
発達障害の理解と支援	大　分	70
心理検査法基礎実習	大　分	72
行動論的カウンセリング	宮　崎	78
臨床心理学	宮　崎	80
心理検査法基礎実習	宮　崎	82
心理学実験３	宮　崎	82
心理学実験２	鹿児島	87
心理アセスメントの基礎	鹿児島	89
心理学実験３	鹿児島	93
心理学実験２	沖　縄	101
脳の機能とその異常の物質的理解	沖　縄	103
心理学実験１	沖　縄	104
心理検査法基礎実習	沖　縄	105
家族心理学	沖　縄	107
心理学実験３	沖　縄	107

【専門科目：社会と産業】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
日本と中国の現実から学ぶ経済学	福　岡	27
犯罪と刑事裁判	福　岡	30
企業社会論	北九州	36
まちを読み解く	佐　賀	39
オペレーションズ・マネジメント	佐　賀	44
電気と社会	長　崎	51
ＳＤＧｓと未来のエネルギー社会	長　崎	55
人口減少時代の地域づくり	熊　本	58
沿岸域の生物多様性と水産資源	熊　本	63
データ分析と経済学	大　分	73
財務諸表分析と投資	大　分	74
鹿児島の地域課題と政策２	鹿児島	91

【専門科目：人間と文化】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
博物館を学ぶ	福　岡	26
大宰府の成立３	福　岡	32
日本の城と城下町の歴史	佐　賀	42
１６・１７世紀の日本と欧州	佐　賀	43
伝統的絵画表現	長　崎	51
絵巻物に学ぶ長崎唐人貿易	長　崎	54
西洋建築史研究のエッセンス	熊　本	61
梅園のみた国東の宇宙－鬼の里	大　分	68
旧暦と年中行事	宮　崎	79
漢字の歴史と文化	宮　崎	83
宮沢賢治の童話を読む	鹿児島	90
建築のカタチを考える	鹿児島	92
南島考古学	沖　縄	99
世界文化遺産というシステム	沖　縄	106
ユーラシアの都市と交通空間	沖　縄	108

【専門科目：情報】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
社会基盤としてのネットワーク	福　岡	29
デジタルメディアと社会	福　岡	31
情報化社会における図書館	福　岡	31
ＤＸデザイン	福　岡	33
データサイエンスの基礎	佐　賀	40
ワイヤレス通信の原理と技術	佐　賀	42
３ＤＣＧ入門：まなぴーを作ろう	長　崎	50
プログラミングの学び方と教え方	熊　本	61
生涯学習時代のｅラーニング	大　分	73
ＡＩ・機械学習入門	沖　縄	103

【専門科目：自然と環境】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
自然災害と防災	福　岡	27
変動する大地：地球科学の基礎	北九州	37
微生物による発酵とは？	佐　賀	45
地震の科学入門	長　崎	48
身近にある毒を知る：パート２	長　崎	52
宇宙と地球と石ころの不思議	熊　本	57
光と色の化学－光編	熊　本	65
果樹園芸科学	宮　崎	83
鹿児島の自然環境と土砂災害	鹿児島	92
神経科学入門	沖　縄	99
やさいの機能性	沖　縄	104
沖縄の自然環境と世界自然遺産	沖　縄	105

【総合科目】

科　　目　　名	学習センター	掲載ページ
社会物理学と歴史文学の視座	福　岡	24
読む科学と編集デザイン	佐　賀	41

Ⅲ. 案内図・授業概要

福岡学習センター
（コード：４０Ａ）

福岡学習センター案内図　☎092-585-3033

【所在地】〒816-0811　春日市春日公園６－１（九州大学筑紫キャンパス内E棟４・５階）

【交通アクセス】
（１）JR大野城駅西口から徒歩7分　（JR博多駅から快速9分・普通20分）
（２）西鉄白木原駅から徒歩20分
※土日に限り、九州大学筑紫キャンパス内の駐車場を利用できます。（入口は「春日公園3」1ヵ所です）
※大野城門からは徒歩のみ通行可。

【その他連絡事項】
（教科書について）
・各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。福岡学習センターでは販売しておりません。
（出欠について）
・教室内に準備している「出欠確認表」に各自署名してください。「出欠確認表」は時限毎に準備していますので1日4枚（2日間で8枚）となります。署名忘れは欠席扱いとなりますので忘れず署名してください。
（昼食について）
・平日・土曜日については、九州大学筑紫キャンパス内の学食をご利用いただけます。
（利用時間：火～金10:30～15:00・17:00～20:00、土 10:30～14:00 **※日曜日は休み** ※変更が生じる場合があります。）
・福岡学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。
（宿泊施設について）
・JR大野城駅周辺には、宿泊施設はありません。JR博多駅周辺の宿泊施設をご利用ください。福岡市内のホテルは、コンサート等のイベント開催により、予約を取ることが難しくなる場合がありますので、早めの予約をお勧めします。（南福岡、二日市、鳥栖、久留米エリア等の宿泊施設もご確認ください）

科目コード	2624516
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	24名
担当講師	笠原（カサハラ）　義晃（ヨシアキ） 九州大学 情報基盤研究開発センター助教
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月28日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター PC実習室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。

【授業テーマ】
第１回　パソコンの基本操作（キーボード入力･マウス操作･オンライン授業に必要な基本スキル）
第２回　Wordによる文書作成とPDF保存
第３回　Webとメールの活用
第４回　セキュリティ
第５回　システムWAKABA・自己学習サイト
第６回　放送大学附属図書館の電子情報サービス
第７回　オンライン授業の実践
第８回　まとめと振り返り（第７回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）

【学生へのメッセージ】
基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。）
学生証　授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。

【教科書】
新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学）授業当日に配付します。

【参考書】
新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF）ダウンロード方法は授業で説明いたします。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。

科目コード	2634643
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**生物としてのヒトと生活する人間**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	安河内（ヤスコウチ）　朗（アキラ） 九州大学名誉教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月22日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

普段、私たちは自分自身がヒトという生物であることを考えていません。私たちの姿かたちがどのようにつくられ、どのように機能するようになったのか、知らないことばかりです。生理人類学では、私たちのヒトとしての生物学的な正体を理解するために、温熱や光といった物理的環境やヒト集団という環境への適応に注目します。そこから、からだのつくりや機能、感情にどんな役割があるのか、感性とは何か、文化はどのように形成されたのか、社会性動物としてどのようにうまく生きているのか、などについて皆さんと一緒に考えていきます。

【授業テーマ】
第１回　魚からヒトまでの進化の流れと共通性（進化・適応の歴史）
第２回　ヒトの人たる所以はどのように築かれたか（重力環境への適応）
第３回　暑さ寒さとヒトの多様性（温熱環境への適応）
第４回　光とサーカディアンリズムと生活リズム（光環境への適応）
第５回　情動とヒトの行動特性（生命維持と種の保存）
第６回　集団で生きること（人集団への適応）
第７回　感性と文化（人集団への適応）
第８回　生理人類学的快適性とは（地球環境への適応）

【学生へのメッセージ】
自分自身の理解でもあり、自分と生活環境のあり方を考えるチャンスです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
生理人類学 － 人の理解と日常の課題発見のために －（安河内朗・岩永光一編著／理工図書／￥3,300／ISBN=9784844609025）

科目コード	2634660
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**職場活性化の組織心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	池田（イケダ） 浩（ヒロシ） 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月22日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

組織心理学とは、組織（企業や医療など）で働く人々の心理や行動を対象とする学問であり、心理学のなかでも特に現実社会を意識した「応用」的な領域とも言えます。本講義では、組織心理学の中でも職場をいきいきと活性化するための代表的なトピックを扱っていきます。具体的には、ワーク・モチベーション、感謝感情、ウェルビーイング、そしてこれからの時代で求められるリーダーシップについても概説していきます。

【授業テーマ】

第１回　時代の変遷から紐解く組織で求められる心理学的特性
第２回　組織への適応と社会化
第３回　ワーク・モチベーションの源泉
第４回　ワーク・モチベーションのマネジメント
第５回　心を疲弊させる感情労働と仕事への意義
第６回　組織力を高める「感謝」の力
第７回　組織におけるウェルビーイング
第８回　テレワーク時代に求められるセキュアーベース・リーダーシップ

【学生へのメッセージ】

昨今、ウェルビーイングや人的資本経営が注目を集めているように、組織で働く人々を「資源」と考えて統制･管理するアプローチから､働く人々を「資本」と考えて、それにいかに投資していくかに関心が寄せられています。本講義では､それらに関わる新しいテーマを取り上げ､皆さんと考えていきます。また、講義では、資料や映像などを用いて、受講者の皆さんとの討議を積極的に取り入れていきます。

【受講前の準備学習等】

教科書を事前に目を通しておいてください。
また、現在働いている方は、職場の皆さんが活き活きと働くために何が必要か、ご自身の考えをまとめてみてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

教科書

【教科書】

モチベーションに火をつける 働き方の心理学（池田浩／日本法令／￥1,760／ISBN=9784539728116）※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。

科目コード	2634759
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**社会物理学と歴史文学の視座**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	30名
担当講師	谷本（タニモト） 潤（ジュン） 九州大学大学院 総合理工学研究院教授
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月29日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

本講義では数学と統計物理学に基づき複雑な実社会現象にアプローチする手法として、近年の学際領域で着目されている「社会物理学」の概論を述べます。社会物理学とは、人間―環境―社会システムをモデル化し、それに基づく予測評価を与えることで、社会システムの設計に有用な情報を与える枠組みのことです。このような理工学「ど真ん中」の話題にもかかわらず、随所に顔出す歴史･文学への関連。本講義では、皆さんがお持ちの歴史･文学への興味を拠り所に、数学と物理学に裏付けられた科学の前線を垣間見ようとの挑戦です。

【授業テーマ】

第１回　人間－環境－社会システムと社会物理学
第２回　環境問題と私たちの社会；地球環境問題、都市環境問題
第３回　社会効率性の評価の私たちの効用構造
第４回　社会ジレンマと進化ゲーム理論
第５回　実社会における社会ジレンマ；自己欲求の実現 vs 公共性の追求は両立するか？
第６回　シミュレーションとは何か？
第７回　大江戸から東京へ；都市問題と歴史･文学の一コマ
第８回　われらが将来にサステナブル社会はあるか？

【学生へのメッセージ】

歴史･文学と科学は対極にある学問ではありません。両極の端部はループされていて、意外にも両者は親和性が高いのです。このことを脱線交じりの科学最前線の話題で実感しましょう。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この科目は所属コースのコース科目に該当します。

科目コード	2634627
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科　目　名	**科学の不思議を英語で読む**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	130
定　　員	35名
担当講師	松村（マツムラ）　瑞子（ヨシコ） 九州大学名誉教授
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月５日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

身近な自然科学についての疑問、「蜂はどこへ行った？」「脳細胞の再生」「産後のサンゴ」「白クマはなぜ南極にいないのか」「感染症との戦い」などについて、比較的平易な英語で説明する英文を読んで、それに対して意見を述べるという授業を行います。これらの英文を理解する上で必要な文法事項、熟語、慣用句、語彙などに注意を向けながら、内容を詳しく読んでいきます。

【授業テーマ】

第１回　Unit 1 Parasitic Butterflies and Their Host Ants / Unit 2 Where have All the Honeybees Gone?
第２回　Unit 3 He or She? / Unit 4 Brain Regeneration
第３回　Unit 5 Now You See it, Now You Don't: The Invisible Gorilla / Unit 6 Be Careful of Paper－Cuts
第４回　Unit 7 Baby Corals Dance Their Way Home / Unit 8 Monarch Butterfly Migration
第５回　Unit 9 No polar Bears in the Antarctic /Unit 10 Wish Upon a Shooting Star
第６回　Unit 11 It's not Safe Out There! / Unit 12 Come Out, Come Out, Wherever You Are!
第７回　Unit 13 Who Is The Smallest One of All? / Unit 14 Missing Link: Tiktaalik
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】

動物の不思議、人体の不思議、宇宙の不思議など、さまざまのジャンルの自然科学の疑問についての説明を読んでいくことで、「英語で学ぶ」習慣をつけていってもらいたいと思います。それが、科学に対する更なる興味、英語力向上につながっていくと確信しています。

【受講前の準備学習等】

可能であれば、授業を受講する前に、各自以下のテキスト中の英文をざっと読んで、大まかな内容を掴んでおいてください。『科学の不思議～動物・人体・生命・宇宙・進化の世界～』永田博人、Geraldine Twilley. 2015. 南雲堂

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

英和辞典（電子辞書でも可）

【教科書】

『科学の不思議～動物・人体・生命・宇宙・進化の世界～』（永田博人、Geraldine Twilley ／南雲堂／￥1,980 ／ ISBN=9784523178149）※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。

【その他（特記事項）】

この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2624680
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科　目　名	**心理学実験１**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	27名
担当講師	山本（ヤマモト）　健太郎（ケンタロウ） 九州大学大学院 人間環境学研究院講師
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月５日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05
実施会場	福岡学習センター PC実習室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

本授業では、基礎的な心理学実験の体験と、科学論文形式のレポートの作成を通して、心理学研究に必要な基礎的知識と技術の修得を目指します。

取り上げるテーマは、「ミュラー・リヤー錯視」、「アイコニックメモリ」、「心理尺度」です。

単位の修得には全ての回に出席し、その３つの全てのテーマに関してそれぞれレポートを作成・提出することが求められます。

【授業テーマ】

第１回　心理学における研究手法
第２回　ミュラー・リヤー錯視：実験・解説
第３回　ミュラー・リヤー錯視：データ整理
第４回　ミュラー・リヤー錯視：レポート作成法の解説とまとめ方
第５回　アイコニックメモリ：実験・解説
第６回　アイコニックメモリ：データ整理・レポートのまとめ方
第７回　心理尺度：実験・解説
第８回　心理尺度：データ整理・レポートのまとめ方

【学生へのメッセージ】

心理学では科学的な手法を用いて研究を行うことで、人のこころや行動の仕組みについて検討が行われています。この授業を通じて、心理学の方法論を学んでみましょう。

【受講前の準備学習等】

実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

実験データや授業中に作成した図表を持ち帰るため、ＵＳＢメモリ等の記録媒体をご準備ください。レポート作成用としてパソコンを持参しても構いません。但し、持参したパソコンから講義室内にあるプリンターに出力印刷はできません。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

心理学レポート・論文の書き方　演習課題から卒論まで（板口典弘、山本健太郎／講談社／￥2,090 ／ ISBN=9784061548091）

【その他（特記事項）】

心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。

放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。

事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2634694
学習センター(コード)	40A
クラスコード	K
科目名	**博物館を学ぶ**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	白井（シライ）　克也（カツヤ） 九州国立博物館学芸部長 一瀬（イチノセ）　智（トモ） 九州国立博物館展示課主任研究員 川畑（カワバタ）　憲子（ノリコ） 九州国立博物館企画課特別展室長 木川（キガワ）　りか 九州国立博物館博物館科学課長環境保全室長 森實（モリザネ）　久美子（クミコ） 九州国立博物館文化財課資料登録室長 志賀（シガ）　智史（サトシ） 九州国立博物館博物館科学課保存修復室長 加藤（カトウ）　小夜子（サヨコ） 九州国立博物館展示課主任研究員 西島（ニシジマ）　亜木子（アキコ） 九州国立博物館企画課主任研究員
日程実施時間	11月９日（木） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月10日（金） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	九州国立博物館１階研修室 太宰府市石坂4－7－2 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

博物館には「文化財の公開展示」「文化財の保存修復」「文化財の調査研究」「教育普及」の機能があります。これらの４つの機能について、それぞれの立場から研究員・職員が授業を行います。講義や展示室の見学等を通して、国立博物館としての使命・機能について学びます。

【授業テーマ】
第１回　博物館の使命（白井）
第２回　博物館の展示（平常展）（一瀬）
第３回　博物館の展示（特別展）（川畑）
第４回　博物館の環境管理（木川）
第５回　文化財の保管と収集（森實）
第６回　文化財の保存と修理（志賀）
第７回　博物館の教育普及（加藤）
第８回　開かれた博物館への取り組み（西島）

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、九州国立博物館HP等での自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、学生証を持参してください。また、施設観覧料が発生する場合（数百円程度）は自己負担となります。受講者には別途詳細をお知らせします。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
※11/9（木）の閉館は17:00、11/10（金）の閉館は20:00です。
（新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、閉館時間が変更になることがあります）
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2624737
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	金子（カネコ）　周平（シュウヘイ） 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月12日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理検査は、その人らしさを形成している心理的な特徴を多方面から捉えるために用いられます。本授業では様々な心理検査の理論や仕組みについて学び、その目的や方法、倫理問題について理解を深めます。また、実際に複数の心理検査を体験し、それぞれについてレポートを提出する過程で、自己理解を深めつつ、心理検査の手続きやアセスメントの方法について学ぶことを目的とします。受講生は8コマすべてに出席し､4つの検査それぞれについてのレポートと、総合的なまとめのレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理検査の目的、方法、倫理問題
第２回　心理検査の種類とテストバッテリー
第３回　質問紙検査（TEG ３・BDI－Ⅱ）
第４回　投映法検査（バウムテスト）
第５回　質問紙検査（矢田部ギルフォード性格検査）
第６回　報告書や所見の書き方と活かし方
第７回　子ども・高齢者の心理検査
第８回　心理面接におけるアセスメントと心理検査

【学生へのメッセージ】
心理検査は十分に吟味した上で実施されるものです。今回はご自身で心理検査を体験することで、自己理解を深めつつ、検査の目的や方法を具体的に学びます。ご自身の体験やデータを大切に扱い、決して軽い扱いをされないようにしてください。

【受講前の準備学習等】
臨床心理学の概論についての学習を行なっておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
当日は、HBの鉛筆2～3本、消しゴム、定規（小さいもので良いです）を持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
心理アセスメントの理論と実践（高瀬由嗣・関山徹・武藤翔太／岩崎学術出版社／￥3,960／ISBN=9784753311668）更なる学習や、学習の補助として用いる参考書として推薦します。
子どもの発達検査の取り方･活かし方（樋口隆弘／誠信書房／￥2,200／ISBN=9784414416800）子どもの検査を実施する際の様々な配慮を学ぶ参考書として推薦します。

【その他（特記事項）】
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18)」､「心理学研究法（'20)」､「心理学統計法（'21)」を視聴してください。

科目コード	2634740
学習センター(コード)	40A
クラスコード	K
科目名	**自然災害と防災**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	笠間（カサマ） 清伸（キヨノブ） 九州大学大学院工学研究院教授 梶田（カジタ） 幸秀（ユキヒデ） 九州大学大学院工学研究院准教授 林（ハヤシ） 博徳（ヒロノリ） 九州大学大学院工学研究院准教授 田井（タイ） 明（アキラ） 福岡工業大学社会環境学部准教授 三谷（ミタニ） 泰浩（ヤスヒロ） 九州大学大学院工学研究院教授 浅井（アサイ） 光輝（ミツテル） 九州大学大学院工学研究院准教授 中山（ナカヤマ） 裕文（ヒロフミ） 九州大学大学院工学研究院准教授
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月12日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

私たちが住んでいる日本は、地震、火山活動が活発な環太平洋変動帯に位置し、地理的、地形的、気象的諸条件から、台風、豪雨、豪雪等の自然災害が発生しやすい国土となっています。自然災害を未然に防ぎ、災害による被害を最小限に抑えるための法･組織体系、国や県による防災計画、災害･防災情報の収集･伝達システム、住民および企業ができる防災活動など私たちが安心・安全な暮らしをするのに不可欠な防災・減災に関する総合的な社会システムについて学習します。

【授業テーマ】

第１回　ガイダンス＋日本の防災体制（笠間）
第２回　地震と防災（梶田）
第３回　洪水災害時の避難行動について（田井）
第４回　河川と洪水災害（林）
第５回　防災と情報（三谷）
第６回　災害シミュレーション、地震・津波（浅井）
第７回　災害廃棄物の処理（中山）
第８回　地盤災害（笠間）

【学生へのメッセージ】

日本各地で自然災害が頻発し、私たちの生活は常に災害の脅威にさらされています。私たち、友人や家族が、安心して安全に生活していくために、災害や防災に関することを勉強しませんか！

【受講前の準備学習等】

災害時における「自助」、「共助」および「公助」の意味と役割について調べてみてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

講義2日目の最後に書いていただくレポートの提出方法については、原稿用紙に執筆して提出する方法と、パソコン等で作成して提出する方法を選択することができます。

パソコン等で作成する場合は、ノートパソコン、タブレット、スマホなどをご持参ください。ただし、講義室に電源はありませんので、あらかじめ十分な充電等を行ってきてください。

また、学内のWi－Fiを使用したい場合は、事前に所属学習センター事務室へ申請してください。申請には、放送大学システムWAKABAの情報セキュリティ研修を受講（1時間程度）し､小テストに合格すると発行される修了証の提示が必要です。(学生生活の栞参照)

【教科書】

教科書は使用しません。

科目コード	2634678
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**日本と中国の現実から学ぶ経済学**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	堀井（ホリイ） 伸浩（ノブヒロ） 九州大学大学院 経済学研究院准教授
日程実施時間	11月12日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月19日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅲ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

日本を追い抜き、いまや世界第2位の経済大国となった中国。中国経済の成功要因を日本の経済発展の軌跡と比較しながら、経済学の視座から説明します。中国が競争力を持つに至った一方、日本が振るわないのは何故なのか、ヒントを得ることができるはずです。また日中経済の具体的事例の経済学的な解説から、実践的に経済学を学べます。

他方、米中対立やゼロコロナ政策の失政など、今後の中国経済の成長に暗雲が漂っています。中国経済は今後どうなるのか、隣国日本はどのように対処すればよいのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

【授業テーマ】

第１回　経済発展を考える基本的視点－付加価値と生産性に注目する
第２回　政治と市場、それぞれの役割と弊害
第３回　経済発展と産業構造の変化－ペティクラークの法則
第４回　産業の高度化と高所得国への道
第５回　イノベーションと経済成長、イノベーションシステム
第６回　成長の負の側面－環境問題への対処
第７回　履修学生によるディベート・ディスカッション
第８回　講義全体のまとめ

【学生へのメッセージ】

中国を嫌いな人が増えているそうです。しかし隣国である中国の実像をきちんと知ることは重要です。米国がライバル視するほど発展できたのは何故か、今後どうなるのか、この問いに答える知識を学ぶことができます。

【受講前の準備学習等】

可能であれば参考書の2冊、あるいはどちらか１冊に目を通しておいてください。講義の理解を助けると思います。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

『中国経済講義　統計の信頼性から成長のゆくえまで』（梶谷懐／中央公論新社／￥968 ／ ISBN=9784121025067）
『習近平の中国経済－富強と効率と公正のトリレンマ』（石原 享一／筑摩書房／￥858 ／ ISBN=9784480072481）

科目コード	2634635
学習センター(コード)	40A
クラスコード	K
科目名	**近年の大宰府史跡の調査研究成果**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	30名
担当講師	進村（シンムラ）　真之（マサユキ） 九州歴史資料館文化財調査班長 小嶋（コジマ）　篤（アツシ） 九州歴史資料館技術主査 宮地（ミヤジ）　聡一郎（ソウイチロウ） 九州歴史資料館大宰府調査班長 吉田（ヨシダ）　東明（トウメイ） 九州歴史資料館埋蔵文化財調査室長
日程実施時間	11月15日（水） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月16日（木） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05
実施会場	九州歴史資料館、 太宰府市内現地研修 福岡県小郡市三沢5208－3、 太宰府市 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

大宰府は、かつて「遠の朝廷」とも呼ばれ、西海道（九州）を総括し、大陸との外交、軍事の役割を担っていました。その全容解明のため、昭和43（1968）年より福岡県教育委員会による本格的な発掘調査が始められ、毎年、様々な成果があがっています。また、発掘調査の出土品のうち、1700点以上が今年度、重要文化財に指定されることになっています。講義では、大宰府史跡の最新の発掘調査の成果および重要文化財に指定される出土品についてのご紹介を行います。

２日目は、大宰府史跡を巡り、古代の人々の営みを実際に体感していただきます。

【授業テーマ】

第１回　大宰府史跡について（進村）
第２回　蔵司地区の調査成果（小嶋）
第３回　大宰府跡出土品の重要文化財指定（宮地）
第４回　大宰府外郭線の調査成果（吉田）
第５回　視察研修①　大宰府跡（宮地・小嶋）
第６回　視察研修②　太宰府天満宮（宮地・小嶋）
第７回　視察研修③　大野城跡（宮地・小嶋）
第８回　視察研修④　水城跡（宮地・小嶋）

【学生へのメッセージ】

これまで大宰府史跡の調査研究で解明されてきたことを、わかりやすくご紹介します。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

授業２日目は現地研修を行うため、運動に適した服装・靴を着用してください。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

大宰府史跡発掘50年記念特別展「大宰府への道」展示図録（九州歴史資料館／九州歴史資料館／￥1,000）九州歴史資料館で販売。通販可。

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
・授業料とは別に2日目の現地研修で利用するバス代（2,000円程度）が必要です。バス代は当日徴収します。受講生には別途、詳細をお知らせします。
・集合・解散場所は、1日目は九州歴史資料館、2日目は西鉄二日市駅東口となります。
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2634651
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**生活習慣病の予防にむけて**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	樗木（チシャキ）　晶子（アキコ） 福岡看護大学 看護学部教授
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月19日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

我が国は世界でトップの長寿国ですが、健康寿命は男性で約9年、女性で約12年間、平均寿命より短いといわれています。従って、この間は何らかの介護支援を受けて生活しています。健康寿命を短縮する一番の原因は心血管疾患や糖尿病、肥満に起因する生活習慣病です。この面接授業では、生活習慣病の予防に向けて日本人に頻度が高い高血圧、糖尿病、脳卒中、メタボリック症候群、虚血性心疾患、睡眠時無呼吸症候群や口腔の健康などについて基礎的な内容を皆様と一緒に学びたいと思います。

【授業テーマ】

第１回　健康寿命について
第２回　高血圧について
第３回　糖尿病について
第４回　高齢者に多い心房細動と脳梗塞について
第５回　虚血性心疾患について
第６回　睡眠時無呼吸症候群と生活習慣病について
第７回　口腔の健康と全身の健康について
第８回　メタボリック症候群について

【学生へのメッセージ】

受講生の方々の健康管理にも役に立つような話をしたいと思います。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2624710
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験３**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	分部（ワケベ）　利紘（トシヒロ） 西南学院大学 人間科学部准教授
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月25日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05
実施会場	福岡学習センター PC実習室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学における実験法について学ぶため、代表的な実験を３つ実施します。受講生の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加した上で、得られたデータの解析とレポートの作成を行います。そのため、８コマ全ての授業への出席、ならびに３つの実験全てについてのレポートの作成が必要となります。

【授業テーマ】
第１回　実験法の基礎およびレポート執筆の概説
第２回　触2点閾の測定
第３回　データの解析とまとめ
第４回　ストループ効果
第５回　データの解析とまとめ
第６回　鏡映描写
第７回　データの解析とまとめ
第８回　全体のまとめ

【受講前の準備学習等】
触２点閾では閾値、ストループ効果では自動化、鏡映描写では転移について、それぞれ事前に調べておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、レポートをパソコンで作成する予定の方はUSBメモリを用意しておくと便利です。レポート作成用としてパソコンを持参しても構いません。但し、持参したパソコンから講義室内にあるプリンターに出力印刷はできません。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2634716
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**社会基盤としてのネットワーク**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	藤村（フジムラ）　直美（ナオミ） 九州大学名誉教授
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月25日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅲ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

現在、世の中で使用されている固定電話、携帯電話などの通信基盤に加えて、次に示すような、インターネットに関する基本的な知識・技術等について、利用者とアプリケーションの視点から論じます。

OER（Open Educational Resources）
社会制度、電子決済
固定・移動電話、格安SIM
インターネット、
IPアドレス、ドメイン名、
電子メール、ウイルス
暗号化通信、セキュリティ、ファイヤウオール
公開鍵暗号、SSH、SSL

【授業テーマ】
第１回　OER（Open Educational Resources）
第２回　社会制度、電子決済
第３回　固定電話、移動電話
第４回　インターネット
第５回　IPアドレス、ドメイン名
第６回　電子メール、ウイルス
第７回　ファイヤウオール、セキュリティ、暗号化通信
第８回　公開鍵暗号、SSH、SSL

【学生へのメッセージ】
いつも気にせず使用している様々な仕組みとその課題を改めて考えてもらいます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
下記サイトを参考にしてください。
Web（ICER）Network as the Base of Social World
http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/infra_network2015/

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
講義ではパソコンを使用しての作業は行いません。（個人のパソコンを利用して、この授業で学んだことを講義時間外で試していただいても構いません）

科目コード	2624737
学習センター（コード）	40A
クラスコード	L
科　目　名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	28名
担当講師	花田（ハナダ）　利郎（トシロウ） 西南学院大学 人間科学部教授
日程実施時間	11月24日（金） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月１日（金） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

医療、教育、福祉等の現場において用いられる心理検査について考えます。人間のパーソナリティ（性格および知能）や発達等の心理的諸側面を、標準化された手続きと基準により量的に把握する心理検査の基本（特長や限界）について、実際に性格検査等を体験したり、発達検査や知能検査を基にした課題に取り組んだりしながら理解を深めます。

８回の授業全てに出席し、各実習・演習および全体のまとめのレポートを作成し提出する必要があります。

【授業テーマ】

第１回　オリエンテーション（意義、種類）／
　　実習１：心理測定尺度集より「自意識尺度」
第２回　演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法）
第３回　演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法）
第４回　実習２：性格検査（質問紙法、ＴＥＧ３）
第５回　実習２：性格検査（質問紙法、ＴＥＧ３）
第６回　実習３：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査）
第７回　実習３：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査）
第８回　まとめ（テストバッテリー、検査の倫理）

【学生へのメッセージ】

課題の中には、心理検査を実際に体験し自分自身の結果を分析するもの、グループディスカッションを行うもの等もありますので、あらかじめご了承の上、受講してください（著しく負担になる場合は受講をお控えください）。

【受講前の準備学習等】

実習・演習として取り上げる個々の検査についての予習はお控えください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

鉛筆（ＨＢまたはＢ）、赤鉛筆（または赤ペン）、はさみ、のり、携帯用手指消毒液

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。

事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2634686
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科　目　名	**犯罪と刑事裁判**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定　　員	40名
担当講師	田淵（タブチ）　浩二（コウジ） 九州大学大学院 法学研究院教授
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月26日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

この授業では、刑事訴訟の関与者の概略を説明した後、架空の犯罪事件に対する捜査や裁判のストーリーを用いて、捜査のルールや刑事裁判の流れ、裁判員制度の概要、犯罪被害者の権利などの学習を通じて、犯罪からの市民生活の安全を守りつつ、誤判・冤罪の発生をどう防いでいけばよいかという問題を考えてみたいと思います。

【授業テーマ】

第１回　刑事訴訟の関与者
第２回　犯罪捜査のルール
第３回　逮捕・勾留
第４回　被疑者・被告人の防御権
第５回　公判の流れ
第６回　証拠法入門
第７回　裁判員制度の概要
第８回　犯罪被害者の権利

【学生へのメッセージ】

犯罪や刑事裁判はニュースやテレビドラマではよく取り上げられ、興味を持っている人が多いかもしれませんが、実際にはあまり身近な問題ではなく、正確な知識を学ぶ機会は少ないのではないかと思います。しかし、裁判員に選ばれると、有罪・無罪を判断し、量刑をしなければなりません。また、犯罪の被害者として刑事訴訟に関わる可能性もあります。市民の教養として刑事訴訟を学んでみませんか。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

令和４年版犯罪白書（法務省法務総合研究所／政府刊行物）法務省HPからPDF版入手可能。

令和４年版警察白書（国家公判委員会警察庁／日経印刷株式会社）警察庁HPから電子版入手可能。

科目コード	2627868
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**デジタルメディアと社会**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	青木（アオキ）　久美子（クミコ） 放送大学教授
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月10日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター PC実習室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

本授業では、デジタルメディアや情報通信技術（ICT）といった技術の活用・普及が、社会にどのような影響を及ぼしているのか、また、反対に、社会や文化が、デジタルメディアの活用・発展にどのような影響を及ぼしているのか、について考えていきます。また、実際にインターネット上で提供されている無料のツールを試用して、インターネット活用の可能性を体験していただきます。

【授業テーマ】
第１回　デジタルトランスフォーメーション
第２回　モバイルメディア
第３回　ソーシャルメディア
第４回　ジオメディアとメタバース
第５回　デジタル経済
第６回　オンライン学習
第７回　デジタルメディアとプライバシー
第８回　デジタル社会の課題

【学生へのメッセージ】
この授業では、ディスカッションや実習を通して、学生の皆さんに積極的に参加していただきたいと思います。

【受講前の準備学習等】
放送大学システムWAKABAに、少なくとも1度はログインしてみてください。また、放送大学のメール（Gmail）をチェックしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業への参加態度及びレポートの評点により行います。レポート課題では、授業で扱ったトピックについて、今後自分なりにどう向き合っていくのかを最後にまとめてもらいます。

【受講者が当日用意するもの】
放送大学のシステムにログインするためのパスワード

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2634724
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科目名	**情報化社会における図書館**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	渡邊（ワタナベ）　由紀子（ユキコ） 九州大学附属図書館准教授
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月10日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター講義室Ⅰ 及び九州大学附属図書館 筑紫図書館 （１日目４時限） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

いまや図書館は単に本を借りたり、自習したりするだけの場所ではなくなっています。本授業では、最近の公共図書館や大学図書館などの具体的な事例を紹介しながら、情報管理組織の一つである図書館の機能やサービスについて解説します。また、実際に九州大学附属図書館の筑紫図書館を見学します。講義と見学を通じて、現代の情報化社会における図書館の存在意義や可能性について共に考えていきます。

【授業テーマ】
第１回　図書館とはなにか
第２回　図書館の基本的な機能とサービス
第３回　多様化する図書館の情報資源
第４回　大学図書館の実際
第５回　図書館による情報サービス（１）
第６回　図書館による情報サービス（２）
第７回　特徴のある図書館
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】
大学図書館員としての実務経験も交えてお話をします。図書館について学び、より積極的に図書館を活用できるようになりましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
・１日目第４時限に九州大学附属図書館筑紫図書館の見学を予定しています。
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2624990
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科　目　名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	30名
担当講師	藤村（フジムラ）　まこと 福岡女学院大学 人間関係学部准教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月17日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学における実証的研究法について学ぶため、基本的な心理学実験を3つ実施します。受講者の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加した上で、得られたデータの整理と分析、レポート作成を行います。そのため、8コマすべての授業の出席、ならびに3実験すべてのレポート提出が必要となります。

【授業テーマ】
第１回　心理学研究法ならびにレポートの書き方の概説
第２回　実験1：印象形成（中心特性の働き）
第３回　実験1：結果の整理とまとめ
第４回　実験2：運動技能学習におけるフィードバック
第５回　実験2：結果の整理とまとめ
第６回　実験3：要求水準
第７回　実験3：結果の整理とまとめ
第８回　全体のまとめ

【学生へのメッセージ】
私たちの心の動きを心理学ではどのように理解し、測定しようとしているのでしょうか。実験を通して、心理学の世界に触れてみましょう。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
アイマスク、電卓

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2634708
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科　目　名	**大宰府の成立３**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定　　員	40名
担当講師	坂上（サカウエ）　康俊（ヤストシ） 九州大学名誉教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月17日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

大宰府は律令国家において西海道の九国三島を統括した巨大な官庁です。激動の7世紀史のなかで成立した大宰府の機構としての特色、律令国家の西海道支配において持たされた役割とその実際の遂行ぶり、そして奈良時代史のなかでどのような日々が大宰府の地で営まれていたか、鴻臚館・客館や官衙遺跡の調査、更に木簡等の出土文字資料にも触れながら解説していきます。

【授業テーマ】
第１回　西海道と大宰府成立前史－文献史学の面から
第２回　西海道と大宰府成立前史－考古学の面から
第３回　律令国家の成立過程
第４回　大宰府の官衙－諸司の変遷をめぐって
第５回　大宰府の西海道諸国支配－人事と財政
第６回　大宰府の外交的機能－鴻臚館と客館
第７回　大宰府の日々－大宰府官人の生態
第８回　大宰府とその周辺の景観

【学生へのメッセージ】
福岡のみなさんには身近な存在である大宰府史跡ですが、そこで具体的にはどのような行政が行われていたのか、これを、史料を精読し、また遺跡の調査成果を取り込みながら考えていきたいと思います。

【受講前の準備学習等】
できれば大宰府政庁跡や大野城、鴻臚館跡（福岡市）、客館跡（太宰府市）などの遺跡に足を運んでいただき、また九州国立博物館、九州歴史資料館、鴻臚館跡展示館などの展示・解説施設をも訪ねていただければと思います。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特にありません。必要な資料は授業の数日前に配信します。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
太宰府市史　古代資料編（太宰府市／ぎょうせい／￥5,000）
太宰府市史　通史編１（太宰府市／ぎょうせい／￥5,000）

科目コード	2634732
学習センター（コード）	40A
クラスコード	K
科　目　名	**ＤＸデザイン**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定　　員	20名
担当講師	富松（トミ マツ）　潔（キヨシ） 九州大学名誉教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月17日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	福岡学習センター PC実習室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

教育、医療、行政など社会サービスのさまざまな分野でサイバーリアルの融合が進んでいます。このような社会環境のDX（デジタルトランスフォーメーション）化では、当事者が主体的に、デジタル技術を活用して、社会のニーズを基に、主体的にサービスやビジネスモデルを変革する必要があります。授業では、人間とコンピュータの共生を描くようなインタラクションデザインをベースとして、デジタル変革を必要とする企業組織の当事者自らが行うニーズ発見や課題解決、デジタル化の構想やプロトタイプ制作などのDXのデザイン方法を学びます。

【授業テーマ】

第１回　デジタルトランスフォーメーションとは
第２回　コンピュータデザインの歴史
第３回　インタラクションデザインの始まり、DXデザインを取り巻く世界の状況
第４回　共創デザイン、グループブレーンストーミング
第５回　ビジョンドリブン、イノベーション
第６回　インセンティブのデザイン、ナッジデザイン、ソーシャルインタラクション
第７回　環境に埋め込まれたコンピュータ、ポストスマートフォンのデザイン
第８回　オンラインツールを用いたディスカッション

【学生へのメッセージ】

授業では、地域や組織の当事者としてデジタルトランスフォーメーションの将来像を描き、実現するための方法を議論します。

【受講前の準備学習等】

地域や組織の当事者として、デジタルトランスフォーメーションの課題についてスマートフォンのカメラを使って取材しておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

スマートフォン

【教科書】

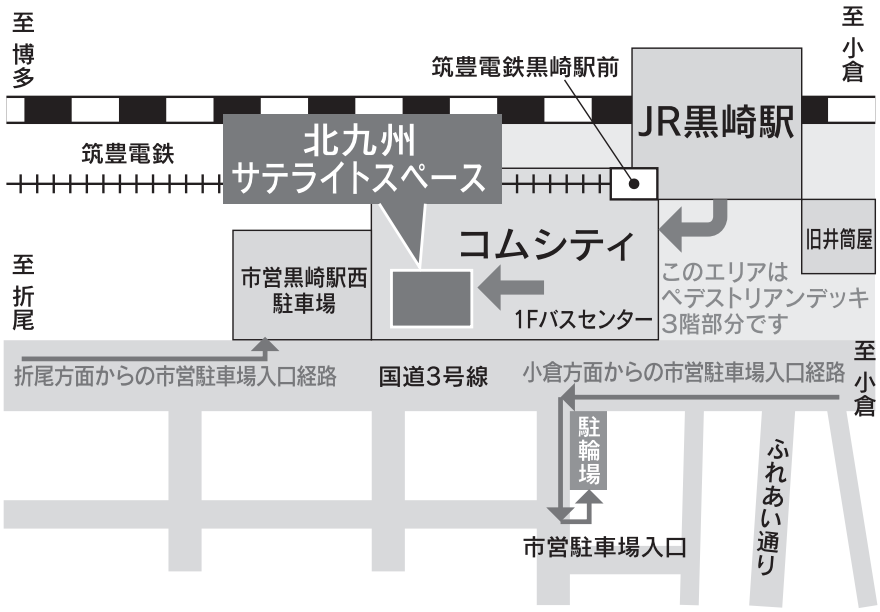
授業当日に補助教材を配付します。

【その他（特記事項）】

学内のWi－Fiを利用したい場合は、事前に所属学習センター事務室へ申請してください。申請には、放送大学システムWAKABAの情報セキュリティ研修を受講（1時間程度）し、小テストに合格すると発行される修了証の提示が必要です。（学生生活の栞参照）

北九州サテライトスペース
（コード：４０Ｓ）

北九州サテライトスペース案内図　☎093-645-3201

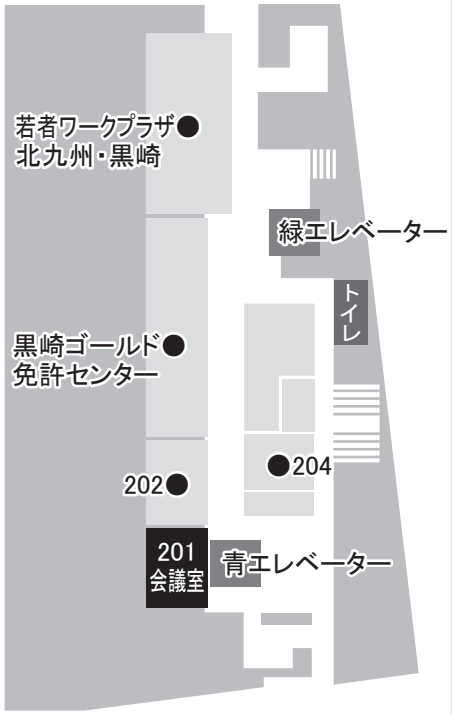


【所在地】
〒806-0021　北九州市八幡西区黒崎３－１５－３
（黒崎コムシティ3階）

【交通アクセス】
●JR黒崎駅から徒歩5分
●西鉄バス：黒崎バスセンターから徒歩3分

【その他連絡事項】
※会場には駐車スペースはありません。
※面接授業に必要な教科書は北九州サテライトスペースでは販売していませんので、各自書店等で事前に購入してください。

2階201会議室



北九州

科目コード	2634775
学習センター（コード）	40S
クラスコード	Q
科目名	**韓国の言語と文化基礎**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	25名
担当講師	李（イ）　相（サン）　穆（モク） 九州大学大学院 言語文化研究院教授
日程実施時間	10月14日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月15日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	黒崎コムシティ３階 301会議室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

韓国語は日本語と類似点が多く、日本人が一番親しみやすい言語の一つです。
この授業では、韓国語や韓国文化に関心があってもなかなか一歩が出せない学生のためにハングル文字と発音のしくみ、基礎文法、韓国文化についての基礎知識を学びます。授業を終えても、引き続き自分で学習を進めていける力をつけていきます。
また、マルチメディア教材を併用して伝統文化の紹介や映画鑑賞など、韓国文化についての理解を深めていきます。

【授業テーマ】
第１回　韓国の言語や文化の概観
第２回　韓国の文字－１（子音）
第３回　韓国の文字－２（母音）
第４回　韓国の文化の紹介（ビデオ鑑賞）
第５回　韓国語の文法－１
第６回　韓国語の文法－２
第７回　韓国語会話練習
第８回　韓国と日本の文化の違い

【学生へのメッセージ】
ネット検索用にスマホやタブレットを持参することは可能です。
（ただし会場にはWi－Fi環境がありません。）

【受講前の準備学習等】
日常生活で意味はわからないが聞いたことがある韓国語や韓国人、韓国文化について知りたいことがあればまとめて持ってきてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2634767
学習センター（コード）	40S
クラスコード	Q
科目名	**レポート作成の基本２０２３**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	120
定員	25名
担当講師	渡邊（ワタナベ）　淳子（ジュンコ） 熊本保健科学大学 アカデミックスキル支援センター教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月４日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	黒崎コムシティ２階 201会議室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

本授業は、文章作成の基本となる「何を」「どう書くか」という２つの観点から進めていきます。文章が論理的であるとはどういうことかということから説き起こし、序論・本論・結論からなる文章の基本構成、テーマ設定から執筆に至るまでの手順、情報の要約や言い換えの仕方、文章のマナー等を随所に盛り込みながら、論理的な文章の作成に取り組みます。なお、授業は４～５人編成のグループ学習の形を取ります。

【授業テーマ】
第１回　レポートの基本構造・レポート「課題」の説明
第２回　わかりやすい文を書く
第３回　文献の読み込み
第４回　考える（問いと答え）・要約と言い換え
第５回　パラグラフで考える／主張を考える（目標規定文をつくる）
第６回　レポート作成のマナー
第７回　序論と結論を書く
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】
「書く」行為は「考える」行為に他なりません。講義を通じて論理的に考える習慣を身につけましょう。授業では、レポートを完成するために学生自らが関連資料を探し、読みこんだ後に、グループディスカッションに臨むことになります。

【受講前の準備学習等】
指定した教科書は、100ページ程度の分量ですから、事前に目を通しておけば、授業での理解も深まるはずです。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、国語辞典（電子辞書可）を持参してください。

【教科書】
〈改訂版〉大学生のための論文・レポートの論理的な書き方（渡邊淳子／研究社／￥1,430／ISBN=9784327384883）※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「基礎科目」に該当します。
授業は、2022年度第2学期に開講した「レポート作成の基本2022」の内容と一部重複します。

科目コード	2634791
学習センター（コード）	40S
クラスコード	Q
科　目　名	**企業社会論**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定　　員	25名
担当講師	平野（ヒラノ）　琢（タク） 九州大学大学院 経済学研究院講師
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月12日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	黒崎コムシティ３階 大会議室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

企業は、良くも悪くも社会に様々な影響をもたらします。一方で、企業の生産する製品やサービスは社会を豊かにしますし、人々の雇用の中心的な担い手も企業であり、企業が社会に与えるプラスの影響は大きいと言えます。しかし他方で、企業による環境破壊や、産業事故など、企業が社会に与えるマイナスの影響も看過できないものがあります。現代社会においては、企業が社会にとってより良い存在となるために企業はどうすればよいのでしょうか。本講義では企業と社会の関係性を企業の社会的責任（CSR：Cooperate Social Responsibility）という概念を軸に学びます。

【授業テーマ】

第１回　企業の社会的責任(CSR：Cooperate Social Responsibility)とはなにか？
第２回　企業の社会的責任(CSR)からみたSDGｓの意義
第３回　日本の商業道徳からまなぶCSR
第４回　社会課題の発生と企業
第５回　企業不祥事はなぜ起こるのか？
第６回　社会課題の解決と企業
第７回　社会課題を解決する経営とは？
第８回　講義のまとめと振り返り

【学生へのメッセージ】

「企業の社会的責任」と聞くと難しそうなイメージがありますが、講義では基礎的な部分を丁寧に解説し、皆さんに身近な事例を多く取り入れていきます。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

筆記用具

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

経営倫理入門: サステナビリティ経営をめざして（日本経営倫理学会（編集）／文眞堂／￥2,750 ／ ISBN=9784830952203）
会社は社会を変えられる 社会問題と事業を〈統合〉するCSR戦略（岩井 克人（編著）小宮山 宏（編著）／プレジデント社／￥1,760 ／ ISBN=9784833420891）

科目コード	2624737
学習センター（コード）	40S
クラスコード	Q
科　目　名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	25名
担当講師	税田（サイタ）　慶昭（ヤスアキ） 北九州市立大学 文学部准教授
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月19日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05
実施会場	黒崎コムシティ３階 大会議室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理検査は個人の心理的傾向について測定するために用いられるものです。この授業では様々な心理検査の理論や仕組みについて学びます。また、心理検査の意義やその限界、倫理的問題についても理解を深めます。さらに、実際に心理検査を体験し、それぞれについてレポートを提出する過程において、自分自身について客観的に理解することも目的とします。受講生のみなさんは8コマすべてに出席し、3つの検査それぞれについてのレポートと最後にまとめのレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】

第１回　心理検査の成り立ち
第２回　検査実習1：Big Five尺度
第３回　心理検査の信頼性・妥当性
第４回　検査実習2：バウムテスト
第５回　心理検査の種類
第６回　検査実習3：内田クレペリン検査
第７回　テスト・バッテリー
第８回　心理検査のまとめ、レポート作成

【受講前の準備学習等】

実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取組みとレポートの評点により行います。
（レポート課題）
体験した心理検査の結果とまとめ×３、まとめのレポート×１

【受講者が当日用意するもの】

当日は、鉛筆2～3本、消しゴム、赤鉛筆または赤ボールペン、定規（小さいものでよい）、電卓（スマホ機能可）を持参してください。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2634783
学習センター（コード）	40S
クラスコード	Q
科目名	**変わる道徳教育**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	堺（サカイ）　正（マサ）　之（ユキ） 九州女子大学 人間科学部教授
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月26日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	黒崎コムシティ３階 大会議室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

この授業では、これからの道徳教育のあり方について理解を深めることを目指します。道徳教育はその重要性が叫ばれながらも、その本質や指導法に関して十分な共通理解があったとはいえません。授業では、道徳教育の歴史的展開から説き起こし、学校教育における道徳教育の位置づけと目標、使用教材、指導方法についての検討を通して、道徳教科化の意味や期待される変化について考えてゆきます。

【授業テーマ】
第１回　「道徳」教育か道徳「教育」か
第２回　道徳教育の歴史は繰り返されるか
第３回　人間の道徳性をどのように見るか
第４回　これからの社会で生きるための力をどう育むか
第５回　道徳の学習指導要領はどう変わったのか
第６回　道徳の教材はどう変わったのか
第７回　道徳の指導とはどのようなものか
第８回　まとめと復習

【学生へのメッセージ】
放送授業「道徳教育の方法（'15）」をもとにしていますが、そこでふれることのできなかった道徳の教科化を重点的に取り上げます。教職経験のない方にも関心をもっていただけるよう、内容を工夫したいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
道徳教育の方法（堺正之／放送大学教育振興会／￥2,530／ISBN=9784595315329）※教科書としては指定しませんが、一読されると授業の理解が深まると思います。

科目コード	2634805
学習センター（コード）	40S
クラスコード	Q
科目名	**変動する大地：地球科学の基礎**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	小山内（オサナイ）　康人（ヤスヒト） 九州大学名誉教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月17日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	黒崎コムシティ３階 301会議室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

地球は約46億年前に誕生し、様々な変化を繰り返しながら現在の姿となった。生命の発生以降、地球上で起こった大規模な変動は、その劇的な変化にともない順応する生物種の繁栄と、適応できずに絶滅する種をもたらした。本講義では、太陽系の惑星における地球の特殊性について理解し、地球環境や地球の構造、また46億年の地球の歴史について学ぶとともに、火山や地震活動に伴う自然災害等に関する基礎知識を習得し、防災・減災意識の向上にも寄与する。

【授業テーマ】
第１回　水惑星地球：誕生と進化
第２回　地球の内部構造と地球構成物質
第３回　地球の歴史と年代測定法
第４回　生命の誕生と進化
第５回　地球の大規模変動（プレートテクトニクスとプルームテクトニクス）
第６回　火山活動と災害
第７回　地震活動と災害
第８回　全体のまとめ

【学生へのメッセージ】
高等学校までに履修が少ない地球科学全般について最新の知識を習得し、社会人として必要な地球科学的素養を身につけつけて欲しいと思います。

【受講前の準備学習等】
特にないが、本講義を受講する中で日常的に発生する地球科学的現象について、興味を持って接して欲しい。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

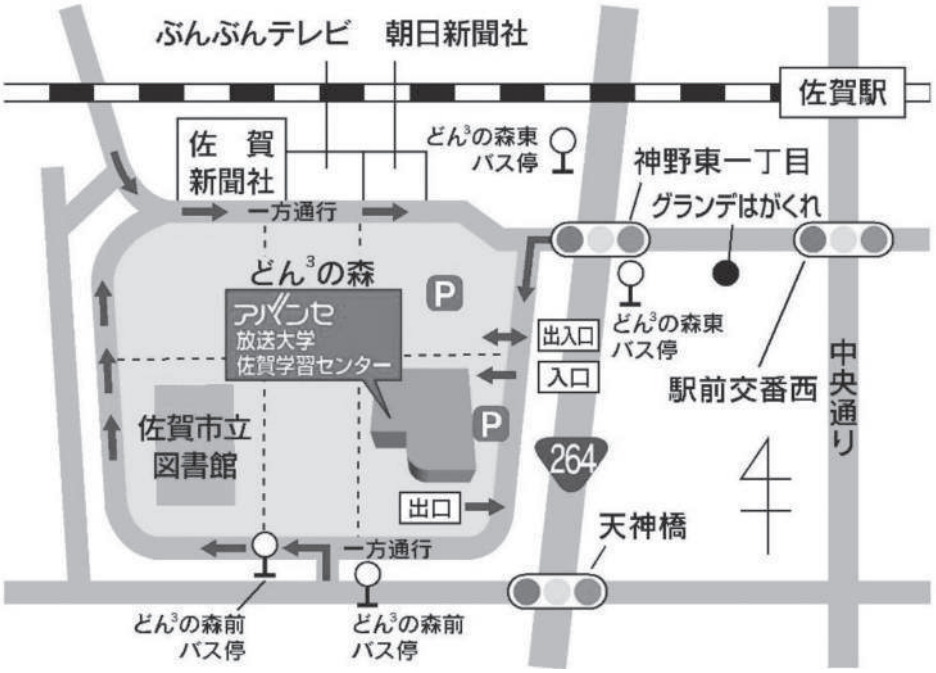
【受講者が当日用意するもの】
特にありません。必要な資料は、当日配布します。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この講座は「北九州市民カレッジ」と共同企画です。同機関の受講生も参加します。

佐賀学習センター
（コード：４１Ａ）

佐賀学習センター案内図　☎0952-22-3308



【所在地】〒840-0815　佐賀市天神３－２－１１
（佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター（アバンセ内））

【交通アクセス】

●JR佐賀駅から徒歩10分

JR 佐賀駅の**南口**から駅前中央通りを南に約 200 メートル進み「駅前交番西」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」交差点（国道264号線が交差）付近で左前方にアバンセ（薄いピンク色の 4 階建）が見えます。

●JR 佐賀駅からバス

佐賀駅バスセンター4番乗り場→58番「中折・クレオパーク鍋島」行き又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行きに乗車→「どん3（どんどんどん）の森前」バス停下車。（所要時間約5分）

【その他連絡事項】

佐賀学習センターの面接授業で使用する教科書は、インターネット・書店にて各自購入してください。時間がかかる場合がありますので早めに準備をお願いします。

佐賀学習センターでは昼食の注文は受付けておりませんので、各自でご準備ください。

科目コード	2634813
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**漢詩で学ぶ 初歩の中国語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	15名
担当講師	古川（フルカワ） 末喜（スエキ） 佐賀大学名誉教授
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月５日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第２研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

中国語発音の基礎をしっかり身につけます。日本人によく親しまれた漢詩を教材として用います。基本音節の発音練習後、日本語と共通する漢詩中の語彙等を使って、語彙の文法構造を学びます。そのなかに現代中国語の文法の基礎が入っています。漢字を使い漢詩に愛着のある日本人が、中国語を学ぶ有利さを、大いに利用した授業です。最後に中国語で音読してみましょう。

【授業テーマ】
第１回　中国語の音節の基本構造
第２回　母音の練習
第３回　子音の練習
第４回　二音節語の練習
第５回　単語の構造
第６回　名詞、動詞、副詞などの品詞の基本
第７回　現代中国語と共通する中国古典詩（漢詩）の基本的な文法構造
第８回　中国語で漢詩を朗読する練習

【学生へのメッセージ】
実際に発音練習する時は、その場で二人一組になって、互いに練習しあいます。恥ずかしがらずに口をはっきり開けて大きな声で発音しましょう。大きい声のほうが早く上達します。疑問点があればどんどん質問してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。
授業への積極的な取り組みの姿勢（授業中の発音練習など）を最大限考慮します。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、筆記用具を持参してください。また辞書類の代替となるものであれば、スマホ、タブレットなども教室でも自由にお使いください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2634856
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**まちを読み解く**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	三島（ミシマ） 伸雄（ノブオ） 佐賀大学 理工学部教授
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月５日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	11/4（土）は 佐賀学習センターアバンセ 第１研修室 11/5（日）は 肥前浜宿旧乗田家住宅 （佐賀県鹿島市大村方甲115） ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

歴史、地形、生活などからいかにしてそのまちを読み解くかは、これからのまちづくりを考える上で重要なことです。また、それは、町を訪れることの楽しみにもなります。
この授業では、様々な地域について解説しつつ、講師がこれまで２０年間まちづくりに協力してきた佐賀県鹿島市肥前浜宿を題材に、そのまちの特徴を解説し、２日目は現地で実際に自分でも考えてみることに取り組み、まちを理解するための方法について理解を深めます。

【授業テーマ】
第１回　まちを読み解くことの楽しさ（実施会場：アバンセ）
第２回　京都について（実施会場：アバンセ）
第３回　博多について（京都との共通点）（実施会場：アバンセ）
第４回　佐賀県鹿島市肥前浜宿の町並み（実施会場：アバンセ）
第５回　町並みを歩いて調べる（実施会場：肥前浜宿旧乗田家住宅）
第６回　伝統的建造物の調べ方（実施会場：肥前浜宿旧乗田家住宅）
第７回　まちづくりへの展開（実施会場：肥前浜宿旧乗田家住宅）
第８回　町並みまちづくりの展望（実施会場：肥前浜宿旧乗田家住宅）

【学生へのメッセージ】
授業2日目は、鹿島市肥前浜宿の町を実際に見ながら、そしてみんなで議論しながら考えたいと思います。実物を見ることがその理解を助けると思います。楽しみながら考えましょう。
※新型コロナウイルスの感染状況によって、変更する場合があります。

【受講前の準備学習等】
京都の歴史、福岡の歴史、佐賀（特に鹿島市肥前浜宿）の歴史とまちづくりについて、事前学習しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
レポートの課題は、「鹿島市肥前浜宿の特質と活性化」です。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、歩きやすい靴でお越しください。詳細は受講者へ別途お知らせします。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
まちを読み解く　－景観・歴史・地域づくり－（西村幸夫、野澤康　編／朝倉書店／￥3,520／ISBN=9784254266467）
まちの見方・調べ方　―地域づくりのための調査法入門―（西村幸夫、野澤康　編／朝倉書店／￥3,520／ISBN=9784254266375）

【その他（特記事項）】
授業2日目は、肥前浜宿で実際の町並みを見ながら行います。
※新型コロナウイルスの感染状況によって、変更する場合があります。

見学先：肥前浜宿（「継場」他）
〒849－1322　佐賀県鹿島市浜町乙2696
https://saga－kashima－kankou.com/spot/1114
交通アクセスについては、上記ホームページをご覧ください。

現地のゲストハウスに宿泊できます。
宿泊費5000円程度（朝食代込み）、お風呂代（祐徳温泉）500円、昼食代1200円程度、夕食代2000円程度で、着替え、寝巻き、はみがき、タオル等持参です。（はみがき、タオルは現地でも入手可能です。）
※料金等は見込みですので、多少変更する可能性があります。詳細は受講者へ別途お知らせします。

「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2634880
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**データサイエンスの基礎**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	310
定員	15名
担当講師	皆本（ミナモト）　晃弥（テルヤ） 佐賀大学 理工学部教授
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月５日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第４研修室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

内閣府が2019年に発表した「AI戦略2019」では、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」として「数理・データサイエンス・AI」が挙げられ、全ての国民が育むことが謳われています。この授業では､「数理･データサイエンス･AI」の初歩を政府のWebページやExcelを利用して学びます。簡単なデータ分析や検索等を通じて、データの見方やAIに対する正しい考え方が身に付けられます。

【授業テーマ】
第１回　データサイエンス・AIの概要
第２回　政府統計の総合窓口（e－Stat）と統計ダッシュボードの利用法
第３回　地図で見る統計（jSTAT MAP）の利用方法
第４回　Excelの基本操作
第５回　Excelによるグラフ作成
第６回　Excelによる基本的な統計量の計算とその意味
第７回　データ間の関係を探る（散布図、相関）
第８回　データから関係を探る方法（クロス集計）

【学生へのメッセージ】
数理・データサイエンス・AIを全く知らない人を対象にしますが、パソコンの基本的な操作（キーボードによる文字入力、マウス操作など）ができるという前提で授業を進めます。また､なるべく数式は出さないようにしますが､高校1年生レベルの数学を知っているのが望ましいです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、毎回の授業中における課題への取り組み状況および小テストによって行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
スッキリわかる確率統計―定理のくわしい証明つき―（皆本晃弥　著／近代科学社／￥2,970 ／ ISBN=9784764904835）

科目コード	2624737
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	21名
担当講師	村久保（ムラクボ）　雅孝（マサタカ） 佐賀大学 医学部准教授
日程実施時間	11月９日（木） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月10日（金） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第２研修室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理検査は、知能・発達・適性・性格・対人関係・精神保健・心理診断・精神機能等について客観的に測定し理解と支援の一助とするために用いられます。本講では①心理検査の成り立ちと関連づけ「多次元共感性尺度」②実施者の在り方を兼ねて描画による知能検査「ＤＡＭ」③ストレスと自己理解のために「J－SACL」を実施します。受講者は全ての授業に出席し、３つの検査の各々についてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理検査の基礎（歴史、目的、作成過程、種類、テスト･バッテリー、検査倫理、バーナム効果等）
第２回　実習1　多次元共感性尺度
第３回　多次元共感性尺度実施に関する検討とレポート作成
第４回　代表的な投影法及び知能検査講義（ロールシャッハ法・ウェクスラー法）
第５回　実習2　ＤＡＭグッドイナフ人物画知能検査
第６回　ＤＡＭグッドイナフ人物画知能検査実施に関する検討とレポート作成
第７回　実習3　J－SACL（日本語版ストレスチェックリスト）
第８回　J－SACL実施に関する検討とレポート作成

【学生へのメッセージ】
心理検査の習得には訓練と熟練が求められるものが多くあります。その中から８校時の基礎実習によって多少は実際に使用できるものを取り上げます。個人作業、グループ討議、意見発表等、積極的に参加してください。

【受講前の準備学習等】
心理検査における「信頼性」と「妥当性」について調べておいてください。他に、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、筆記用具を持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
心理テスト法入門　基礎知識と技法習得のために（第4版）（松原達也　編著／日本文化科学社／￥4,950 ／ ISBN=9784821063603）購入は必須ではありません。
「心理テスト」はウソでした。受けたみんなが馬鹿を見た（村上宣寛　著／日経ＢＰ社／￥1,650 ／ ISBN=9784822244460）購入は必須ではありません。

【その他（特記事項）】
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18)」､「心理学研究法（'20)」､「心理学統計法（'21)」を視聴してください。

科目コード	2634821
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**武士の生き方、「葉隠」の世界**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	21名
担当講師	藤井（フジイ） 祐介（ユウスケ） 佐賀県立 佐賀城本丸歴史館学芸員
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月12日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第２研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

享保元年（1716）に佐賀で生まれた「葉隠」は、鍋島家（佐賀藩）の侍として泰平の世をいかに生きるかを説いた書物であると言えます。この講義では、葉隠成立の背景や葉隠がいかに読まれてきたかという歴史を学び、葉隠が説く武士道を考察し、そして、今を生きる我々が葉隠を読んでみると何を感じるのか、というところまで考えてみたいと思います。

【授業テーマ】
第１回　はじめに－葉隠の成立と伝来－
第２回　葉隠成立の歴史的背景１－鍋島佐賀藩の成立事情－
第３回　葉隠成立の歴史的背景２－鍋島光茂と山本常朝－
第４回　葉隠はいかに読まれてきたか－幕末、そして近代－
第５回　葉隠が説く武士道－覚悟と諫言－
第６回　天下泰平の武士道－葉隠と忠臣蔵－
第７回　あらためて読む葉隠
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】
「葉隠」が説く武士道とは何なのか。「武士道と云うは死ぬことと見つけたり」という有名なフレーズが真に意味するところとは何なのか。葉隠成立の歴史的背景を知れば、その答えがみえてくるはずです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
レポート課題は、「講義を受ける前と後での『葉隠』に対するあなたの印象の変化等について述べなさい」です。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
新校訂　全訳注　葉隠（上）（菅野覚明・栗原剛・木澤景・菅原令子／講談社学術文庫／￥2,200 ／ ISBN=9784062924481）
葉隠（中）　￥2,695　ISBN=9784065116425
葉隠（下）　￥2,486　ISBN=9784065138021

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2634910
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**読む科学と編集デザイン**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	15名
担当講師	荒木（アラキ） 博申（ヒロノブ） 佐賀大学名誉教授
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月18日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第４研修室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

ワープロやプレゼンソフトを使用した読みやすく伝わりやすく、なおかつ美しい文書やプレゼンテーションを実践するための原理原則を学びます。知っているようで知らない活字（フォント）の構造や扱い方、画面構成のコツを理解し、効果的で印象的な文書や画面づくりにつなげます。

【授業テーマ】
第１回　タイポグラフィ
第２回　フォントの構造と組版ルール
第３回　文書と画面【縦と横】
第４回　実践１
第５回　色と装飾
第６回　図表と画像
第７回　情報の編集
第８回　実践２

【学生へのメッセージ】
パソコンによる文書作成、会議や授業での画面プレゼン資料作成が多い人向けです。ワープロやプレゼンソフトの使い方を学ぶ講座ではありません。原理原則をしっかり理解し、正しく使いこなせることを目指します。

【受講前の準備学習等】
これまであなた自身が文書やプレゼンファイルを作成する中で、悩ましかったこと、難しかったこと、不明な点、素朴な疑問などを列記しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートにより行います。なお、両日とも講義の内容に応じた仮想素材を示し、パソコンのアプリケーション上での実践課題とします。

【受講者が当日用意するもの】
ＵＳＢメモリー（必携）、個人のノートパソコン（任意／ Win/Mac不問／原則として全員に学習センターの学生用ノートＰＣを用意します）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。

科目コード	2634864
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**日本の城と城下町の歴史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	宮武（ミヤタケ） 正登（マサト） 佐賀大学 全学教育機構教授
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月19日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	11/18(土)佐賀学習センター アバンセ第1研修室 11/19(日)の1･2限目は佐賀城公園（佐賀県佐賀市城内1）、 3･4限目は佐賀大学（佐賀県佐賀市本庄町１） ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

わが国の城と城下町について、古代から幕末に至るまでの変化と特徴を学びます。佐賀県は日本の城の歴史にとって極めて重要な地域であり、2日目には佐賀城跡で実際の遺構を見ながら、優れた築城技術の内容を探っていきます。

【授業テーマ】
第１回　城の起源と武士団の根拠地（実施会場：アバンセ）
第２回　中世城館の内容と特徴（実施会場：アバンセ）
第３回　信長・秀吉の城郭観（実施会場：アバンセ）
第４回　近世城郭の土木技術－石垣の種類と変遷－（実施会場：アバンセ）
第５回　フィールド・スタディー「徹底解剖」佐賀城跡－その1（実施会場：佐賀城公園）
第６回　フィールド・スタディー「徹底解剖」佐賀城跡－その2（実施会場：佐賀城公園）
第７回　城下町の形とその意味（実施会場：佐賀大学）
第８回　現代社会と城跡－熊本城復旧の今－（実施会場：佐賀大学）

【学生へのメッセージ】
中学校「社会」程度の日本史の流れを基礎知識として持っておくと、受講時の理解に役立ちます。特に、鎌倉→南北朝→室町→戦国→桃山→江戸の各時代の順番を、事前に押さえておいてください。

【受講前の準備学習等】
「学生へのメッセージ」をご覧いただき、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、筆記用具類を持参してください。授業2日目はフィールドスタディを行うため、歩き易い服装で帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
授業2日目の1～2時限目のフィールド・スタディは、佐賀城公園に現地集合・現地解散となります。細かな集合場所と時間は別途連絡します。
解散後、3時限目以降は佐賀大学での開講となりますので、それぞれ移動手段を工夫してください。
フィールド・スタディでは、間に休憩を入れて3時間近く歩いて見学しますので、体調管理に十分気を付けてください。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2634899
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**ワイヤレス通信の原理と技術**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	21名
担当講師	豊田（トヨダ） 一彦（イチヒコ） 佐賀大学 理工学部教授
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月19日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第２研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

携帯電話や無線LAN（Wi－Fi）など、ワイヤレス通信は我々の生活になくてはならないものになってきました。本授業では、このようなワイヤレス通信システムが情報を伝送するための様々な要素技術について解説するとともに、無線LANを例としてそれらの技術が具体的にどのように使われているのかについて説明します。そして、学生の皆さんが、要素技術の基本原理について説明できること、実際のワイヤレス通信システムがそれらの技術をどのように使って実現されているのかを説明できることを目標とします。

【授業テーマ】
第１回　電波の物理と様々なワイヤレス通信システム
第２回　ワイヤレス通信の要素技術（伝送路の劣化要因、誤り訂正技術）
第３回　ワイヤレス通信の要素技術（変復調技術）
第４回　ワイヤレス通信の要素技術（高度な変復調技術、多元接続）
第５回　無線LANの基本技術
第６回　無線LANの高速化技術
第７回　無線LANの高スループット化技術
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】
数学をなるべく使わずに、仕組みの理解を中心に授業を行います。Wi－Fiルータなどの仕様表の見方が理解できるようになります。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2634872
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**16・17世紀の日本と欧州**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	杉森（スギモリ）　哲也（テツヤ） 放送大学教授
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月26日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター 第１研修室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

16・17世紀は、日本の歴史が中世から近世へと大きく転換する時代であると同時に、日本が初めてヨーロッパ世界と出会う時代でもあります。本講義では、古文書や古記録などの文字史料だけでなく、絵画を史料として捉え、この時代に日本で制作された初期洋風画という絵画の諸作品を通して、日本とヨーロッパとの交流の歴史について考えます。本講義を受講する上で、歴史や美術に関する専門的な知識は必要ありません。16・17世紀の日本とヨーロッパの交流の歴史、この時期の絵画に関心のある方の受講を歓迎します。

【授業テーマ】
第１回　16・17世紀の日本
第２回　16・17世紀のヨーロッパ
第３回　16・17世紀の日欧交流
第４回　初期洋風画の性格と歴史的意義
第５回　初期洋風画の作品紹介と分析①
第６回　初期洋風画の作品紹介と分析②
第７回　初期洋風画の作品紹介と分析③
第８回　まとめ－16・17世紀の日欧交流と初期洋風画－

【学生へのメッセージ】
本講義では、絵画を歴史研究の素材、すなわち史料として用います。皆さんがこれまで学んできた日本史や世界史とはやや違った方法で、16・17世紀の日本とヨーロッパとの交流の歴史について考えてみたいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
描かれた近世都市（杉森哲也／山川出版社／￥880 ／ ISBN=9784634544406）

科目コード	2624680
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験１**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	田中（タナカ）　沙来人（サキト） 九州龍谷短期大学 保育学科准教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月３日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第４研修室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

2日間の授業の中で、３つの実験の実施、測定、レポート作成を行います。実験では、ミュラーリヤー錯視と対人魅力、情報伝達について取り扱います。体験的に実験について学び、理解をすることで心理学における実験の意義を理解することができる講義にしたいと考えています。受講生の皆さんは8回の授業すべてに参加し、3つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理学的実験とレポートの構成
第２回　データ分析のための統計法
第３回　実験実習１（ミュラーリヤー錯視）
第４回　実験実習１のデータ分析とレポート作成
第５回　実験実習２（対人魅力）
第６回　実験実習２のデータ分析とレポート作成
第７回　実験実習３（情報伝達）
第８回　実験実習３のデータ分析とレポート作成

【学生へのメッセージ】
実験を実施するためにパソコンを使用します。ワードやエクセルの操作に慣れているほうが望ましいです。

【受講前の準備学習等】
パソコンの操作に慣れていない方に関しては、練習していただけるとありがたいです。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
USBメモリと筆記用具を持参ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2634848
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科　目　名	**子ども家庭支援の心理学基礎講座**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	310
定　　員	24名
担当講師	田口（タグチ）　香津子（カヅコ） アバンセ(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター)館長
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月３日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第１研修室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

子どもやその家族に関わる機会がある方々を対象に、基本的な心理学の知識と支援の在り方を学び直し、実際の支援のヒントを得るための講座です。前半は、ボウルビィの愛着理論、フロイトやエリクソンの発達段階、カール・ロジャーズの来談者中心カウンセリング、家族療法の基本を学びます。後半は、さまざまな事例を素材に、グループワークを交えながら支援のポイントを考えていきます。

【授業テーマ】
第１回　ボウルビィの愛着理論について
第２回　フロイトとエリクソンの発達理論について
第３回　カール・ロジャーズの来談者中心カウンセリングについて
第４回　家族療法を中心とした心理療法について
第５回　DV・虐待　暴力被害者の回復とは
第６回　DV・虐待　事例をもとに考える　グループワーク
第７回　エンパワメント、レジリエンス、トラウマケア～支援者の姿勢とは
第８回　まとめ（グループワークを含む）

【学生へのメッセージ】
支援の基本に立ち返るチャンスでもあり、それぞれの現場で培ってきた臨床知を持ち寄りながら、新たなヒントを互いに得られるチャンスになればと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2633205
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科　目　名	**オペレーションズ・マネジメント**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	310
定　　員	24名
担当講師	松井（マツイ）　美樹（ヨシキ） 放送大学教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月17日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第１研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

製造業やサービス業における生産活動のマネジメントについて、重要な意思決定の基本構造と手法について講義し、いくつかの代表的な事例を用いてグループ討論とクラス討論を行いながら、基礎概念の習得を目指します。取り上げるトピックは、オペレーションズ・マネジメントの基礎概念、オペレーションズ・マネジメントとオペレーション戦略、プロセスの設計、品質管理、在庫管理、サプライチェーン・マネジメントなどです。

【授業テーマ】
第１回　オペレーションズ・マネジメント入門
第２回　オペレーション戦略の考え方
第３回　品質マネジメント
第４回　プロセスの分析と設計
第５回　オペレーション戦略に関するケース討論
第６回　在庫のマネジメント
第７回　MRP（資材所要量計画）とリーン生産
第８回　サプライチェーン・マネジメント入門

【学生へのメッセージ】
企業、団体等での実務経験をお持ちの方が望ましいですが、実務経験のない方でも理解できるような事例をいくつか盛り込みます。また、高校水準の数学を用いてモデルの説明する部分もあります。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験（記述式）の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
サプライチェーン・マネジメント（松井美樹／放送大学教育振興会／￥3,520／ISBN=9784595322716）

科目コード	2634830
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**生活を豊かにする看護学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	古賀（コガ） 明美（アケミ） 佐賀大学医学部看護学科教授 熊谷（クマガイ） 有記（ユキ） 佐賀大学医学部看護学科准教授 武富（タケドミ） 由美子（ユミコ） 佐賀大学医学部看護学科講師（特定）
日程実施時間	12月23日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 １月６日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第１研修室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

人生100年の時代を迎え、多様な生活が認知されるようになってきました。しかし、健康問題を抱える患者やその家族の大切な日常に対する思いや望みが必ずしも尊重されているとは言えません。この科目では、看護職者が患者やその家族のおかれている状況を理解し、支援するための方法について基本的な考えをもとに学習します。

【授業テーマ】
第１回　患者のセルフケアを支援するオレム看護論－基礎編－（古賀明美）
第２回　患者のセルフケアを支援するオレム看護論－応用編－（古賀明美）
第３回　ストレスコーピング（熊谷有記）
第４回　Advance Care Planning（熊谷有記）
第５回　救急・集中治療領域における終末期ケア（武富由美子）
第６回　救急・集中治療領域における代理意思決定（武富由美子）
第７回　患者のセルフケアを支援する変容ステージモデル－基礎編－（古賀明美）
第８回　患者のセルフケアを支援する変容ステージモデル－応用編－（古賀明美）

【学生へのメッセージ】
難しいと思われがちな看護の理論や概念について、事例を基に学習をすすめます。看護職の皆さんが体験されている困難な事例において、解決策を見出すヒントになれば幸いです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
オレム看護論－看護実践における基本概念－第4版（ドロセア E. オレム 著／小野寺杜紀 訳／医学書院／￥4,620 ／ ISBN=9784260000604）
看護実践に活かす中範囲理論 第2版（野川道子 編著／メヂカルフレンド社／￥4,620 ／ ISBN=9784839216122）

科目コード	2634902
学習センター（コード）	41A
クラスコード	K
科目名	**微生物による発酵とは？**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	310
定員	15名
担当講師	小林（コバヤシ） 元太（ゲンタ） 佐賀大学 農学部教授
日程実施時間	１月６日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 １月７日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	１／６（土）は 佐賀学習センターアバンセ 第２研修室 １／７（日）は 基山商店 （佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151） ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

発酵は微生物の能力を生かした生産技術の一つです。どうして微生物は発酵現象を引き起こすのでしょうか？微生物の種類や特徴を学びながら発酵に関する理解をより深めましょう。また、お酒は微生物が発見されるずっと昔から我々の生活の密接に関わってきています。そのお酒を造る現場（蔵元）を見学して、微生物が持っている素晴らしい能力を感じてください。

【授業テーマ】
第１回　微生物とは？（実施会場：アバンセ）
第２回　微生物と発酵の関係性（実施会場：アバンセ）
第３回　発酵食品その1（実施会場：アバンセ）
第４回　発酵食品その2（実施会場：アバンセ）
第５回　蔵元見学（実施会場：基山商店）
第６回　蔵元見学（実施会場：基山商店）
第７回　蔵元見学（実施会場：基山商店）
第８回　蔵元見学（実施会場：基山商店）

【学生へのメッセージ】
「発酵」という言葉はよく耳にしますが、その本質は何でしょうか？
微生物が引き起こす様々な現象を「発酵」というキーワードを基に考えていきましょう。

【受講前の準備学習等】
身近な発酵食品に関して調べておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
レポート課題は、「微生物にとっての発酵とは何か？」です。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、筆記用具を持参してください。

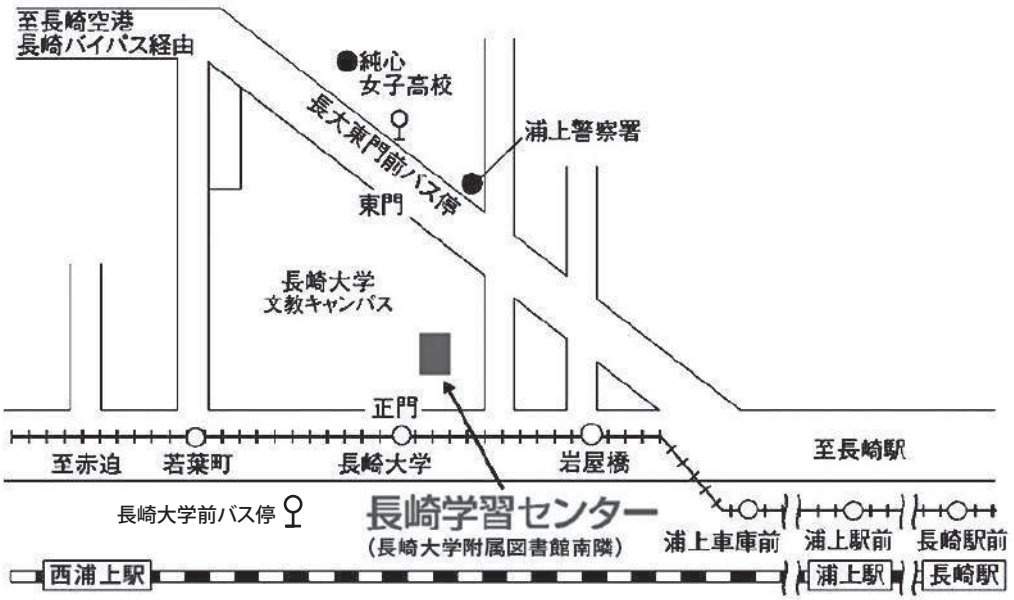
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
授業2日目は、基山商店で行いますので、現地集合、現地解散となります。
利き酒をするので公共交通機関を利用してください。自家用車の方は利き酒はできません。
見学先：基山商店
〒841－0204　佐賀県三養基郡基山町大字宮浦１５１
https://www.kihotsuru.com/
交通アクセスについては、上記ホームページをご覧ください。

「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

長崎学習センター
（コード：４２Ａ）

長崎学習センター案内図　☎095-813-1317



【所在地】〒852-8521　長崎市文教町１－１４（長崎大学文教キャンパス内）

【交通アクセス】

● JR長崎駅・浦上駅から(長崎駅から約20分、浦上駅から約10分)
- ・路面電車　▶ １番・3番系統「赤迫」行き、「長崎大学」下車 ▶ 徒歩約3分
- ・長崎バス　▶ １番系統「滑石」「時津」「長与」方面行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
- ・長崎県営バス ▶「滑石団地」行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分

● JR（長与経由）▶「西浦上」下車 ▶ 徒歩約15分

● 長崎空港から（長崎空港4番乗場）
- ・長崎県営バス ▶「昭和町・浦上経由　長崎」行き(約45分)「長大東門前」下車 ▶ 徒歩約5分
- ・長崎バス　▶「住吉・道ノ尾経由　長崎」行き(約55分)「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分

【その他連絡事項】

放送大学専用の駐車場はありませんので、原則公共交通機関を利用してください。

※近隣に有料駐車場有。また、土日に限り長崎大学構内に有料で駐車できます。

長崎駅近隣のホテル案内は長崎学習センターウェブサイトに掲載しております。

長崎学習センター窓口では、面接授業の教科書は販売しておりません。（印刷教材は除く。）

科目コード	2624990
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	24名
担当講師	吉武（ヨシタケ）　久美子（クミコ） 長崎純心大学 人文学部教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月22日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験に実験者及び参加者（協力者）として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを作成しすべて提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理学研究法と心理学実験
第２回　データ整理、統計分析とレポート作成方法
第３回　「パーソナルスペース」：実験
第４回　「パーソナルスペース」：データ整理とまとめ
第５回　「自由再生による記憶の系列位置効果」：実験
第６回　「自由再生による記憶の系列位置効果」：データ整理とまとめ
第７回　「印象形成（中心特性の働き）」：実験
第８回　「印象形成（中心特性の働き）」：データ整理とまとめ

【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコンの操作（Word、Excel 等）は習得されていることを望みます。データ保管用にUSBメモリを持っていると便利です。レポート作成用としてノートパソコンを持参しても構いません。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実験課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
USBメモリ、ノートパソコン（レポート作成に必要な方、必携ではありません。）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。
いずれの科目からでも受講可能です。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2624680
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**心理学実験１**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	30名
担当講師	前原（マエハラ）　由喜夫（ユキオ） 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月11日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学実験の基本的手法を学ぶことは、人の心を科学的に探究する技術を理解し、心理学の学びを深めるためにも重要です。この授業では、３つの心理学実験（ミュラー・リヤー錯視、心理尺度法、目撃証言）を取り上げます。それらの心理学実験を通して、データの分析とレポートの書き方の基礎を習得します。受講生の皆さんは、８コマの授業すべてに出席し、３つの実験すべてのレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理学実験の基礎とレポートの書き方
第２回　心理学統計法とExcelの使い方の基礎
第３回　実験：ミュラー・リヤー錯視
第４回　データの分析とレポートの作成
第５回　実験：心理尺度法
第６回　データの分析とレポートの作成
第７回　実験：目撃証言
第８回　データの分析とレポートの作成

【学生へのメッセージ】
かなり忙しい授業になると思いますので、心して臨んでください。データの分析にはExcelを使いますので、事前にExcelの基本的な使い方を勉強しておいてください。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容についてあらかじめ調べておく必要はありません。パソコン（特にExcel）の基本的な操作はできるようにしておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
なお、提出されたレポートの写しを後日返却します。

【受講者が当日用意するもの】
USBメモリ

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
認定心理士資格準拠　実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会認定心理士資格認定委員会 編／金子書房／￥2,750 ／ ISBN=9784760830312）

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。
いずれの科目からでも受講可能です。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2635020
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**地震の科学入門**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定　　員	30名
担当講師	馬越（ウマコシ）　孝道（コウドウ） 長崎大学 総合生産科学域(環境科学系)教授
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月５日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

我が国は世界有数の地震大国であり、地震は日本人にとって避けることのできない自然の驚異です。地震についての正しい知識をもつことは、地震の災害から身を守るためにもとても大切です。この講義では、1日目に地震の原因と日本の地震活動の特徴、地震の科学の基礎を学びます。２日目は近い将来起こるとされる南海トラフ巨大地震、津波、長周期地震動など地震に関する最近の話題や研究成果を取り上げて紹介します。そして最後に、九州や長崎の地震活動について解説します。

【授業テーマ】

第１回　地震の原因、日本の地震活動の特徴
第２回　地震の基礎（１）　地震波の種類と性質、震度とマグニチュード
第３回　地震の基礎（２）　地震活動の性質
第４回　地震の基礎（３）　地震のメカニズム
第５回　南海トラフ巨大地震について
第６回　津波、長周期地震動など地震に伴う諸現象・災害
第７回　九州や長崎の地震活動の特徴
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】

この講義では、地震の科学の基礎的知識の獲得を目指します。また南海トラフ巨大地震や長周期地震動など地震に関する最近の研究、またそれらに対する社会の課題についての理解を深めます。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2624516
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定　　員	30名
担当講師	藤村（フジムラ）　誠（マコト） 長崎大学 総合生産科学域(情報データ科学系)准教授
日程実施時間	11月５日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月12日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。

【授業テーマ】

第１回　パソコンの基本操作（キーボード入力･マウス操作･オンライン授業に必要な基本スキル）
第２回　Wordによる文書作成とPDF保存
第３回　Webとメールの活用
第４回　セキュリティ
第５回　システムWAKABA・自己学習サイト
第６回　放送大学附属図書館の電子情報サービス
第７回　オンライン授業の実践
第８回　まとめと振り返り（第７回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）

【学生へのメッセージ】

基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。）
学生証　授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。

【教科書】

新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学）授業当日に配付します。

【参考書】

新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PD）ダウンロード方法は授業で説明いたします。

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。

科目コード	2634937
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**ウイメンズヘルス**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定　　員	30名
担当講師	宮原　春美（ミヤハラ　ハルミ） 長崎大学名誉教授
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月12日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

月経・妊娠・出産・閉経に代表されるように生涯を通じた体の変化、筋力・体力面でのハンディ、仕事・家事・育児といったライフステージにおける役割の変化など女性には男性とは違う視点で考慮すべき点がたくさんあります。ウィメンズヘルスとは、そんな体の構造やライフスタイルの性差に注目しながら、女性の健康課題を生物学的・心理社会的・政策的・経済的側面から包括的に見ることであり、皆さんと共に考えたいと思います。

【授業テーマ】
第１回　女性の体の仕組みとホルモン
第２回　性科学と性の多様性
第３回　セクシャルヘルス
第４回　幼児期・思春期・青年期の健康課題
第５回　成熟期の健康課題1：妊娠・出産、不妊
第６回　成熟期の健康課題2：性感染症、DV
第７回　更年期・高齢期の健康課題
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】
女性の一生涯にわたる健康課題について、ジェンダーの視点を含めながら共に考えていきましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2634945
学習センター(コード)	42A
クラスコード	K
科　目　名	**健康寿命の延長に向けて2**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定　　員	40名
担当講師	宮明　寿光（ミヤアキ　ヒサミツ） 長崎大学生命医科学域(医学系)准教授 有吉　紅也（アリヨシ　コウヤ） 長崎大学熱帯医学研究所教授 井手　昇太郎（イデ　ショウタロウ） 長崎大学病院感染症医療人育成センター講師 福井　翔一（フクイ　ショウイチ） 長崎大学生命医科学域(医学系)助教 阿部　伸一（アベ　シンイチ） 長崎大学病院腎臓内科助教 糸永　英弘（イトナガ　ヒデヒロ） 長崎大学病院細胞療法部講師 宮﨑　禎一郎（ミヤザキ　テイイチロウ） 長崎大学病院脳神経内科助教 佐藤　大輔（サトウ　ダイスケ） 長崎大学病院循環器内科助教
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月19日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

健康寿命を伸ばすためには、バランスの良い食事や適度な運動を心がけて病気の発症を予防する、定期健診や人間ドックで早期発見・早期治療に取り組む、病気の進行を抑え再発を防ぐために自己管理することなどが重要です。病気と予防・治療について知り、自分事として捉えることから始まります。体の不調、そのうち良くなるだろうと思って放置していませんか？ 本講座では内科の各分野のエキスパートが最新情報をご紹介しますので、健康寿命が一日でも延びるよう自己管理に繋げて頂ければと思います。

【授業テーマ】
第１回　お年寄りを感染症から守る秘訣とは（有吉）
第２回　肺炎の予防、治療、Advance care planning（人生会議）（井手）
第３回　関節リウマチから覗く免疫の世界（福井）
第４回　慢性腎臓病（阿部）
第５回　成人に身近な血液疾患～貧血を中心に～（糸永）
第６回　認知症の予防と治療（宮﨑）
第７回　健やか長生きのための高血圧対策（佐藤）
第８回　脂肪性肝疾患について（宮明）

【学生へのメッセージ】
人生100年時代を生きる80歳の自分が、100歳までの20年間をどう過ごすか想像してみて下さい。活き活きしていますか？ 未来の自分が心も体も元気であるために、この講座をきっかけに自分の健康について考えてみませんか？

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635011
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**３ＤＣＧ入門：まなぴーを作ろう**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定　　員	16名
担当講師	浅井（アサイ）　紀久夫（キクオ） 放送大学教授
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月19日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

放送大学イメージキャラクター「まなぴー」の作成を通して、3次元コンピュータグラフィックス（3DCG）の仕組みについて学びます。最近の3DCG技術は急速に発展し、映画やCMなど様々な場面に利用されるようになりました。3DCGはどのように構成され、そこから作り出される絵はどのように描画されているのでしょうか。本授業により、3DCGの基本技術を理解し、簡単な3DCGを作成できるようになります。

【授業テーマ】
第１回　３次元コンピュータグラフィックスの応用と描画手順
第２回　モデリング（３次元形状の作成）
第３回　レンダリング（３次元モデルを２次元画像に）
第４回　シェーディング（質感表現）
第５回　実習１（モデリングソフトの使い方）
第６回　実習２（モデリングその１）
第７回　実習３（モデリングその２）
第８回　実習４（作品創り）

【学生へのメッセージ】
実習ではメタセコイアというソフトを使う予定です。オンライン授業「コンピュータグラフィックス」で採用しているソフトは使いませんのでご注意ください。パソコンの基本的な操作（具体的には以下を参照）を習得している必要があります。
・文字入力がある程度の速さでできる
・ファイルやフォルダの管理、圧縮・解凍ができる
・ファイルのダウンロード、メールの送受信ができる

【受講前の準備学習等】
3DCGについて身の回りの応用例を探してみましょう。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートテーマ（予定）：実習で制作したモデルをレンダリングした画像とそれへのコメントを記載することです。

【受講者が当日用意するもの】
USBメモリ（授業内に作成したファイルを保存する）。
※市販されている安価なもので構いません。
放送大学のシステムにログインするためのパスワードをメモしてきてください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
CGと画像合成の基礎（浅井紀久夫／放送大学教育振興会／￥3,850／ISBN=9784595316371）

科目コード	2634929
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**フランス語会話入門**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定　　員	20名
担当講師	大橋（オオハシ）　絵理（エリ） 長崎大学 言語教育研究センター教授
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月26日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

フランス語をはじめて学ぶ方のための授業です。フランスに関心があれば、フランス語を勉強したことがなくても問題ありません。フランスを旅行する時に簡単なコミュニケーションができるようになることを目指します。そのため、授業の半分は具体的にガイドブックを見ながらグループで学習します。
本授業はフランスの地方に注目します。 単に会話を学ぶだけではなく、DVDも使用し、南フランス、城で有名なロワール地方、ワインで有名なボルドーなどフランスの地方の文化の知識も深めます。

【授業テーマ】
第１回　フランス語で自己紹介して、皆で知り合いになる
第２回　南フランスへ行く
第３回　ニースのレストランで注文する
第４回　ロワール地方へ行く
第５回　世界遺産の城を巡るツアーに参加する
第６回　ボルドーへ行く
第７回　ワインや特産品を買い物する
第８回　まとめ、自由に会話してみよう

【学生へのメッセージ】
会話の練習のために、授業中にグループ学習も行います。

【受講前の準備学習等】
興味があるフランスについての身近な新聞記事や本を読んだり、テレビでのニュースなどを見てください。無理のない範囲で結構です。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業で習った初歩レベルのフランス語の会話の口述試験と、学習状況等を総合的に判断して行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノートと筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
2019年第１学期に開講した「初歩のフランス語」と内容が重複します。

科目コード	2627035
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科目名	**電気と社会**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	山下（ヤマシタ） 敬彦（タカヒコ） 放送大学長崎学習センター所長 古里（フルサト） 友宏（トモヒロ） 長崎大学総合生産科学域(工学系)准教授
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月26日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

2011年3月の東日本大震災の際には、発電所や変電所が運転できなくなり、電気の供給が滞る事態が発生し、多くの地域で電気が不足して社会に大きな影響を与えました。また、2018年には、北海道全土にわたる広域停電が発生し、「ブラックアウト」という言葉が連日報道されました。

普段、私たちは電気があって当たり前の生活を送っていますが、その電気はどのように作られ、運ばれ、便利に使うことができるのでしょうか？この講義では、電力システムの仕組みやこれからの社会における電気エネルギーとのつきあい方についてわかりやすく解説します。

【授業テーマ】

第１回　電気とは何だろう（山下）
第２回　私達の身近にある電気（山下）
第３回　電気の基本を考えてみよう（古里）
第４回　電気をつくる（古里）
第５回　電気を送る・配る（古里）
第６回　電気を貯める（古里）
第７回　スマートに、安全・確実に電気を使う（古里）
第８回　まとめ（山下）

【学生へのメッセージ】

エアコン、テレビ、スマートフォンなど、私たちは電気に囲まれて生活しています。身近な存在なのに、電気の「作り方」など、改めて問われると答えに困ってしまいませんか?大丈夫、やさしく電気の基礎を説明します。

【受講前の準備学習等】

電気学会で作成された小冊子「電気の知識を深めよう」は講義時に配布しますが、電子媒体をhttps://www.ieej.org/denki/からダウンロード可能です。事前に目を通しておかれることを推奨します。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

筆記用具等

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2634996
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科目名	**伝統的絵画表現**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	11名
担当講師	牧野（マキノ） 一穂（カズホ） 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月３日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎大学教育学部 美術･技術棟2階216室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

一般的に日本画と呼称される、伝統的でアカデミックな表現方法を概観し、より深い理解のために実技を行います。はじめに描画材、支持体の特徴・性質を学びます。次に、講師の用意した植物の線描を転写し墨で線を描き、片ぼかし技法を用いながら、明暗をつけ、画面全体のバルールを合わせます。次に、箔の性質を学習後、砂子表現を実際に行います。最後に、講評を行い、制作における到達点と課題について、それぞれ考察を行います。受講生の皆さんは、８コマの授業すべてに出席する必要があります。

【授業テーマ】

第１回　画材とその性質について
第２回　転写
第３回　骨描き
第４回　墨による彩色
第５回　絵具を用いた彩色
第６回　金属箔・砂子の性質について
第７回　砂子表現
第８回　講評と考察：到達点と今後の課題

【学生へのメッセージ】

授業当日に提示した準備すべきものがない場合は制作を行うことができません。膠、ドーサ、砂子筒、砂子筆、箔を用意する必要はありません。当日準備するものは、安価なもの、代用品で可です。日本画の画材をお持ちであれば持参してかまいません。

【受講前の準備学習等】

実習課題の内容についてあらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

色紙（鳥の子、242×272㎜）、タトウ紙あるいは色紙額（タトウ紙は制作後、色紙を包むために使用します。）、雑巾、赤ボールペン、汚れてもよい服装、ハンドスプレー噴霧器、筆記用具、落款（任意）

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635038
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**身近にある毒を知る：パート2**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定　　員	30名
担当講師	山下（ヤマシタ）　樹三裕（キミヒロ） 長崎大学名誉教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月３日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

身の回りには、様々な「毒」があります。毒性を持つものは口から入ってくるとは限りません。そして、入ってきた「毒」は体の中でどの様になるのか、皆が皆同じ様な状態になるのか等を解説していきます。その中で、「毒」とはどの様なものなのかを考えてもらいます。今回は、農薬にはどの様なものがあり、どの様に作用するのか、我々には影響がないのかなどの解説や細菌の持つ毒、ガス状の物質、重金属の毒性などについて紹介していきます。そして公害病とはどの様なものかを知り、考えましょう。

【授業テーマ】
第１回　毒の概念・毒性物質の生体内動態
第２回　毒性発現に影響を及ぼす因子
第３回　農薬（殺虫剤・除草剤）の毒性
第４回　細菌の持つ毒
第５回　大気汚染物質などガス状物質の毒性
第６回　重金属の毒
第７回　重金属による公害病
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】
専門用語や、やや難しい言葉も少し出てきますが、できる限り分かり易く解説していきます。授業の中で分からないことが出てきたら、どんどん質問してください。皆さんの授業への積極的な参加を期待しています。

【受講前の準備学習等】
中には、こんなものまで？と思う様なものや、それってそうなの？と思うかも知れません。気になるものがあれば下調べをしておくと、より興味を持って授業に臨めます。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2634953
学習センター(コード)	42A
クラスコード	K
科　目　名	**児童虐待の理解と対応**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	310
定　　員	24名
担当講師	柿田（カキタ）　多佳子（タカコ） 長崎純心大学人文学部准教授 樋口（ヒグチ）　昌巳（マサミ） 長崎県教育委員会スクールカウンセラー 鮎川（アユカワ）　愛（メグミ） 弁護士 加来（カク）　洋一（ヨウイチ） 長崎こども・女性・障害者支援センター所長
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月10日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25~17:10
実施会場	長崎学習センター講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

毎日のように悲惨な「児童虐待」事例がマスメディアによって報道されています。また、その中には児童相談所等の行政による対応の方法が問題視されていることも多々あります。一方で、我々は社会の一員として、児童虐待の実態、行政の対応、社会からの関わり、また、被虐待児の状態を十分に理解しているでしょうか。今回は、「児童虐待」に焦点を当て、現状を知るとともに、社会としてなにができるのかを一緒に考えてみましょう。

【授業テーマ】
第１回　児童虐待とは（概説）（柿田）
第２回　児童相談所の虐待対応について（樋口）
第３回　児童虐待への法的対応について（鮎川）
第４回　関係機関の児童虐待対応について（樋口）
第５回　被虐待児への精神科的対応について（１）（加来）
第６回　被虐待児への精神科的対応について（２）（加来）
第７回　児童虐待対応としての保護者支援
～ペアレント・トレーニングを中心に～（柿田）
第８回　まとめと質疑応答（柿田）

【学生へのメッセージ】
講義内容は多岐に渡り、専門用語が頻出しますが、平易な言葉を用いて理解できるようにします。講師によっては、講義中にディスカッションを行う可能性もあります。なお、講義の内容に心理的負担を感じられる方にはお勧めできません。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、各種メディアの情報等にも関心を持ち、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
2021年度第２学期に開講した「児童虐待を多面的に科学する」と一部内容が重複します。

科目コード	2634961
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**社会心理学入門**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	30名
担当講師	森（モリ）　津（ツ）太（タ）子（コ） 放送大学教授
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月10日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

心理学は実証性を重視した学問であり、社会心理学も同様です。但し、社会心理学が扱うテーマは極めて複雑で、それを実証研究の俎上（そじょう）にのせるには一層の工夫を必要とします。そのため、著名な社会心理学の実験には思わず膝を打つものも多く、またそこから導かれた結論は私たちの日常生活を見直す知見にあふれています。そんなユニークな実験を紹介しながら、社会心理学の理論や考え方について解説していきます。

【授業テーマ】
第１回　多数派への同調：アッシュの同調実験
第２回　権威への服従：ミルグラムの電気ショック実験
第３回　冷淡な傍観者：ダーリーとラタネの緊急事態介入実験
第４回　集団間葛藤：シェリフらによるサマーキャンプの実験
第５回　予言がはずれるとき：フェスティンガーらの認知的不協和理論にまつわる実験
第６回　つり橋の上の恋：ダットンとアロンの情動二要因理論にまつわる実験
第７回　影響力の武器：チャルディーニの説得のテクニックに関係する６つの原理
第８回　木を見る西洋人、森を見る東洋人：ニスベットらの心の文化差に関する実験

【学生へのメッセージ】
社会心理学を学ぶのが初めてだという方を特に歓迎します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
レポート課題「授業で取り上げた社会心理学の理論や社会心理学的事象について、自身の直接的・間接的経験と関連づけながら考察しなさい。」

【受講者が当日用意するもの】
学生証

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2634970
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**学校カウンセリング技法**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	12名
担当講師	内（ウチ）野（ノ）　成（ナル）美（ミ） 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月17日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

ニーズが多様化する学校の場において児童生徒や保護者、教職員の悩みや問題に適切に対応するために必要な様々なカウンセリング基礎理論と技法を紹介します。

【授業テーマ】
第１回　学校カウンセリングの意義と役割について
第２回　カウンセリングの基礎理論①　深層心理学
第３回　カウンセリングの基礎理論②　行動主義
第４回　カウンセリングの基礎理論③　人間性心理学
第５回　児童生徒の心理と対応　三段階の心理教育的援助サービス
第６回　カウンセリングの実際①　傾聴訓練
第７回　カウンセリングの実際②　構成的グループエンカウンター
第８回　総括

【学生へのメッセージ】
授業では、学校での諸課題について様々な視点から演習・グループディスカッションを行います。そのため、傾聴・自己表現・協働のスキルが必要となります。その旨を理解した上で、よりそれらのスキルを高めたい人の受講を期待します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635003
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科目名	**絵巻物に学ぶ 長崎唐人貿易**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	砂崎（スナサキ） 素子（モトコ） 長崎毛氈研究所所長 ／長崎大学非常勤講師
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月17日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

授業で扱う絵図「唐人船荷揚圖」は、長崎唐人貿易の流れを示す約６ｍの巻子装です。描いたのは、江戸時代に唐船宿町筆者であった玉木鶴亭（かくてい）です。鶴亭の絵図の特徴として、人物の役職名や建物名が図中に付されている点があげられます。このような形態の図は他に２図ありますが、鶴亭の図は２図に比べ、80語程多い202の解説語がみられます。これらから鶴亭が描いた時代の唐人貿易（輸入）のシステムと、日本と中国の対外関係の一端を窺うことができます。授業では、長崎大学附属図書館所蔵の絵図を通して考察していきます。

【授業テーマ】

第１回　唐人貿易図とは：『長崎唐館図集成』の代表的な図について
第２回　長崎大学附属図書館蔵の玉木鶴亭筆「唐人船荷揚圖」の閲覧
第３回　玉木鶴亭が描く長崎唐人貿易①長崎入港と海上検閲
第４回　玉木鶴亭が描く長崎唐人貿易②新地荷蔵への荷揚げと蔵入れ
第５回　玉木鶴亭が描く長崎唐人貿易③唐人屋敷（二ノ門前）
第６回　玉木鶴亭筆「唐人船荷揚図」にみる当時の厳正貿易状況
第７回　鶴亭の他の画について・珍重された貿易毛製品（毛織物）をつくる
第８回　織物の仕上げ

【学生へのメッセージ】

2014年公表の玉木鶴亭筆「唐人船荷揚圖」を通して、江戸時代、長崎を舞台にした唐人貿易の流れを考察します。また、珍重されていた輸入毛製品のひとつ毛織物を作り、当時の人の憧憬に思いを馳せましょう。

【受講前の準備学習等】

授業でも解説いたしますが、江戸時代の唐人貿易品について本などで概観しておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

筆記用具等

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2624710
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験３**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	加來（カク） 秀俊（ヒデトシ） 活水女子大学名誉教授
日程実施時間	12月23日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月24日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験に実験者および参加者（協力者）として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】

第１回　講義：心理学実験に関する基礎知識
第２回　講義：実験計画の立て方、実験データの整理の方法
第３回　実験１：鏡映描写（両側性転移）
第４回　レポートの作成：実験１のレポート作成
第５回　実験２：SD法
第６回　レポート作成：実験２のレポート作成
第７回　実験３：社会的判断（ヒューリスティック判断）
第８回　レポート作成：実験３のレポート作成

【学生へのメッセージ】

実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコンの操作（Word、Excel 等）は習得されていることを望みます。データ保管用にUSBメモリを持っていると便利です。レポート作成用としてノートパソコンを持参しても構いません。

【受講前の準備学習等】

実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

USBメモリ、ノートパソコン（レポート作成に必要な方、必携ではありません。）

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。
いずれの科目からでも受講可能です。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18)」、「心理学研究法（'20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。

科目コード	2634988
学習センター（コード）	42A
クラスコード	K
科　目　名	**ＳＤＧｓと未来のエネルギー社会**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	310
定　　員	20名
担当講師	藤本（フジモト）　登（ノボル） 長崎大学 人文社会科学域（教育学系）教授
日程実施時間	12月23日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月24日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	長崎学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

SDGsの概要とそれを実現するために必要な考え方を学び、日本のエネルギー需給から将来の私たちの暮らしを考えます。そのために、地球温暖化の現状把握、日本のエネルギー需給の特徴、日本のエネルギー需給の将来計画、カーボンニュートラルな社会に向けた取組み、九州・長崎の未来をエネルギーの視点から考えると共に、被爆地から自らの暮らしや社会を考えます。

【授業テーマ】

第１回　SDGsとは？：SDGｓの概要を知り、その達成に必要なことを考える
第２回　持続可能な発展・開発とは：国連の行動計画と地球温暖化への対応
第３回　エネルギーから見た日本の現状：エネルギー白書からエネルギー需給の特徴を知る
第４回　未来のエネルギー社会を考える：日本のエネルギーの将来計画を描く
第５回　カーボンニュートラルな社会に向けた取組みを考える
第６回　九州の未来を再生可能エネルギーから考える
第７回　被爆地から原子力を考える：世界と日本の未来を見据えて
第８回　自らの暮らしと地域社会を考える

【学生へのメッセージ】

未来のエネルギー社会は企業や行政が作るものではありません。資源の多くを海外に依存する私たちは、世界に思いを馳せる必要があります。技術革新が速い現代社会で、生活者自身が考え、行動し、思いを形にしませんか。

【受講前の準備学習等】

・再生可能エネルギーや環境への取組について、新聞等で見たものを集めてください。
・資源エネルギー庁のホームページにはエネルギー白書や関連教材があるので、見てください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

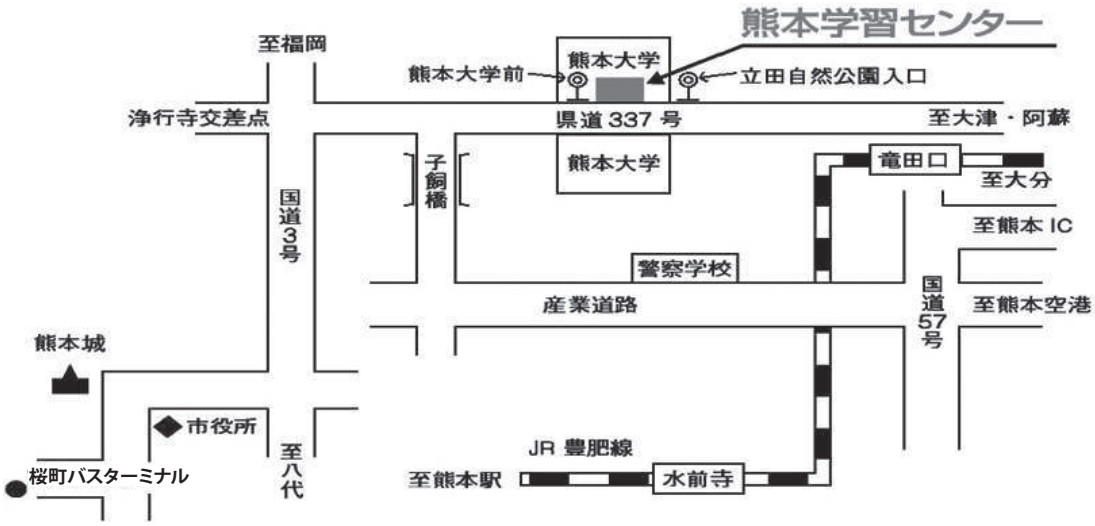
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

エネルギー白書　2022年度版（経済産業省／日経印刷／￥3,850／ISBN=9784865793246）
経済産業省資源エネルギー庁のホームページに、HTML版やPDFがあります。そちらを活用いただいて構いませんし、おそらく最新版の2023年度版が７月ごろには出版されると思います。

熊本学習センター
（コード：４３Ａ）

熊本学習センター案内図　☎096-341-0860



【所在地】〒860-8555　熊本市中央区黒髪２－４０－１（熊本大学附属図書館南棟2F）

【交通アクセス】

路線等は変更する場合がございますので、各社ウェブサイトを必ずご確認ください。

（1）JR熊本駅→九州産交バス等：2番乗り場　楠団地、武蔵ヶ丘行き等　約30分

（2）桜町バスターミナル→九州産交バス等：16番乗り場　楠団地、武蔵ヶ丘行き等　約20分

●「熊本大学前」または「立田自然公園入口」下車　徒歩2分

（3）熊本学習センターに専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
　ただし、熊本大学黒髪北キャンパス駐車場を1日1,000円でご利用いただけます。

【その他連絡事項】

・自然災害等の影響で授業の実施について変更が生じた場合は、熊本学習センターウェブサイトに、最新情報を掲載いたしますのでご確認ください。

・ホテルの手配や予約状況に関するお問い合わせには対応いたしかねます。各自お早目のご予約をお願いいたします。（熊本学習センターウェブサイトに近隣情報を掲載していますのでそちらを参考にしてください。）

・昼食は各自でご用意ください。学習センターの近辺には熊本大学黒髪北キャンパス学生食堂（日曜定休、その他臨時休業あり）の他、近隣にコンビニエンスストアもございます。

・講義中は学生証を携帯してください。

科目コード	2624990
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	渡辺（ワタナベ） 功（イサオ） 熊本大学名誉教授
日程実施時間	10月14日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月15日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学における実験的研究を３つ（自由再生による記憶の系列位置効果、記憶範囲、大きさの錯視）取り上げます。受講生の皆さんは実験に参加し、レポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】

第１回　ガイダンス
第２回　自由再生による記憶の系列位置効果実験の実施
第３回　自由再生による記憶の系列位置効果実験の結果の整理
第４回　レポートのまとめ方
第５回　記憶範囲実験の実施
第６回　記憶範囲実験の結果の整理
第７回　大きさの錯視実験の実施
第８回　大きさの錯視実験の結果の整理

【学生へのメッセージ】

心理学は実証的な方法に基づいて人間の心と行動を研究する科学です。心理学実験を体験することによって、事実と解釈の区別を学ぶとともに、人間の行動についての知識を生み出す過程を学んで頂きたいと思います。

【受講前の準備学習等】

実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

授業当日は、筆記用具のほかに、15cm程度の定規、電卓を持参してください。また、パソコンでレポート作成をしたい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2635151
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**宇宙と地球と 石ころの不思議**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	西山（ニシヤマ） 忠男（タダオ） 熊本大学名誉教授
日程実施時間	10月14日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月15日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 講義室１ ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

現代宇宙論から石が語る生きた地球の話まで、最先端の地球惑星科学の成果をできるだけ分かりやすくお話しします。雲仙火山の平成噴火や、日本（九州）で発見されたヒスイとダイヤモンドの話など、トピックスも加えて、我々が暮らしているこの地球の営みを理解していただき、この宇宙の不思議について考えます。

【授業テーマ】

第１回　われわれはどこにいるのか－銀河系の中の地球
第２回　生きている地球１－地球の形成と進化
第３回　生きている地球２－プレートテクトニクス
第４回　マグマと火山１－マグマの結晶作用
第５回　マグマと火山２－火山の脅威と恩恵
第６回　変成作用のダイナミクス１－生まれ変わる石たち
第７回　変成作用のダイナミクス２－超高圧変成作用
第８回　宇宙の始まりと終わり

【学生へのメッセージ】

宇宙や地球、鉱物や岩石、そして火山などに対する知的好奇心をお持ちであれば、楽しく聴いていただけるように努力します。大学教養程度のレヴェルですが、一部にやや難しいところもあるかもしれません。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断し、関連するテレビの科学番組やニュースを視聴するなど、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

新しい地球惑星科学（西山忠男、吉田茂生／培風館／￥3,388／ISBN=9784563025229）
熊本地震の痕跡からの学び（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター減災型社会システム部門／熊日出版／￥1,980／ISBN=9784908313844）

科目コード	2624990
学習センター（コード）	43A
クラスコード	L
科　目　名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	24名
担当講師	渡辺　功（ワタナベ　イサオ） 熊本大学名誉教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月28日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学における実験的研究を３つ（自由再生による記憶の系列位置効果、記憶範囲、大きさの錯視）取り上げます。受講生の皆さんは実験に参加し、レポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　ガイダンス
第２回　自由再生による記憶の系列位置効果実験の実施
第３回　自由再生による記憶の系列位置効果実験の結果の整理
第４回　レポートのまとめ方
第５回　記憶範囲実験の実施
第６回　記憶範囲実験の結果の整理
第７回　大きさの錯視実験の実施
第８回　大きさの錯視実験の結果の整理

【学生へのメッセージ】
心理学は実証的な方法に基づいて人間の心と行動を研究する科学です。心理学実験を体験することによって、事実と解釈の区別を学ぶとともに、人間の行動についての知識を生み出す過程を学んで頂きたいと思います。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、筆記用具のほかに、15cm程度の定規、電卓を持参してください。また、パソコンでレポート作成をしたい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2635119
学習センター(コード)	43A
クラスコード	K
科　目　名	**人口減少時代の地域づくり**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定　　員	24名
担当講師	金岡　省吾（カナオカ　ショウゴ） 熊本大学熊本創生推進機構教授 田中　尚人（タナカ　ナオト） 熊本大学大学院先端科学研究部准教授 伊藤　大志（イトウ　ヒロシ） 熊本大学熊本創生推進機構助教 鍋屋　安則（ナベヤ　ヤスノリ） 熊本大学熊本創生推進機構政策研究員
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月22日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター講義室１ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

現在の地域づくりは、人口減少が引き起こす地域課題を克服するため、自然・農林水産・伝統技術・先端技術・文化といった多様な地域資源を活用し、地域の様々な職業の人が主役となり、様々な人々が協力しています。ここで重要な能力は、自らが考え、自ら行動するための企画、実践、さらには多様な人の調和を生み出すマネージメント力です。
これらの能力を結集することで地域づくりが展開されています。そこで、地域づくりの具体事例より地域が抱える課題を学び、今後の地域づくりのあり方、方法論とその可能性を考えていきます。

【授業テーマ】
第１回　オリエンテーション　～新たな地域づくりの世界～【金岡】
第２回　人口減少克服をコミットする地域づくりとそのシステム１【金岡･伊藤】
第３回　人口減少克服をコミットする地域づくりとそのシステム２【金岡･伊藤】
第４回　地域づくりの最前線１【金岡・鍋屋】
第５回　地域づくりの最前線２　地域づくりの場づくり①【田中】
第６回　地域づくりの最前線３　地域づくりの場づくり②【田中】
第７回　地域づくりの最前線４　ローカルイノベーションによる【鍋屋】
第８回　総括　人口減少時代の地域づくりとはいかなるものか【金岡】

【学生へのメッセージ】
人口減少、少子高齢化などの地域変化により、「地域づくり」の言葉が脚光を浴びていますが、これからの持続可能な地域づくりにはどのような取り組みが求められるのかを、皆さんとともに考えます。

【受講前の準備学習等】
人口減少は地域にどのような変化を引き起こし、その課題解決に向けてどのような地域づくりが取り組まれているか、インターネットを活用し情報収集してみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635070
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**最期まで自分らしくを支えるケア**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	村上（ムラカミ）　美華（ミカ） 熊本保健科学大学保健科学部准教授 竹熊（タケクマ）　千晶（チアキ） 熊本保健科学大学大学院保健科学研究科教授 久松（ヒサマツ）　美佐子（ミサコ） 熊本保健科学大学保健科学部准教授
日程実施時間	10月22日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月29日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

医療の進歩により、日本は高齢多死社会に直面し、自分らしく生き抜くこと、穏やかな最期を迎えることへの関心が一層高まっています。本授業では、医療や社会の変化と課題について取り上げながら、最期まで「その人らしく」暮らしていくことを支えるケアについて、家族ケアや地域ケアも含めてともに学びを深めていきたいと思います。

【授業テーマ】
第１回　死をとりまく社会状況と課題【村上】
第２回　エンドオブライフケア【村上】
第３回　ケアの対象としての家族【久松】
第４回　家族の悲嘆とグリーフケア【久松】
第５回　暮らしの中での看取り【竹熊】
第６回　看取り文化の伝承【竹熊】
第７回　意思決定を支えるケア【村上】
第８回　アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）【村上】

【学生へのメッセージ】
医療や看護を専門にしない方に分かりやすい形で内容を提供します。講義では、グループワークも予定しています。

【受講前の準備学習等】
医療に関する情報に関心を持ち、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635062
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**規範倫理学入門**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	田中（タナカ）　朋弘（トモヒロ） 熊本大学大学院 人文社会科学研究部教授
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月29日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 講義室１ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

わたしたちは日ごろから、「正しい」や「善い」というような言葉を用いて、倫理的判断を行っています。この講義では、そうした倫理的判断がどのような規範に基づいているのかを検討します。こうしたアプローチを規範倫理学といいます。この目的を達成するために、規範倫理学で代表的とみなされる義務論、功利主義、徳倫理学、ケアの倫理という四つの考え方を取りあげて、それらがそれぞれどのような特徴を持ち、どのように関係しうるのかを考察します。

【授業テーマ】
第１回　規範倫理学とは何か－イントロダクション
第２回　行為に関する理論#1　義務論
第３回　行為に関する理論#2　功利主義
第４回　行為者に関する理論#1　徳倫理学
第５回　行為者に関する理論#2　ケアの倫理
第６回　規範倫理学理論に関する総合的考察（1）
第７回　規範倫理学理論に関する総合的考察（2）
第８回　全体の振り返り

【学生へのメッセージ】
理論的な話が中心となりますが、できるだけ具体的な事例を挟みながら進めたいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
文脈としての規範倫理学（田中朋弘／ナカニシヤ出版／¥2,640／ISBN=9784779506727）※入手する際、時間がかかる場合がありますのでご注意ください。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2635046
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**論文・レポートの書き方**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	120
定員	30名
担当講師	田畑（タバタ） 博敏（ヒロトシ） 鳥取大学名誉教授
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月５日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

この授業では、職場や学校で求められる文章力について、基礎的な文章作成能力を身につける事を目的とします。まず第１回から第３回の講義で、語彙力・文法力・文章読解力を確かめます。次の第４回から第６回の講義で、論文の構成法や執筆手順・執筆計画の具体例を示します。最後の第７回から第８回の講義で、良い論文を書くための方法を示します。

【授業テーマ】
第１回　読み書きの基本（1）：語彙力の基本
第２回　読み書きの基本（2）：文法力の基本
第３回　文章読解の基本
第４回　レポート作成の準備
第５回　卒業論文を書く（1）：テーマの設定と論文の組み立て
第６回　卒業論文を書く（2）：執筆計画と文献収集法
第７回　よい論文を書くには（1）：形式的な条件
第８回　よい論文を書くには（2）：実質的な条件

【学生へのメッセージ】
職場・学校で求められるレポート作成力（文章力）を向上させたい方、これから卒業研究を準備される方などの受講をおすすめします。

【受講前の準備学習等】
シラバスを熟読して、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
基礎から学べる！文章力ステップ　文章検準2級対応（公益財団法人日本漢字能力検定協会 編／公益財団法人日本漢字能力検定協会／￥770／ISBN=9784890963515）
大学生のためのレポート・論文術（小笠原喜康／講談社／￥880／ISBN=9784065135020）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2624737
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	橋口（ハシグチ） 真人（マサヒト） 熊本県・熊本市 スクールカウンセラー
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月19日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理検査は、パーソナリティの個人差を測定するために用いられるものです。本授業では、心理検査の理論的背景も含めた基礎知識を学んだうえで、３つの心理検査を体験します。また、各種心理検査の特徴と限界を把握することと合わせて、実習から自己理解を深めることを目的とします。それらを通し検査自体が有効な支援技法ともなりうることを修得します。受講生の皆さんは、８回の授業すべてに出席し、３つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理検査の基礎知識（歴史、種類と分類、目的など）
第２回　心理検査実習１　特性的自己効力感尺度
第３回　心理検査実習２　矢田部ギルフォード性格検査
第４回　所見の書き方、実習１・２のレポート作成
第５回　心理検査実習３　バウム・テスト
第６回　実習３のレポート作成
第７回　テスト・バッテリー、結果の報告の仕方
第８回　心理検査における倫理

【学生へのメッセージ】
心理検査に関して問題意識を持ち、積極的な態度で受講してください。本授業が、自分自身を見つめ直す機会となれば幸いです。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、定規（15ｃｍ以上）、電卓、黒ボールペン、蛍光ペン、４Ｂ鉛筆、消しゴムを持参してください。また、パソコンでレポートを作成したい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
心理検査の実施の初歩（願興寺礼子、吉住隆弘 編／ナカニシヤ出版／￥2,860／ISBN=9784779503870）

【その他（特記事項）】
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2635143
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**プログラミングの学び方と教え方**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	310
定員	16名
担当講師	辰己（タツミ）　丈夫（タケオ） 放送大学教授
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月19日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 実習室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

内容：プログラミング初心者のための、プログラミング環境「Scratch」を用いて、まず、プログラミングとは何かについて、演習しながら学びます。次に、人工知能などでも利用されることが多い Python を演習しながら学びます。その後、これらの言語を中心に、学んだことを誰かに伝えていく「教え方」について、各自の提案をレビューしながら学びます。

対象：プログラミングを学んだことがない人、学んだことがないのに、教えることになる可能性がある人、学ぶことになる子どもたちの保護者。

【授業テーマ】
第１回　プログラミングの考え方と始め方
第２回　Scratchを利用して基本的なプログラミング
第３回　Python入門
第４回　さまざまなプログラミング言語と比較してScratchとPythonの特徴を考える
第５回　プログラミング教育法の評価 その１
第６回　プログラミング教育法の評価 その2
第７回　Pythonを使ったプログラミング応用
第８回　学習結果のレビュー

【学生へのメッセージ】
この授業では、プログラミングの方法を、パソコンを利用した演習をしながら学びますが、使用するパソコンは、原則として各自のパソコンを利用する「自分用パソコン持ち込み方式」で授業を行います。「受講者が当日用意するもの」と「特記事項」に注意してください。

【受講前の準備学習等】
システムWAKABAにログインして、キャンパスメールを読み書きできるようにしておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
この授業は、原則として「自分用パソコン持ち込み方式」で実施します。
・ここでいうパソコンとは、Microsoft Windows10、Windows11、macOS Ventura 以降で動作するMac、あるいは Google Chromebookのことです。受講中に快適に使える程度の大きさの画面のものを推奨します。無線LAN機能が必須です。
・当日は、ノートパソコンとACアダプタ（これも重要）を持参してください。（授業中は、ずっとパソコンを使用します。）
・webブラウザとして、Google Chrome をインストールしておいてください。また、キャンパスメールを読み書きできるようにしておいてください。
・学習センターの放送大学の 無線LAN wifi-houdaiに接続したことがない方、登録してない方は、所属の学習センターで無線LAN利用申請手続きを授業実施の前日までに済ませておいてください（2023年度学生生活の栞P112参照）。また、授業実施前日までには、開通テストをしておくことを強く推奨します。
・学習センターの教室では、放送大学の無線LAN wifi-houdaiに接続して授業を受けてください。接続したことがない方、不安な方は、授業実施前日までには、開通テストをしておくことを強く推奨します。（なお、非推奨ですが、各自のモバイルルータ等に（自己負担で）接続する方法でも、受講できます。）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
キーワードで学ぶ最新情報トピックス2023（奥村晴彦、佐藤義弘、中野由章監修／日経BP ／￥1,430 ／ISBN=9784296070565）

【その他（特記事項）】
自宅のパソコンがデスクトップパソコンのため、学習センターに持ち込めない場合は、学習センターのパソコンを授業受講用に貸し出しますので、授業実施の7日前までに申し出てください。なお、宿題は、各自で自宅のパソコン等を使用してください。自宅のパソコンには、GoogleChromeをインストールしておいてください。また、キャンパスメールを、自宅でも、教室でも読み書きできるようにしておいてください。

科目コード	2635135
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**西洋建築史研究のエッセンス**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	吉武（ヨシタケ）　隆一（リュウイチ） 熊本大学大学院 先端科学研究部准教授
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月26日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター大講義室 及び熊本大学五高記念館(2日目3時限) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

西洋建築史研究における基本的な用語や各時代の建築についての概要を把握したうえで、古代から近代初期に至るまでの具体的な建築史に関するテーマを取り上げます。これらの諸テーマを通して、西洋建築の歩みを学ぶことの面白さをお伝えしたいと思います。

【授業テーマ】
第１回　西洋建築史の基本
第２回　礎としての古代ギリシア・ローマ建築
第３回　キリスト教建築とイスラム建築の誕生
第４回　中世ゴシックの石工技術
第５回　ルネサンス建築の革新
第６回　古典主義建築の近代
第７回　近代の建物をみる　熊本大学五高記念館の見学
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】
授業の性格から、予備知識は必要とはしません。できる限り、建築の初心者でもわかるように説明を心がけます。ただし、授業のレベルは決して低くはありません。

【受講前の準備学習等】
大事な建築、興味のある建築、好きな建築について考えておいてください。それが、いつ頃、どのようにしてできたのか、誰が作ったのか等の情報を整理しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。レポートのテーマは『私の好きな西洋建築』です。受講前に調べた情報をもとにまとめてください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
第７回授業は、熊本大学五高記念館を見学します。
この授業は、「学生教育研究災害障害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入手続きを行ってください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2624516
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	12名
担当講師	中野（ナカノ）　裕司（ヒロシ） 熊本大学 半導体・デジタル研究教育機構教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月３日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境及びオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。

【授業テーマ】

第１回　パソコンの基本操作（キーボード入力･マウス操作･オンライン授業に必要な基本スキル）
第２回　ワードによる文書作成とPDF保存
第３回　Webとメールの活用
第４回　セキュリティ
第５回　システムWAKABA・自己学習サイト
第６回　放送大学附属図書館の電子情報サービス
第７回　オンライン授業の実践
第８回　まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）

【学生へのメッセージ】

基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。）
学生証　授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。

【教科書】

新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学）授業当日に配布します。

【参考書】

新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF ／ダウンロード方法は授業で説明します。）

【その他（特記事項）】

この科目は2009 ～ 2015年度「基礎科目」に該当します。
『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。

科目コード	2635054
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**英語を楽しく読む**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	30名
担当講師	齋藤（サイトウ）　靖（ヤスシ） 熊本大学 大学教育統括管理運営機構教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月９日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

比較的平易で楽しく読むことができる英文を教材にして、英語を読む際のポイント等を学習します。とくに、日本人の学習者がつまずくことが多い文法事項や構文等に焦点を当て、楽しく、そして、正しく英語を読む力の養成を目指します。

必要に応じて、文法事項の復習を行いながら、辞書があれば、ある程度、独力でも英文が読めるようになることを目標に、できるだけたくさんの英語に触れましょう。

【授業テーマ】

第１回　辞書は読み物。辞書に詰め込まれた(膨大な)情報の意味や活用の仕方を確認します
第２回　辞書を使って、英語と日本語の特徴の違いを確認しましょう
第３回　英語を読む際に、つまずくポイントを確認しましょう（その１）
第４回　英語を読む際に、つまずくポイントを確認しましょう（その２）
第５回　つまずかないで英語を読めるか確認しましょう
第６回　いろんな英語にチャレンジしましょう（その１）
第７回　いろんな英語にチャレンジしましょう（その２）
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】

英語が得意である必要はありません。できるだけ、分かりやすく授業を進めるよう心がけますが、分からないことは積極的にご質問ください。

教材プリントの大きめな文字サイズをご希望の方は、事務室にご相談ください。

【受講前の準備学習等】

授業で辞書を最大限有効に活用するコツを身に付けるためにも、何はともあれ、辞書を使って英語を読んでみてください。どんな英語でも結構です。

【成績評価の方法】

成績評価は､授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは、授業で学んだことが身についていれば問題なく対応可能な内容を予定しています。

【受講者が当日用意するもの】

授業当日は、英和辞書をご持参ください。紙の辞書でも電子辞書でも結構です。最新版である必要はありません。どの出版社でも結構ですが、新たに購入される場合は、『ジーニアス英和辞典』や『ライトハウス英和辞典』などがお勧めです。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

表現のための実践ロイヤル英文法（綿貫陽、マーク・ピーターセン／旺文社／￥1,980 ／ ISBN=9784010312971）購入は必須ではありません。あくまでも「参考」書という位置付けです。

【その他（特記事項）】

この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2635089
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科　目　名	**心臓病への対処**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定　　員	20名
担当講師	副島（ソエジマ）　弘文（ヒロフミ） 熊本大学 保健センター准教授
日程実施時間	12月３日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月17日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 講義室１ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

心筋梗塞や狭心症の主要な原因として動脈硬化が挙げられます。生活習慣を改善することで、動脈硬化の進行を抑制することができることはご存知の方も多いと思います。授業では心筋梗塞や狭心症について知り、動脈硬化を予防する方法を理解して、実践してもらうことを一つの目標にしています。また、近年罹患者が増加している心房細動及び、心臓機能の低下を疑う症状について知り、その早期発見の重要性や対処法を理解してもらうことをもう一つの目標にしています。

【授業テーマ】
第１回　日本人の健康状況と動脈硬化性疾患
第２回　狭心症・心筋梗塞の危険因子
第３回　狭心症・心筋梗塞の危険因子の改善法、心筋梗塞予防
第４回　歯周病と動脈硬化の関連
第５回　心房細動と血栓症の関連、脳梗塞予防
第６回　アルコールの害、飲酒量
第７回　心臓の働き、心不全（息切れやむくみ）予防
第８回　循環器疾患関連薬の進歩

【学生へのメッセージ】
授業内容のことだけでなく、受講生の皆さんが日頃感じている健康上の質問にもわかる範囲で答えたいと思います。

【受講前の準備学習等】
心疾患に罹患した家族や友人などの自覚症状や経過について知っておくと、授業により興味が持てると思います。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635127
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科　目　名	**沿岸域の生物多様性と水産資源**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定　　員	24名
担当講師	逸見（ヘンミ）　泰久（ヤスヒサ） 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター教授
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月10日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 講義室１ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

沿岸域の生物多様性と水産資源の現状を有明海・八代海を中心に解説します。沿岸域は、内陸に比べると気候が温暖で、農業・漁業ともに生産性の高い地域です。しかし、海岸から60km以内の地域に世界人口の4 分の1 が生活するなど、人間活動の影響が大きいため、資源の枯渇、有害物質の蓄積、生物多様性の低下など、多くの問題が起きています。このような環境の悪化は、特に閉鎖性海域で著しく、国内でも、東京湾・伊勢湾・瀬戸内海・有明海・八代海などで大きな問題となっています。

【授業テーマ】
第１回　生物多様性とは何か
第２回　沿岸域の環境－潮間帯を中心に－
第３回　干潟・転石・岩礁
第４回　沿岸域の生物－底生生物を中心に－
第５回　沿岸域の生物多様性－有明海特産種を中心に－
第６回　沿岸域の水産資源－二枚貝を中心に－
第７回　共有の悲劇－競争社会と共存社会－
第８回　有明海・八代海の生きもの

【学生へのメッセージ】
沿岸域は、距離的には身近な環境ですが、訪れることの少ない環境なのかも知れません。講義では、有明海・八代海を中心に、沿岸域で起きている問題を取り上げ、身近な環境問題と関連させて議論します。

【受講前の準備学習等】
環境問題、生物多様性やSDGsに関する情報は、新聞やWebなどで豊富に得ることができます。シラバスの内容から判断して、関連する内容の自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635100
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**発達が気になる子どもの支援**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	大河内（オオコウチ）　彩子（アヤコ） 熊本大学大学院 生命科学研究部教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月17日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

発達が気になる子どもは保育園児では13%存在するといわれています。地域の保健・福祉・医療・教育現場ではこれらの子どもの早期発見・早期支援が課題です。また、育てにくさから子育てストレス、ひいては虐待に結び付きやすく、親支援も課題です。診断基準閾下児も含めると社会に広く存在するであろう、気になる子どもを適切に評価し、支援するための理論や方策を検討します。

【授業テーマ】

第１回　授業のねらい
　　気になる子ども概念の時代的変遷、多職種による認識、関連概念
第２回　気になる子どもの評価①
　　スクリーニングとしての乳幼児健診、どんなところをみているか
第３回　気になる子どもの評価②
　　DSM－5の考え方、スペクトラム概念、検査及び尺度
第４回　気になる子どもの支援①
　　感覚過敏・感覚鈍麻をもつ子どもの困りごとと生活支援
第５回　気になる子どもの支援②
　　最新機器を用いた支援、仮想教室（VR classroom）
第６回　親支援①
　　ペアレンティングプログラムの理論的背景
第７回　親支援②
　　前向き子育てプログラム　トリプルPの考え方に則った演習
第８回　二次障害の予防（いじめ、不登校、引きこもり、など）

【学生へのメッセージ】

発達が気になる子どもは、診断の有無にかかわらず、社会に広く分布しています。彼らの困りを理解し、児童虐待や不登校を予防するための支援を様々な視点から考えましょう。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

パソコンでレポート作成をしたい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635097
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科目名	**災害支援の心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	古賀（コガ）　香代子（カヨコ） 九州ルーテル学院大学 人文学部教授
日程実施時間	12月23日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月24日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

災害時の支援のひとつに心理的支援があります。これまでの災害を通して行われてきた支援を概観し、心理的支援とは何かを説明します。災害時の被災者の心理状態、時系列の心理的変化、あらゆる年代、障害や病気の被災者への理解、被災地や支援状況のアセスメントなど多角的な視点で理解を深めていきます。更に熊本では2016年に熊本地震が起こり、私たちは支援を受ける側となりました。この経験から被災の心理支援についても説明します。

【授業テーマ】

第１回　災害とは何か
第２回　災害時の心理的支援①　アセスメントと支援体制
第３回　災害時の心理的支援②　こころと身体
第４回　災害時の心理的支援③　支援の実際
第５回　被災時の心理的支援①　発災からの支援体制構築まで
第６回　被災時の心理的支援②　さまざまな対応
第７回　支援者の心理
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】

さまざまな災害が世界各地で発生しています。災害支援について、心理学の立場で説明をします。尚、講義では災害時の写真等資料を使用予定です。人によっては不調を起こす可能性があることをお断りしておきます。

【受講前の準備学習等】

できれば、事前にサイコロジカル・ファーストエイドを確認しておくことをお勧めします。
※ウェブサイトで見ることができます。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635160
学習センター（コード）	43A
クラスコード	K
科　目　名	**光と色の化学－光編**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定　　員	24名
担当講師	藤本　斉（フジモト　ヒトシ） 熊本大学大学院 先端科学研究部教授
日程実施時間	12月23日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月24日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター 講義室１ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

自然界や日本文化、古典文学に潜む光と色に纏わる事象、事例を特に化学を中心とする科学的な見地からみることで物質観についても考えることを目的とします。今回は、主に身の回りにある光が関係する事象や現象に注意を払い、しくみを考えてみます。また、古典文学に登場する光源色から、日本の文化風土との関係をみていきます。

【授業テーマ】

第１回　授業内容についてのガイダンス
第２回　光の素性と性格
第３回　光と色の奇妙な関係
第４回　太陽と上手に付き合う－太陽紫外線と肌との恐ろしい関係－
第５回　身の回りにある光の色－蛍の光，窓の雪－
第６回　放射線と人体－ラドン温泉は安全か?－
第７回　光と音を科学する－Sound of Silence（静寂の音）－
第８回　授業のまとめ－人は光の色を文化というフィルターを通してみている!－

【学生へのメッセージ】

認識されるか否かには関係なく現代社会と化学とが密接にかかわっていることは言うまでもありません。光を中心に化学的世界観(化学的なものの見方)に触れ、化学的物質観（物質に対する考え方）をみることにします。

【受講前の準備学習等】

身の回りで起こる光がかかわる現象について注意を払い、記憶にとどめておいてください。また、なぜそのような現象が起こるのかについてあらかじめ考えておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは『光の関わる現象について考えたこと』です。

【受講者が当日用意するもの】

授業の中でインターネットに接続できる機器（スマートフォンやタブレットなど）を使ったアンケートをしてみますが、必須ではありません。その他特に必要とするものはありません。

【教科書】

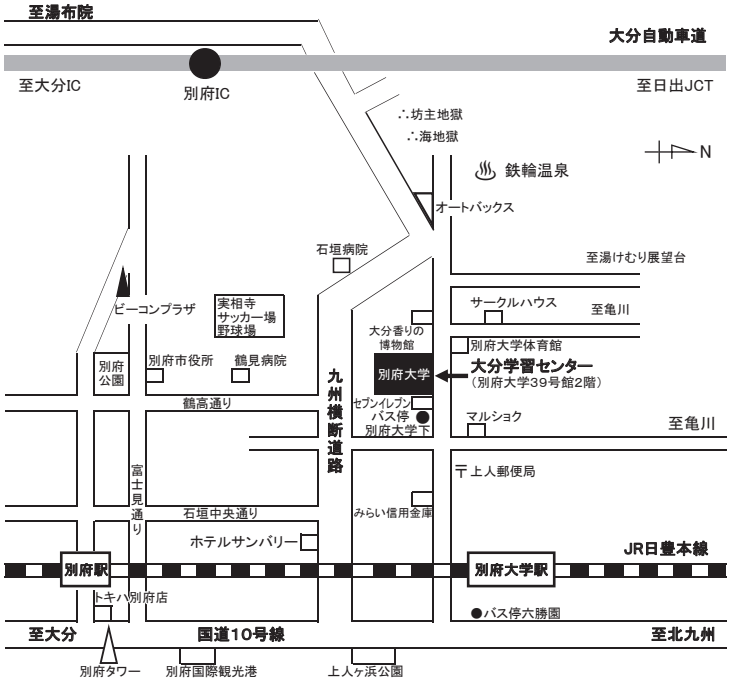
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

一億人の化学15 光が活躍する（日本化学会編／大日本図書／￥1,708／ISBN=9784477002354）
色の名前（近江源太郎／角川書店／￥2,750／ISBN=9784048836227）

大分学習センター
（コード：４４Ａ）

大分学習センター案内図　☎0977-67-1191



【所在地】〒874－8501　別府市北石垣82（別府大学39号館2階）

【交通アクセス】
①JR利用の場合（最寄駅は別府大学駅）
　JR日豊本線別府大学駅より徒歩10分
②バス利用の場合（JR日豊本線別府駅から：所要時間20分）
　〔東口バス停〕
　　20　亀の井バス〈別府大学経由鉄輪行〉「別府大学前」で下車
　　23　亀の井バス〈石垣経由別府医療センター行〉「別府大学下」で下車し、徒歩3分
　〔西口バス停　2のりば〕
　　6　亀の井バス〈鶴見丘高校経由別府医療センター行〉「別府大学下」で下車し、徒歩3分

【その他連絡事項】
【昼食】
　昼食は各自でご用意ください。別府大学学生食堂(日曜日休業)、または学習センター近辺のコンビニエンスストア、弁当店等をご利用ください。
【駐車場】
　駐車場は駐車台数に限りがありますので、原則公共交通機関をご利用ください。

科目コード	2635194
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科目名	**大分の小説を読む**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	25名
担当講師	山田（ヤマダ）　繁伸（シゲノブ） 別府大学非常勤講師
日程実施時間	10月14日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月15日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	大分学習センター教室２ 2日目は日田で現地踏査を行います ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

大分県を舞台にした近現代の小説を中心に読みます。８コマの前半は、地域ごとに具体的な作品を読解・鑑賞します。後半は、日田地域を舞台にした小説の現地踏査をし、作品の読解・鑑賞を深めたいと思います。そして、風土と文学との関係について考えます。主に小説作品を読みますが、一部短歌や俳句の短文芸も紹介したいと思っています。

【授業テーマ】
第１回　「陸行水行」松本清張、「ここ過ぎて―白秋と三人の妻たち―」瀬戸内晴美
第２回　「別府フロマラソン」澤西祐典、「木綿恋い記」水上勉、「生命燃ゆ」高杉良
第３回　「指揮官たちの特攻―幸福は花びらのごとく―」城山三郎、「源叔父」国木田独歩
第４回　「波千鳥」川端康成、「砦に拠る」松下竜一、「霖雨」葉室麟
第５回　現地踏査（しもうけ館）
第６回　現地踏査（桂林荘公園）
第７回　現地踏査（廣瀬資料館）
第８回　現地踏査（長生園、咸宜園跡、咸宜園教育研究センター）・まとめ

【学生へのメッセージ】
２日目は日田市を舞台にした作品の現地を踏査します。事情により現地踏査のルート等が変更になることがあります。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。なお、レポートのテーマは『文学研究の現地踏査の可能性ならびにその感想』です。

【受講者が当日用意するもの】
・２日目の現地踏査は、歩きやすい服装、靴等で参加してください。
・バス代、高速代、入館料として、授業料とは別に3000円を初日の朝、徴収しますので、おつりのないようにご準備ください。※授業への参加人数に応じて返金することもあります。
・長時間のバス移動を伴いますので、酔い止めなどが必要な方は持参してください。
また、体力に不安のある方は、科目登録時にご検討ください。
・２日目は豆田町で各自昼食を取ります。弁当を食べることができる公園もありますから、弁当を持参したい方はお持ちください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
・この科目は、「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）
・2日目はロータリーに停車しているバスに集合してください。点呼を取り次第出発します。
・面接授業当日の交通状況等に応じて授業時間が多少前後する場合があります。

科目コード	2624990
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	17名
担当講師	森下（モリシタ）　覚（サトル） 大分大学准教授
日程実施時間	10月14日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月15日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50
実施会場	大分学習センター 教室１ ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学の研究法全般を概観した上で、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「メンタルローテーション」、「印象形成（中心特性の働き）」の３つの実験を行います。心理学実験を体験的に学ぶことで、実験の方法・技術を習得し、科学的報告書の形式に従ったレポートにまとめる方法について理解することを目的とします。
受講生の皆さんは、８コマの授業全てに出席し、３つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理学実験の概説
第２回　実験のレポートの書き方
第３回　実験①記憶の実験「自由再生による記憶の系列位置効果」
第４回　「自由再生による記憶の系列位置効果」のデータ処理
第５回　実験②イメージの実験「心的回転（メンタルローテーション）」
第６回　「心的回転（メンタルローテーション）」のデータ処理
第７回　実験③印象の実験「印象形成（中心特性の働き）」
第８回　「印象形成（中心特性の働き）」のデータ処理

【学生へのメッセージ】
パソコンを使用しての実験とデータ処理を行うので、簡単なパソコン操作（エクセル）の経験を有することが望ましいです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、電卓（スマホアプリ可）を準備してください。レポートをパソコンで作成される方は、ＵＳＢメモリを持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
心理学基礎実習マニュアル（宮谷真人・坂田省吾　代表編著／北大路書房／￥3,080／ISBN=9784762826658）

【その他（特記事項）】
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2635208
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科目名	**情報整理１**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	220
定員	17名
担当講師	鈴木（スズキ）　雄清（ユウセイ） 大分大学准教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月22日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50
実施会場	大分学習センター 教室１ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

情報を整理・視覚化し、新たな発想を生み出すための手法について演習を通じて学びます。本科目で扱う内容は、企画、会議、レポート･論文作成、プレゼンテーション、読書、人材育成、質問紙法の自由記述や口頭による自由回答の分析など、様々な場面で応用できます。特定のテーマについてアイディアを出し、グループによるブレインストーミングを経て、情報を整理して新たな発想ができるようになることをめざします。

【授業テーマ】
第１回　オリエンテーション、「しあわせ」マインドマップの練習
第２回　マインドマップとは、Xmindによる「しあわせ」マインドマップ
第３回　自己分析マインドマップ、読書マインドマップ
第４回　「大学での学びを充実させるためには」のブレインストーミング
第５回　親和図法とは、IdeaFragment2の基本操作、紙切れ作り
第６回　紙切れ集め、表札作り
第７回　空間配置、関係線の描画
第８回　B型文章化、総まとめ

【学生へのメッセージ】
各自で自由にアイディアを考えたり、新たな発想のために情報を整理したりするコンピュータを用いた演習中心の授業です。グループによる話し合いの機会もあります。

【受講前の準備学習等】
システムWAKABAのログインIDやパスワードを再確認しておいてください。「大学での学びを充実させるためにはどうすればよいか」のアイディアを10個程度考えておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び演習課題の成果（提出物）により評価します。

【受講者が当日用意するもの】
日頃利用しているノートPCをご持参可能な方はお持ちください。（ソフトウェアは最新の状態に更新しておいてください。）

【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

【参考書】
新版ザ・マインドマップ―脳の無限の可能性を引き出す技術（トニーブザン・バリーブザン（著）、近田美季子（翻訳）／ダイヤモンド社／￥2,420 ／ ISBN=9784478017166）
続・発想法―KJ法の展開と応用（中公新書 210）（川喜田二郎／中央公論新社／￥902 ／ ISBN=9784121002105）

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目」に該当します。
・ノートPCを持参する方で、情報セキュリティ研修を受講されていない方はWi-Fi接続のため、まず、システムWAKABA内の自己学習サイトから情報セキュリティ研修（学生用）を受講し小テストを受けてください。次に、小テストに合格すると発行される「修了証」を提示の上、必要事項を記入した「無線LAN利用申請書」を所属学習センター窓口に提出し､「無線LAN利用許可書」の交付を受けてください。（2023年度学生生活の栞P.112「学習センターおよびサテライトスペースにおけるWi-Fi利用について」参照）

科目コード	2635283
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科目名	**梅園のみた国東の宇宙－鬼の里**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	飯沼（イイヌマ）　賢司（ケンジ） 別府大学 文学部史学・文化財学科特任教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月22日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50
実施会場	大分学習センター教室２ 第２回目から8回目は国東に向かい現地学習を行います ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

国東は奇岩の世界が広がり、古来異界の鬼が出現する場所であり、六郷山の行者が修行する場所でした。行者は修行によって鬼の力を手に入れ、人々に福をもたらしました。三浦梅園はこの「くにさき」の地に生まれ、国東の世界から宇宙の成り立ちを考えました。梅園の哲学世界が国東の景観・文化の中で育まれました。梅園はこの国東をこよなく愛し、多くの方に国東の魅力を知ってもらいたいと願いました。梅園の足跡を追いかけつつ、梅園のみた国東世界の魅力を解明します。

【授業テーマ】
第１回　三浦梅園のみた国東の宇宙　総論【講義】
第２回　梅園の哲学と国東－梅園資料館の展示を見ながら【現地学習】
第３回　文殊仙寺を愛した梅園－くにさきの魅力を世に広める梅園の企画【現地学習】
第４回　田染の景観－間戸岩屋・鍋山の名勝【現地学習】
第５回　六郷満山の中心寺院屋山寺（長安寺）【現地学習】
第６回　国の名勝天念寺耶馬－梅園の愛でた景勝【現地学習】
第７回　名勝無動寺耶馬【現地学習】
第８回　夷とケベス祭りから読み解く国東の宇宙－異界の鬼の役割【現地学習】

【受講前の準備学習等】
国東六郷満山関係の書籍を読んでおいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・1日目の昼休み後、２日目は現地学習を行います。当日は歩きやすい服装、靴等で参加してください。
・バス代、入館料、2日目の昼食代（1500円）として授業料とは別に、5000円を初日の朝徴収しますので、おつりのないようにご準備ください。※授業への参加人数に応じて返金することもあります。
・バス移動を伴いますので、酔い止めなどが必要な方は持参してください。また、体力に不安のある方は、科目登録時にご検討ください。
・1日目の昼食（2日目の昼食については別途ご案内します）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
国東六郷山の信仰と地域社会（飯沼賢司／同成社／￥7,700 ／ ISBN=9784886216809）

【その他（特記事項）】
・1日目の昼食は各自学習センターで取ります。2日目は現地学習を行いながら昼食を取ります。
・1日目は教室２に、2日目は別府大学ロータリーに停車中のバスにお集まりください。2日目は点呼を取り次第出発します。
・面接授業当日の交通状況等に応じて授業時間が多少前後する場合があります。
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2635224
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科目名	**大分の水と温泉**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	210
定員	30名
担当講師	大上（オオウエ）　和敏（カズトシ） 大分大学教授
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月29日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	大分学習センター教室２ 別府地獄めぐり（海地獄 他） 大分県別府市鉄輪559－１ 他 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

大分県は、標高2000m近くの山岳地帯や、県北、県南地域の沿岸地帯、そして湯布院、別府などの有数な地熱・温泉地帯を有しており、自然環境豊かな条件にあります。本授業では、大分の自然の中でも、大分の水環境、大分の温泉について、講義や現地での巡検を通じて理解を深めます。

【授業テーマ】
第１回　地球の水循環(1)地球上の水の循環
第２回　地球の水循環(2)地球の水資源量
第３回　大分の水(1)大分県の自然科学的条件
第４回　大分の水(2)大分県の主な水域について
第５回　大分の温泉(1)温泉の定義と分類
第６回　大分の温泉(2)温泉の成因と大分県の温泉について
第７回　温泉の巡検(1)血の池地獄、龍巻地獄、海地獄
第８回　温泉の巡検(2)鬼石坊主地獄、白池地獄、かまど地獄、鬼山地獄

【学生へのメッセージ】
大分の河川や湖沼、温泉について化学の目で見ていこうと思います。基礎的な化学の内容も一部含まれますが、できるだけ分かりやすく授業を行いますので、気軽な気持ちで受講してください。

【受講前の準備学習等】
普段何気なく見ている、身近な河川や温泉等について、少し意識して見ておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・２日目の午後（７、８時限目）は、別府温泉の巡検を予定しています。動きやすく寒くない服装でご参加ください。
・別府地獄めぐり共通観覧券・バスレンタル代などのため授業料とは別に合計2,000円が必要になります。初日の朝徴収しますので、おつりのないようにご準備ください。※授業への参加人数に応じて返金することもあります。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2635178
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科目名	**論文・レポートの書き方基礎**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	120
定員	17名
担当講師	大下（オオシタ）　晴美（ハルミ） 大分大学准教授
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:50 試験・レポート等　12:50～12:55 第３時限　13:40～15:05 試験・レポート等　15:05～15:10 第４時限　15:20～16:45 試験・レポート等　16:45～16:50 10月29日（日） 第１時限　9:45～11:10 試験・レポート等　11:10～11:15 第２時限　11:25～12:50 試験・レポート等　12:50～12:55 第３時限　13:40～15:05 試験・レポート等　15:05～15:10 第４時限　15:20～16:35 試験・レポート等　16:35～16:50
実施会場	大分学習センター教室１ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

この授業では、レポートや論文を書くために必要な知識を学び、職場や学校で求められる基礎的な情報整理力と文章作成力・表現力を習得することを目的とします。まず１日目の第１回から第４回の講義で、レポート・論文を書くための表現法や文献検索・引用の仕方など、レポート・論文を書くための基本的な知識と表現方法を学びます。２日目の第５回から第８回では、様々なレポート・論文のパターンとその攻略法を学びます。２日間の講義の中で多くの課題に取り組むことによって、文章力向上を目指します。

【授業テーマ】
第１回　レポート・論文とは？
第２回　良い文章・レポート・論文を書くための表現法（１）－文レベル／レポート
第３回　良い文章・レポート・論文を書くための表現法（２）－パラグラフレベル／レポート
第４回　情報・文献の探し方、参考文献・引用文献の書き方／レポート
第５回　レポート・論文の型とその攻略法（１）－報告型／レポート
第６回　レポート・論文の型とその攻略法（２）－自由記述型／レポート
第７回　レポート・論文の型とその攻略法（３）－論証型・その他／レポート
第８回　良いレポート・論文を書くための準備と推敲／レポート

【学生へのメッセージ】
職場・学校で求められるレポート・論文のライティングスキルを身につけたい方の受講をおすすめします。文章を書くことが得意な方はもちろん、文章を書くことが苦手な方、文章力に自信がない方でも安心して受講できる内容です。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
実際に書く作業を行いますので、筆記用具は必ず持参してください。また、可能であれば、インターネットを使用できるスマートフォン、タブレット端末もしくはPCを用意してください（用意できなくても構いません）。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
この１冊できちんと書ける！論文･レポートの基本（石黒　圭／日本実業出版社／￥1,540／ISBN=9784534049278）
ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方（石井一成／ナツメ社／￥1,210／ISBN=9784816350573）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
・ノートPCを持参する方で、情報セキュリティ研修を受講されていない方はWi-Fi接続のため、まず、システムWAKABA内の自己学習サイトから情報セキュリティ研修（学生用）を受講し小テストを受けてください。次に、小テストに合格すると発行される「修了証」を提示の上、必要事項を記入した「無線LAN利用申請書」を所属学習センター窓口に提出し、「無線LAN利用許可書」の交付を受けてください。（2023年度学生生活の栞P.112「学習センターおよびサテライトスペースにおけるWi-Fi利用について」参照）

科目コード	2635259
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科　目　名	**発達障害の理解と支援**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	30名
担当講師	佐藤（サトウ）　晋治（シンジ） 大分大学教授
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月12日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	大分学習センター 教室２ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

この授業では、「大人の発達障害の理解と支援（渡辺慶一郎ら、金子書房）」を読み込み、受講者同士で意見交換します。それに関する基本的知識や動向などを担当講師から講述します。そしてインクルーシブ社会を推進するために、我々一人ひとりができることを受講者同士で考えていきます。

【授業テーマ】
第１回　発達障害のある大人への支援の現状と課題
第２回　職場における発達障害のある大人への理解と支援
第３回　継続して働くために必要な理解と支援・環境とは
第４回　成人期の発達障害の人の生活支援
第５回　発達障害の支援でない支援とは？
第６回　「芸術まつり」による”ゆるやかなネットワーク”づくり
第７回　発達障害のある女性の恋愛・結婚のサポート
第８回　災害時における発達障害のある人への支援

【学生へのメッセージ】
インクルーシブ社会を推進するために、我々一人ひとりができることを一緒に考えたい方の受講をお待ちしております。

【受講前の準備学習等】
「大人の発達障害の理解と支援（渡辺慶一郎ら、金子書房）」に目を通してきてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、授業中に調べ学習ができるように、関連する書籍や論文、Web にアクセスできる機器（スマホなど）を持参してください。

【教科書】
大人の発達障害の理解と支援（渡辺慶一郎ほか／金子書房／￥1,430／ISBN=9784760895540）

科目コード	2635232
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科　目　名	**はじめて学ぶ 香りの科学**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	210
定　　員	30名
担当講師	坂本（サカモト）　幸司（コウジ） 別府大学食物栄養科学部発酵食品学科教授 塩屋（シオヤ）　幸樹（コウキ） 別府大学食物栄養科学部発酵食品学科准教授
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月26日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	大分学習センター教室１ 大分香りの博物館・ 別府大学36号館発酵食品学科 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

この授業は、香り、特に、フレグランス（化粧品や日用品の香り）とフレーバー（食品の香り）の初歩を取り扱います。受講生の皆さんは、香水の歴史、においの科学、発酵/醸造と香りの講義に加えて、大分香りの博物館の見学と香水の調香、香り分析や試香も体験できます。初めて香りを学ぶ方も興味を持って理解を深められるように、体験学習を織り交ぜて授業を進めていきます。

【授業テーマ】
第１回　香りへの招待（坂本）
第２回　嗅覚のしくみと香りの評価（坂本）
第３回　博物館で学ぶ香りの歴史（坂本・塩屋／場所：大分香りの博物館）
第４回　香りを創る（坂本・塩屋／場所：大分香りの博物館）
第５回　フレーバー　－ 発酵食品と香り －（塩屋）
第６回　フレーバー　－ お酒の香り －（塩屋）
第７回　においや香りの科学的な分析方法（坂本・塩屋／場所：別府大学36号館発酵食品学科実験室）
第８回　においや香りの機能性（坂本）

【学生へのメッセージ】
私たちは、たくさんのにおいや香りに囲まれて暮らしています。一方、嗅覚の仕組みがわかってきたのは、比較的、最近のことです。こんなに身近で不思議な側面も持つ香りの一端を一緒に覗いてみましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
調香体験料として2,500円（30ml瓶, 税込み）を徴収します。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）
・1，2日目とも教室１にお集まりください。「大分香りの博物館」「別府大学36号館　発酵食品学科実験室」へは一緒に移動します。

科目コード	2635186
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科目名	**大分県郷土料理を探る**
科目区分	導入科目：生活と福祉
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	望月（モチヅキ）　美左子（ミサコ） 別府溝部学園短期大学 食物栄養学科教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月３日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	別府溝部学園短期大学 調理実習室 大分県別府市亀川中央町29－10 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

大分県郷土料理の特徴を食材、調理法、栄養価、他県の郷土料理との比較により探っていきます。また、実際に大分県郷土料理を調理実習することにより、食材の扱い方や調理法、栄養価の理解を深めます。さらに、これらの活動によって次の世代に伝え継ぐ食育活動について検討します。

【授業テーマ】
第１回　大分県の農林水産物（食品）
第２回　日本各地の郷土料理
第３回　調理実習：大分県の郷土料理を作ろう（こびる）
第４回　調理加工実習：乾物の作り方　レポート「大分県郷土料理の特徴」
第５回　調理実習：大分県の郷土料理を作ろう　（乾物のもどし方）
第６回　調理実習：大分県の郷土料理を作ろう　（昼食）
第７回　大分県の郷土料理の栄養価　（だんご汁の春夏秋冬比較）
第８回　伝え継ぐ日本の家庭料理　レポート「郷土料理を伝える」

【学生へのメッセージ】
郷土料理は古くからその土地に伝えられているものです。食材、調理法等の観点から理解し、自らの手で料理を作ることによってその魅力にふれてみましょう。

【受講前の準備学習等】
大分県の郷土料理について自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
白衣またはエプロン、帽子または三角巾、マスク。調理実習のできる服装。調理実習材料費2000円。1日目の昼食（2日目の昼食は調理実習で作った料理を食べます）
（※２日分の調理実習材料費2000円は授業初日に徴収します。おつりのないようにご準備ください。食材は事前仕入れのため、授業を欠席された場合も、材料費は徴収します。あらかじめご了承ください。）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
別冊うかたま　伝え継ぐ日本の家庭料理「すし」（日本調理科学会企画・編集／農山漁村文化協会／￥3,080／ISBN=9784540191831）
「魚のおかず」（2019.9.発行）
「野菜のおかず」（2019.12発行）
「年取りと正月の料理」（2020.12発行）
「野菜のおかず春から夏」（2021.3発行）
ウェブサイト　うちの郷土料理　大分県（農林水産省）
https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/search_menu/area/oita.html

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
・この授業は別府溝部学園短期大学で行います。放送大学大分学習センターとは別の施設になりますから、お間違いないようご注意ください。
・アレルギーのある方は事前に当センターまでお申し出ください。
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2635216
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科目名	**情報整理２**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	220
定員	17名
担当講師	後藤（ゴトウ）　善友（ヨシトモ） 別府大学短期大学部 初等教育科教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月３日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	大分学習センター 教室１ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

ICTを活用した情報管理の手法の一つであるデジタルノートアプリの活用した情報整理の方法について学びます。授業ではマイクロソフト社のデジタルノートアプリであるOneNoteを使用して、授業ノートや文献調査結果の整理など大学での学修におけるさまざまな場面での情報整理ができるようになることを目標とします。

【授業テーマ】
第１回　オリエンテーション、OneNoteの設定
第２回　OneNoteの基本操作、ノートの作成方法
第３回　さまざまな情報の入力（図表、動画、音声メモ、Webページ）
第４回　情報の整理、セクション・ノートブック・ノートシールの活用
第５回　情報の検索、タスク管理
第６回　講義ノートの整理
第７回　情報の共有
第８回　モバイルアプリの活用、まとめ

【学生へのメッセージ】
日頃の学修においてどのように情報整理をしているか各自のアイディアを持ち寄り、その中でデジタルノートに置き換えられるものについて議論する予定です。

【受講前の準備学習等】
システムWAKABAのログインIDやパスワードを再確認しておいてください。日頃の学修において実践している情報整理の方法をまとめておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況および演習課題の成果（提出物）により評価します。

【受講者が当日用意するもの】
OneNoteがダウンロードされているノートPCで、日頃利用している物をご持参可能な方はお持ちください。（ソフトウェアは最新の状態に更新しておいてください）

【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

【参考書】
できるポケット 最強のメモ術 OneNote全事典 OneNote for Windows10 & iPhone/Android対応（インサイトイメージ（著）、できるシリーズ編集部（著）／インプレス／￥1,188／ISBN=9784295007357）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
・ノートPCを持参する方で、情報セキュリティ研修を受講されていない方はWi-Fi接続のため、まず、システムWAKABA内の自己学習サイトから情報セキュリティ研修（学生用）を受講し小テストを受けてください。次に、小テストに合格すると発行される「修了証」を提示の上、必要事項を記入した「無線LAN利用申請書」を所属学習センター窓口に提出し、「無線LAN利用許可書」の交付を受けてください。（2023年度学生生活の栞P.112「学習センターおよびサテライトスペースにおけるWi-Fi利用について」参照）

科目コード	2624737
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科　目　名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	30名
担当講師	中村（ナカムラ）　廣光（ヒロミツ） 別府大学大学院非常勤講師 同 臨床心理相談室相談員
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月３日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50
実施会場	大分学習センター 教室２ ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学における主要な性格診断の背景となる理論とそれに基づいて作成された検査法を解説、実習します。受講生の皆さんは、それらの実習に検査者あるいは被検査者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して心理学の仮説の検証や信頼性、妥当性などについても適切な理解を深めていきます。

それとともに、検査バッテリーの組み方、検査データーの整理法や検査所見の書き方、その背景となるテスターの倫理を修得することを目標にします。

受講生の皆さんは、８コマの授業全てに出席し、４つの主要な検査についての全ての検査について目的、方法、結果、考察を含む標準的レポートにまとめ 提出する必要があります。

【授業テーマ】

第１回　心理検査の概要
第２回　心理検査における倫理
第３回　検査実習１　ビッグ・ファイブ尺度性格検査
第４回　検査実習２　交流分析の理論とエゴグラム心理検査
第５回　検査実習３　矢田部・ギルフォード性格検査
第６回　検査実習４　バウムテスト
第７回　心理検査の信頼性と妥当性について
第８回　テストバッテリーの組み方と検査結果のまとめ方

【学生へのメッセージ】

人間の内面を理解することは、対人援助の仕事をしていく上でとても重要なことですが、最も困難な技でもあります。この講義で学習する心理検査法は、様々な課題や苦悩を抱えて援助を必要としている人たちの内面の特徴や対人関係の在り方について「理解の手がかり」を提供してくれます。また、被検者体験は、自分自身を知る手がかりにもなります。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容に事前に目を通して、参考文献やインターネット等を利用して準備学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

心理測定尺度集 Ⅰ（堀洋道監修、山本眞理子編／サイエンス社／￥2,970 ／ ISBN=9784781909875）
心理測定尺度集 Ⅱ（堀洋道監修、吉田富二雄編／サイエンス社／￥3,960 ／ ISBN=9784781909882）
心理測定尺度集 Ⅲ（堀洋道監修、松井豊編／サイエンス社／￥3,740 ／ ISBN=9784781909899）
心理測定尺度集 Ⅳ（堀洋道監修、櫻井茂男、松井豊編／サイエンス社／￥3,520 ／ ISBN=9784781911670）
心理測定尺度集 Ⅴ（堀洋道監修、吉田富二雄、宮本聡介編／サイエンス社／￥3,465 ／ ISBN=9784781912721）

【その他（特記事項）】

この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。

放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。

事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18)」、「心理学研究法（'20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。

科目コード	2635240
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科　目　名	**リハビリテーションの科学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	310
定　　員	30名
担当講師	阿南（アナン）　雅也（マサヤ） 大分大学 福祉健康科学部理学療法コース
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月10日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	大分学習センター 教室２ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

リハビリテーションとは、病気や外傷が原因で心身の機能と構造の障害と生活上の支障が生じたときに、個人と環境を対象に問題の解決を支援する総合的アプローチであります。

その中で、人間の身体運動・動作がどのように生じているかを理解することは非常に重要であります。

本講義では、中学までに学んだ基礎的な力学をもとに、バイオメカニクスに関する知識を習得し、人間の動作特性、障害の予防等に役立つ知識・技術を学修します。

【授業テーマ】

第１回　リハビリテーションとは？
第２回　からだの構造と機能１
第３回　からだの構造と機能２
第４回　バイオメカニクスの基礎１
第５回　バイオメカニクスの基礎２
第６回　バイオメカニクスの基礎３
第７回　立位姿勢第８回　歩行

【学生へのメッセージ】

リハビリテーションとはどういうものかの理解から、人間がどうやって立っているのか、歩いているのかを学んでもらいたいです。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635291
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科　目　名	**生涯学習時代のｅラーニング**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定　　員	17名
担当講師	山田（ヤマダ）　恒夫（ツネオ） 放送大学教授
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月10日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	大分学習センター 教室１ ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

情報化社会、知識基盤社会、国際化・グローバル化社会にくわえて、人生100年時代、ポストコロナへの移行、人工知能（AI）の社会的進出など、われわれの社会は複雑にそして急速に変貌を遂げています。われわれもこうした状況に主体的に関与し生活（人生）の質を高めるために生涯学習の意義は増しています。本科目では、eラーニング技術と提供モデルの最新動向を体験するとともに、グループ学習を通してこれからの生涯学習に不可欠なeラーニングの在り方を考えます。

【授業テーマ】
第１回　生涯学習とeラーニング
第２回　eラーニング：個別最適化された学びを実現する
第３回　マイクロクレデンシャル：新たな能力開発と認定
第４回　生涯学習ｅポートフォリオ
第５回　グループ学習：ｅラーニングの課題
第６回　eラーニング技術の最新動向
第７回　グループ学習：ｅラーニングの将来像
第８回　グループ学習の発表と講師によるまとめ

【学生へのメッセージ】
まだまだ完成されたとはいえないｅラーニングですが、生涯学習の観点からその在り方を考えましょう。なお、授業内容は、開講時における学術的・社会的状況の変化やグループ学習の進捗によって変更される可能性があります。

【受講前の準備学習等】
授業では、ひとり1台コンピュータを使います。コンピュータやインターネットについて基礎的なリテラシー（ワープロとＷＥＢ検索）を身につけていることが必要です。コンピュータやインターネットを使ったことのない方は事前の予習をおすすめします。また､アクティブ･ラーニングの手法を用い、グループに分かれディスカッションも行います（グループ学習）。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・授業中パソコンで作成したレポートやスライドを持ち帰りたい場合は、USBメモリ（新品である必要はなく、安価なものでよい）を持参してください。
・日頃利用しているノートPC
（ノートPCを持参する方で、情報セキュリティ研修を受講されていない方はWi-Fi接続のため、まず、システムWAKABA内の自己学習サイトから情報セキュリティ研修（学生用）を受講し小テストを受けてください。次に、小テストに合格すると発行される「修了証」を提示の上、必要事項を記入した「無線LAN利用申請書」を所属学習センター窓口に提出し､「無線LAN利用許可書」の交付を受けてください。（2023年度学生生活の栞P.112「学習センターおよびサテライトスペースにおけるWi-Fi利用について」参照））

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
・ノートPCを持参されない方には、学生用PCを貸し出します。

科目コード	2635267
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科　目　名	**データ分析と経済学**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	310
定　　員	30名
担当講師	下田（シモダ）　憲雄（ノリオ） 大分大学 ＩＲセンター教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月17日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	大分学習センター 教室２ ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

本講義では、経済学の基礎的な概念や考え方をデータ分析を交えて理解することを目的とします。主に、市場を扱うミクロ経済学と国民経済計算を扱うマクロ経済学に関する事例を中心に経済学の知識の理解を深めます。

【授業テーマ】
第１回　経済学の基本的な考え方
第２回　経済学で扱うデータの捉え方と方法論
第３回　市場、 需要と供給・・・事例
第４回　市場、 需要と供給分析の理論的な裏付け
第５回　国民経済計算の基礎
第６回　国民所得と消費
第７回　消費関数と投資関数の事例分析
第８回　総括：経済をデータで捉え直す

【学生へのメッセージ】
新聞などから経済の現象や動きを注意深く捉えてください。また、講義のあとの復習は理解を深める上で大切です。これらの学習を通じて社会の経済活動の構造が理解され経済学への興味も深まると思います。

【受講前の準備学習等】
初回の講義を除いて、前回の講義内容を確認しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノートや筆記用具など

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
１からの経済学（仲谷武／中村保／碩学舎／中央経済社／￥2,640／ISBN=9784502680809）

科目コード	2635275
学習センター（コード）	44A
クラスコード	K
科　目　名	**財務諸表分析と投資**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定　　員	17名
担当講師	鵜崎（ウザキ）　清貴（キヨタカ） 大分大学名誉教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月17日（日） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	大分学習センター 教室１ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

企業への投資を行う際、企業の財務情報を下に企業評価を行います。本講義では、財務諸表分析を行い、それも用いて投資を行います。また、株価を用いてポートフォリオの作成まで行います。

【授業テーマ】
第１回　経営力と経営分析
第２回　企業成長力（製品力・販売力・資金力）と経営分析
第３回　株式市場評価力と経営分析（財務分析）
第４回　株式市場評価力と経営分析（企業の評価方法）
第５回　環境問題と経営分析
第６回　中小企業と経営分析
第７回　投資（各種の株式評価）
第８回　投資（ポートフォリオ）

【受講前の準備学習等】
日経新聞など経済関係の記事を読んでおいてください。Excelへの入力、計算そしてグラフ作成等はできるようにしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

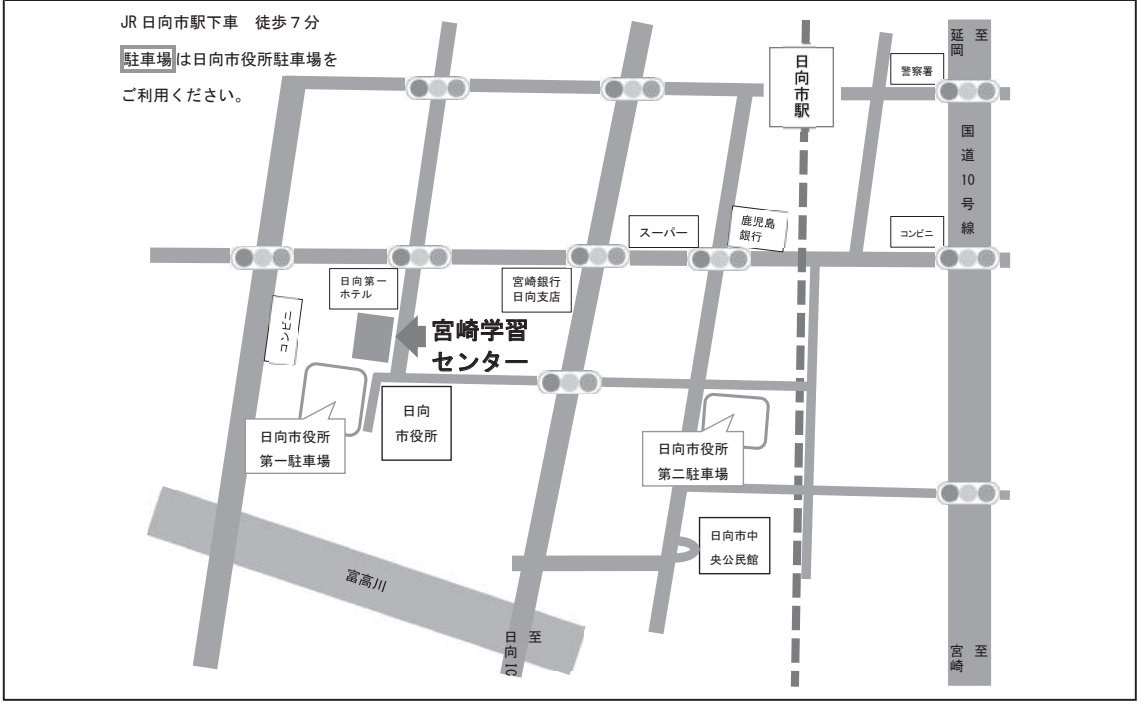
【受講者が当日用意するもの】
ノートPC、Excel、教科書

【教科書】
経営力と経営分析（坂本恒夫・鳥居陽介編、現代財務管理論研究会著／税務経理協会／￥2,970 ／ ISBN=9784419064518）

【その他（特記事項）】
・ノートPCを持参する方で、情報セキュリティ研修を受講されていない方はWi-Fi接続のため、まず、システムWAKABA内の自己学習サイトから情報セキュリティ研修(学生用)を受講し小テストを受けてください。次に、小テストに合格すると発行される「修了証」を提示の上、必要事項を記入した「無線LAN利用申請書」を所属学習センター窓口に提出し、「無線LAN利用許可書」の交付を受けてください。（2023年度学生生活の栞P.112「学習センターおよびサテライトスペースにおけるWi-Fi利用について」参照）

宮崎学習センター
（コード：４５Ａ）

宮崎学習センター案内図　☎0982-53-1893



【所在地】〒883-8510　日向市本町11番11号（日向市役所隣）

【交通アクセス】
（1）JR日豊線　日向市駅下車　徒歩7分
（2）宮崎交通バス（延岡線・宇納間線）「商工会館通りバス停」下車　徒歩3分
（3）駐車場　日向市役所駐車場をご利用ください

【その他連絡事項】
・宿泊施設　宮崎学習センターにご相談ください。

宮崎

科目コード	2624516
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	16名
担当講師	坂本（サカモト） 眞人（マコト） 宮崎大学 工学部工学基礎教育センター教授 ／宮崎学習センター客員教員
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月22日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎学習センター 第１講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。

【授業テーマ】
第１回　パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル）
第２回　ワードによる文書作成とPDF保存
第３回　Webとメールの活用
第４回　セキュリティー
第５回　システムWAKABA・自己学習サイト
第６回　放送大学附属図書館の電子情報サービス
第７回　オンライン授業の実践
第８回　まとめと振り返り

【学生へのメッセージ】
基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
USBメモリ（市販されている一番安価なもので結構です）及び学生証（授業内でログイン操作を行う実習があります）を必ずお持ちください。

【教科書】
新・初歩からのパソコン（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学）※授業当日に配付します。
※必要に応じてプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
（履修制限）「初歩からのパソコン」の単位を修得済みの方は登録できません。

科目コード	2635330
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**病気と薬：薬物治療入門**
科目区分	導入科目：生活と福祉
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	柳田（ヤナギタ） 俊彦（トシヒコ） 宮崎大学医学部教授 ／宮崎学習センター客員教員
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月22日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎サザンビューティ専門学校501号室 （宮崎市老松２－１－17） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

病院で処方される薬は、13000品目に及びます。その中から、よく使われる薬、注目されている薬などを中心に、それらの薬がなぜ効くのか、なぜ副作用が出るのかについて、解説します。また、新しい薬はどのように開発されて世の中に出るのか、病院の薬と薬局の薬は何が違うのかなど、薬にまつわる様々な疑問についてもあわせて講義します。

【授業テーマ】
第１回　薬はなぜ効くの？
第２回　高血圧・高脂血症の治療薬
第３回　糖尿病の治療薬
第４回　認知症・パーキンソン病の治療薬
第５回　不眠症・不安症の治療薬
第６回　喘息・アレルギーなどの治療薬
第７回　痛みをとる薬
第８回　頻尿・排尿困難などの薬

【学生へのメッセージ】
薬に興味のある方に受講をおすすめします。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
知らないと危ない！病棟でよく使われる「くすり」（（荒木博陽【編】愛媛大学医学部附属病院薬剤部【著】／照林社／￥2,420／ISBN=9784796524322）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2635313
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**コミュニケーション英語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	福島（フクシマ）　三穂子（ミホコ） 宮崎大学地域資源創成学部准教授 ／宮崎学習センター客員教員
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月29日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎サザンビューティ専門学校501号室 （宮崎市老松２－１－17） ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

本授業では、英語学習の中でもコミュニケーションに焦点を当て、日常の様々な場面において、英語でシンプルな会話ができるようになることを目指します。基本的な文法事項を振り返りながら、英語をコミュニケーションを取るための道具と捉え、英語を「使う」ことに重きを置きます。そのため授業は座学ではなく、ペアを組んで会話を練習する場面が多く、積極的な参加が求められます。

【授業テーマ】
第１回　自分のことを紹介する（Lesson 1－4）
第２回　自分のことを紹介する（Lesson 5－8）
第３回　相手のことを知る（Lesson 9－12）
第４回　相手のことを知る（Lesson 13－15）
第５回　自分の気持ちや要望を伝える（Lesson 16－18）
第６回　自分の気持ちや要望を伝える（Lesson 19－21）
第７回　相手との関係を深める（Lesson 22－27）
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】
授業レベルは、初級から中級です。文法事項は、中学英語を振り返りますが、コミュニケーション重視ですので、英語を実際に使ってみたい方、積極的に会話をする意欲のある方に適しています。受講者の人数やレベルに合わせて授業を進めますので、実施スケジュールは目安と考えてください。教科書は必ず事前に購入して授業にお持ちください。教科書をお持ちでない方は、受講できませんので、気をつけてください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、辞書、ノート、筆記用具

【教科書】
中学３年間の英語を１０時間で復習する本（稲田一／KADOKAWA／￥1,100／ISBN=9784046026521）

【参考書】
五択とマンガで身につく基本の英文法（ホンマツタカシ・中野博之／ナツメ社／￥1,650／ISBN=9784816359187）
基本から実践まで英文法使いこなしルールブック（四軒家忍／テイエス企画／￥2,200／ISBN=9784887841833）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2635372
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**行動論的カウンセリング**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	18名
担当講師	前田（マエダ）　直樹（ナオキ） 九州保健福祉大学 臨床心理学部教授
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月29日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎学習センター 第１講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

本講義の目的は、臨床心理学における学派について理解した上で、行動療法、行動分析、認知行動療法、森田療法等についての理論と技法の知識を習得することです。

【授業テーマ】
第１回　臨床心理学の学派とは何か
第２回　学習理論１
第３回　学習理論２
第４回　行動療法
第５回　認知行動療法
第６回　森田療法
第７回　行動論的カウンセリングの実践
第８回　まとめと振り返り

【学生へのメッセージ】
本講義では、エビデンスに基づいた臨床心理学の内容について学習するため、論理的な思考が求められます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635380
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**旧暦と年中行事**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	永松（ナガマツ）　敦（アツシ） 宮崎公立大学人文学部教授 ／宮崎学習センター客員教員
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月５日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎公立大学講義室 宮崎市船塚１丁目１番地２ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

今年は年中行事を取り上げます。年中行事とは、1年の始まりのお正月から12月31日の大晦日までに行われる行事のことです。お正月、小正月、節分、立春、ひな祭り、端午の節句、七夕、盆、十五夜などなど、みなさんが身近に感じられる伝統行事について、その歴史性・民俗性を語ります。中国や韓国の年中行事とも比較しながら講義しますので、国際的な視野を身に着けることができます。旧暦（太陰太陽暦）の意味を正しく理解することができ、本来の季節に応じた行事や食を理解しましょう。地域づくりにも絶対に役立ちます。

【授業テーマ】

第１回　年中行事とは何か？　旧暦とはどういうものなのか？なぜ、日本に旧暦の祝日がないのか？などを考えます。
第２回　日本人にとってお正月とは？なぜ、大晦日から元日にかけて家族が集まるのかを考えます。
第３回　東アジアのお正月。中国の春節・韓国のソルラルについて映像を交えながら講義します。
第４回　二つのお正月　大正月と小正月　この違いは？！
第５回　3月3日　上巳の節句に、雛人形を飾るのは日本だけ・・・
第６回　5月5日　端午の節句、実は「女性の節句」？！
第７回　七夕は秋の季語　梅雨空のうえで、織姫と彦星はデートしていません！
第８回　盆と十五夜　－共に先祖供養の大切な日－

【学生へのメッセージ】

ご自身のご家庭や地域の年中行事を調べてきて、報告してください。授業の内容がより深く理解できるようになります。私もみなさんの各地の年中行事の報告を教えていただくのを、楽しみにしております。

【受講前の準備学習等】

各地の年中行事を調べてきて報告していただけると、ありがたいです。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

年中行事の写真をもってきていただけると助かります。

【教科書】

教科書は使用しません。

【参考書】

こよみを使って年中行事を楽しむ本<2023>（神宮館編集部／神宮館／￥990／ISBN=9784860768904）神宮暦を1冊持たれた方が便利です。高価なものを購入する必要はありません。薄手の最安値のものでも、内容的には大丈夫です。

【その他（特記事項）】

「広原神楽見学」 講義の前日　11月3日（文化の日）に、例年だと、宮崎市広原神楽が奉納されます。宮崎駅から西都行のバスで「広原」下車、徒歩約10分のところで、午前中、5番ほど舞いますので、見学希望の方には引率して見学することにいたします。授業とは別行動となりますので、成績等には全く関係がありません。

科目コード	2635356
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**データサイエンス入門**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	220
定員	16名
担当講師	藤井（フジイ）　良宜（ヨシノリ） 宮崎大学教育学部教授 ／宮崎学習センター客員教員
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月12日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎学習センター 第１講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

現在、さまざまな形でデータが蓄積されており、これらのデータの活用の仕方が注目を集めています。 授業の中では、私たちの生活に関する場面を中心に、データがどのような形で活用されているのか、事例を挙げながら解説をします。また、コンピュータを利用して、簡単な場合について実際の解析を体験してもらいます。数理的な内容よりもデータの面白さやデータから知見を得る楽しさを味わっていただきたいです。

【授業テーマ】

第１回　データサイエンスとは
第２回　データを整理することから始めよう
第３回　データの視覚化
第４回　データの傾向を探る
第５回　コンピュータを使って、データを自由に操ろう
第６回　文章の中に含まれる情報を取り出そう
第７回　コンピュータを使って、さまざまな分析を体験しよう
第８回　授業のまとめ

【学生へのメッセージ】

この授業では、データサイエンスに興味を持ってもらうための授業です。現在、いろいろなところでデータが活用されています。少し、身の回りを注意して観察して、どんなところでデータが利用されているのか、興味を持っておいてください。

【受講前の準備学習等】

この授業では、Rという言語を用いますが、Rについての基礎的な知識を要求するものではありません。基本的には、初心者であることを前提に話をします。R言語はインターネットから無料でダウンロードすることができますし、いろいろな情報が公開されています。もし、興味があれば、あらかじめ挑戦してみて、わからないことを質問いただいても結構です。

【受講者が当日用意するもの】

筆記用具

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

Rで始めるデータサイエンス（Hadley Wickham　著、Garrett Grolemund　著、大橋真也　監修／オライリー・ジャパン／￥4,400 ／ ISBN=9784873118147）
※かなり詳しく書かれた本です。かなり突っ込んでデータサイエンスに挑戦してみたいという人におすすめです。

【その他（特記事項）】

この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2632020
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**臨床心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	宮野（ミヤノ）　秀市（ヒデイチ） 宮崎大学 安全衛生保健センター講師
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月12日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎県婦人会館３F「さくら」 宮崎市旭1－3－10 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

この講義では、いくつかの精神疾患、心理療法や治療技法（たとえば、不安障害、発達障害、論理療法、行動療法、行動分析など）、さらにストレスとその対処法などについて学びながら、臨床心理学を概観します。できるだけ日常生活でも役立つようなトピックを扱います。

【授業テーマ】
第１回　不安障害（不安症、強迫症、PTSDなど）とその治療に効果のある心理療法について学ぶ
第２回　発達障害と支援について学ぶ
第３回　不適応の原因となっている非合理的な考え方を変える論理療法を学ぶ
第４回　ストレスとその対処法について学ぶ
第５回　ヒトや動物の行動変容技法である行動分析（強化の原理）を学ぶ
第６回　ヒトや動物の行動変容技法である行動分析（弱化の原理）を学ぶ
第７回　ヒトや動物の行動変容技法である行動分析（消去の原理）を学ぶ
第８回　カウンセラーの資格、臨床心理士と公認心理師について学ぶ

【学生へのメッセージ】
補助教材（レジュメ）のプリントを配付する時限もあります。
成績評価の試験の際は、講義のノートとレジュメを参照可にします。

【受講前の準備学習等】
特に求めることはありませんが、シラバスの内容から判断して事前の学習をすれば、講義の理解が深まるでしょう。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノートや筆記具以外で特に必要なものはありません。

【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2635321
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**韓国語入門**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	韓（ハン）　壽（ス）　燕（ヨン） 宮崎大学非常勤講師
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月19日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎県婦人会館２F「ほうおう」 宮崎市旭1－3－10 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

１日目は、主に「韓国語の発音と表記」を日本語と比較しながら学びます。簡単なハングル文字が読め、自分の名前などがハングルで書け、初めての人と韓国語であいさつができることを目指します。
2日目は「韓国語で自分のことを話そう」をテーマに、基本的な文型に単語を入れ替えて出身地や趣味などが言えるようにします。最終的には習った韓国語を駆使し簡単な自己紹介ができることを目標にして学んでいきます。

【授業テーマ】
第１回　韓国語の特徴とハングルの仕組み、あいさつ①
第２回　韓国語の発音と表記（基本母音・基本子音）、あいさつ②
第３回　韓国語の発音と表記（合成母音・合成子音・パッチム）、あいさつ③
第４回　日本語のハングル表記＊活動：韓国語であいさつを交わそう！
第５回　韓国語の発音と表記まとめ＊活動：読んでみよう！書いてみよう！
第６回　「～は～ですか/～です」の文型で名前、国、出身地、趣味などを聞いて答える
第７回　自分のことを紹介する文に挑戦
第８回　スピーチ練習　⇒＊自己紹介スピーチ

【学生へのメッセージ】
韓国語は日本語と類似点も多く日本人にとって大変学びやすい外国語です。2日間という限られた時間ですが、自分の名前をハングルで書いてみたりあいさつを交わしてみたりと実際体験する中で新しい発見がたくさんあるはずです。ここで得た興味と意欲をもって韓国語を学び続けるのもまたいいでしょう。
知らなかった外国語を一つ身近なものにしてみませんか？

【受講前の準備学習等】
みなさんの周りの「ハングル」を見つけてきてください。案内看板、注意書きなど身近なところにある「ハングル」を写真に撮ってきてください。＊プリントアウトが難しい人はスマホのままでも構いません。

【成績評価の方法】
成績評価は①授業時間中の小テスト、②グループ活動、③最後の自己紹介スピーチにより行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具・ノートなどのメモ用紙

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
できる韓国語　初級Ⅰ（新大久保語学院・李志暎／DEKIRU出版／￥2,200／ISBN=9784872177237）
パランセ韓国語会話入門（金京子／朝日出版社／￥2,530／ISBN=9784255556345）
教養韓国語初級（金智賢／朝日出版社／￥2,530／ISBN=9784255556369）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2635348
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**会計学２ －税務会計（所得税）－**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	土田（ツチダ） 博（ヒロシ） 南九州大学短期大学部教授 ／宮崎学習センター客員教員
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月26日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	南九州大学宮崎キャンパス 1309講義室 宮崎市霧島５丁目１番地２ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

所得税について講義および演習を行います。法律と会計の中間に位置するのが税務会計であり、中でも所得税は消費税と並び最も受講生に身近な税金ではないでしょうか。本授業においては、所得税の概要について学ぶと同時に毎年行われる確定申告についても学習し、適正かつ賢い納税者を目指しましょう。

【授業テーマ】
第１回　所得税の概要と納税義務者
第２回　利子所得、配当所得、不動産所得、事業所得、給与所得
第３回　退職所得、山林所得、譲渡所得、一時所得、雑所得
第４回　所得控除、税額控除
第５回　青色申告制度、源泉徴収制度
第６回　確定申告１
第７回　確定申告２
第８回　確定申告演習

【学生へのメッセージ】
身近な税金であるがゆえに、逆にしっかりと知って賢い納税者になりましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．電卓
２．参考書を購入するかもしれないので現金500円程度必要になるかもしれません。受講決定者には連絡いたします。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
経済、経営、会計に関する科目を学ぶことが望ましいです。

科目コード	2635305
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**ホスピタリティとマナーを考える**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	柚木崎（ユキザキ） 千春（チハル） 南九州大学 短期大学部教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月３日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	南九州大学宮崎キャンパス 1308講義室 宮崎市霧島５丁目１番地２ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

「ホスピタリティとマナーを考える」から連想されるワードとして、サービス、もてなし、プロトコル、ビジネスマナー、ホスピタリティ産業、コミュニケーションなどが挙げられます。これらのワードの意味を単体としてだけではなく相互に影響し合うものとして、関連・関係性で理解することが必要であると考えます。AIの活用が進み、より効率化が図られる現代社会においてこそ、豊かな人的つながりが求められると思われます。その根拠を問うことで導かれる身に付けたいマインドとスキルを一緒に考えていきます。

【授業テーマ】
第１回　授業概説（学習内容と到達目標）
第２回　ホスピタリティの基本概念とホスピタリティ・マインドについて
第３回　ビジネスコミュニケーションとプレゼンテーションについて
第４回　マナーとビジネスマナーについて
第５回　ホスピタリティと日本のおもてなしについて
第６回　京都花街のおもてなしに学ぶ
第７回　「おもてなし」のワークショップ
第８回　授業のまとめ

【学生へのメッセージ】
日常生活で遭遇するサービスやもてなしの場面をノートに記録（メモ程度）して授業に臨んでください。さほど気に留めていなかったことに敢えてフォーカスすることで、興味をもって授業に参加していただけると思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
ホスピタリティ・マインド実践入門（石川英夫／研究社／￥1,540／ISBN=9784327377007）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2624737
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科　目　名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	20名
担当講師	小澤（オザワ）　拓大（タクヒロ） 宮崎学園短期大学 保育科准教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月３日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎県婦人会館３F「さくら」 宮崎市旭1－3－10 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理検査はパーソナリティの測定に用いられるものです。この授業では、まず心理検査の基本的な内容について学びます。その後、各心理検査を体験し、その内容や結果、考察についてレポートにまとめます。また、心理検査を体験すると共に、倫理的配慮や人間理解の奥深さ、難しさについても学んでいきます。受講生の皆さんは、８コマ全ての授業に出席し、すべての検査についてレポート（全３通）を提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理検査についての概説
第２回　「楽観主義尺度・主観的幸福感尺度」実施と結果の整理
第３回　「楽観主義尺度・主観的幸福感尺度」解釈とレポートの書き方・作成
第４回　「YG性格検査」実施と結果の整理
第５回　「YG性格検査」解釈とレポートの書き方・作成
第６回　「バウムテスト」実施と結果の整理
第７回　「バウムテスト」解釈とレポートの書き方・作成
第８回　心理検査における倫理的配慮、まとめ
　　レポート作成

【学生へのメッセージ】
授業内では様々な専門用語がでてきますが、ただそれを覚えるだけではなく、「心」や「行動」の考え方を学ぶという姿勢を心がけてください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆、消しゴム、空き時間にレポートを作成したい場合は、ノートパソコンを持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2624710
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科　目　名	**心理学実験３**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	18名
担当講師	内藤（ナイトウ）　健一（ケンイチ） 九州保健福祉大学 臨床心理学部講師
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月10日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎学習センター 第１講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

3種の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。予定している実験は､SD法､ストループ効果､逆向抑制です｡授業時間中にデータ整理､レポート作成をおこないますが、間に合わない場合は、後日レポートを提出していただきます。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　SD法
第２回　論文・レポートの書き方、データ整理、レポート作成
第３回　ストループ効果
第４回　データ整理、レポート作成
第５回　逆向抑制
第６回　逆向抑制
第７回　データ整理、レポート作成
第８回　各レポートの再考・修正

【学生へのメッセージ】
実験を実施するためにパソコンを使用します。特別な知識や技術は必要としませんが、マウスを使う、文字を入力するといった初歩的な操作には慣れている方が望ましいです。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓、定規、USBメモリ（データを持ち帰りたい場合）、自分のノートパソコン（自分のノートパソコンでレポートを作成したい場合）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」､「心理学研究法（'20）」､「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2635399
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**漢字の歴史と文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	山元（ヤマモト）　宣宏（ノブヒロ） 宮崎大学 教育学部准教授
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月10日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 教育学部講義棟 宮崎市学園木花台西１丁目１番地 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

古代文字「篆書」から漢字の成り立ち、変遷を解説します。それぞれ部首のまとまりを中心に関連する漢字を取り上げ、漢字の歴史と文化を考察します。また、現代日本における漢字の規格やその問題点、あるいは漢字の書き順など漢字にまつわる様々な問題も取り上げます。さらに漢字の知識を蓄えたうえで、実際に漢字の書写に取り組みます。漢字の意味や変遷がわかって、おのずときれいな字が書けるような体験を行います。

【授業テーマ】
第１回　ガイダンス
第２回　現代日本における漢字の理解①　当用漢字について
第３回　現代日本における漢字の理解②　常用漢字について
第４回　漢字の部首を考える①　目から広がる漢字他
第５回　人名用漢字について
第６回　漢字の部首を考える②　ウ冠他
第７回　漢字の部首を考える③　欠など
第８回　漢字の部首を考える④　犬から広がる漢字他

【学生へのメッセージ】
漢字を様々な面から捉えてみます。また、知識を得るだけでなく、実際に漢字の書写にも取り組んでみます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆などの筆記用具。漢和辞典があれば、のぞましい。

【教科書】
漢字かきかた練習帳（山元　宣宏／鉱脈社／￥1,430 ／ ISBN=9784860616649）
受講人数確定後に講師が準備します。受講当日に教科書代を徴収します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目」、2008年度以前「共通科目」に該当します。

科目コード	2635402
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科目名	**果樹園芸科学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	鉄村（テツムラ）　琢哉（タクヤ） 宮崎大学 農学部教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月17日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 農学部講義棟 宮崎市学園木花台西１丁目１番地 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

果樹は木本の永年生作物であり、水稲や野菜、草花などの１年生作物とは生理・生態的な特徴が異なります。本授業では、授業テーマに示した内容について、栽培技術のみでなく、植物生理に関する観点からも概説し、果樹生産に直接関わる花芽の形成から果実の成長までについて、生理・生態的特徴を交えながら論じていきます。そして、果樹園を見学し、冬季せん定の実際について説明します。最後の授業では宮崎で生産されている果物について由来や栽培の現状についてお話しします。

【授業テーマ】
第１回　果樹園芸学の特徴と最近の傾向、果樹の分類
第２回　果樹の種類と品種、環境と果樹の生態
第３回　育種、繁殖
第４回　花芽形成と結果習性
第５回　受精と結実
第６回　整枝・せん定
第７回　果樹園見学、果実の発育
第８回　宮崎県の果樹

【学生へのメッセージ】
果実を食べると健康になることは多くの事例で証明されています。残念ながら日本は果実摂取量が最も低い国の一つです。本授業を受講することにより、果実を生産する『果樹』に興味を持っていただき、専門店で美味しい果物をたくさん購入することを望みます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。講義の理解を容易にしたい方は、参考書、インターネットの記事等を活用し、果樹園芸学の基礎内容について情報を収集しておくことをお勧めます。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日、プリントや補助教材等の配付はありません。筆記用具とノートを持参してください。
授業2日目午後に宮崎大学内の農場訪問（果樹園見学）を予定しています。雨天時、降雪時、及び通路・園地の状態が悪い場合は中止し、座学を行います。歩きやすい靴及び防寒着を忘れずに持ってきてください。諸事情により見学に参加できない方は、授業1日目にその旨、お伝えください。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
果樹園芸学（米森敬三ほか14名／朝倉書店／￥4,180 ／ ISBN=9784254410372）最後の授業を除く全授業の素材となっている大学生用テキストです。本授業の予習を積極的に行い方、また本講義を受講して、果樹園芸学についてさらに詳しく知りたくなった方は、この本を読むことをお勧めします。

科目コード	2635364
学習センター（コード）	45A
クラスコード	K
科　目　名	**精神保健学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定　　員	20名
担当講師	川村（カワムラ）　道子（ミチコ） 宮崎県立看護大学 看護学部看護学科教授 ／宮崎学習センター客員教員
日程実施時間	12月23日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月24日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40
実施会場	宮崎県立看護大学多目的ホール 宮崎市まなび野３丁目５番地１ ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

本講義では、メンタルヘルスをセルフマネジメントするための見識を深めていきます。人々の健康は身体的、精神的、社会的健康が有機的に連動して保たれていることを前提にメンタルヘルスを考えていきます。また、人類の進化過程を踏まえてメンタルヘルスに関する歴史を辿り、どのように豊かな人生を過ごしていくかを検討していきます。

【授業テーマ】

第１回　現代社会の特徴とメンタルヘルス
第２回　自己のメンタルヘルスの客観視
第３回　２４時間の生活と精神保健①
第４回　２４時間の生活と精神保健②
第５回　２４時間の生活と精神保健③
第６回　身体の健康と精神保健
第７回　社会関係と精神保健
第８回　まとめ･レポート作成

【学生へのメッセージ】

本講義での学びを、これからの人生を豊かに過ごしていくために活かしていただきたいと考えています。知識の獲得が目的ではなく、実践できることを目指します。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

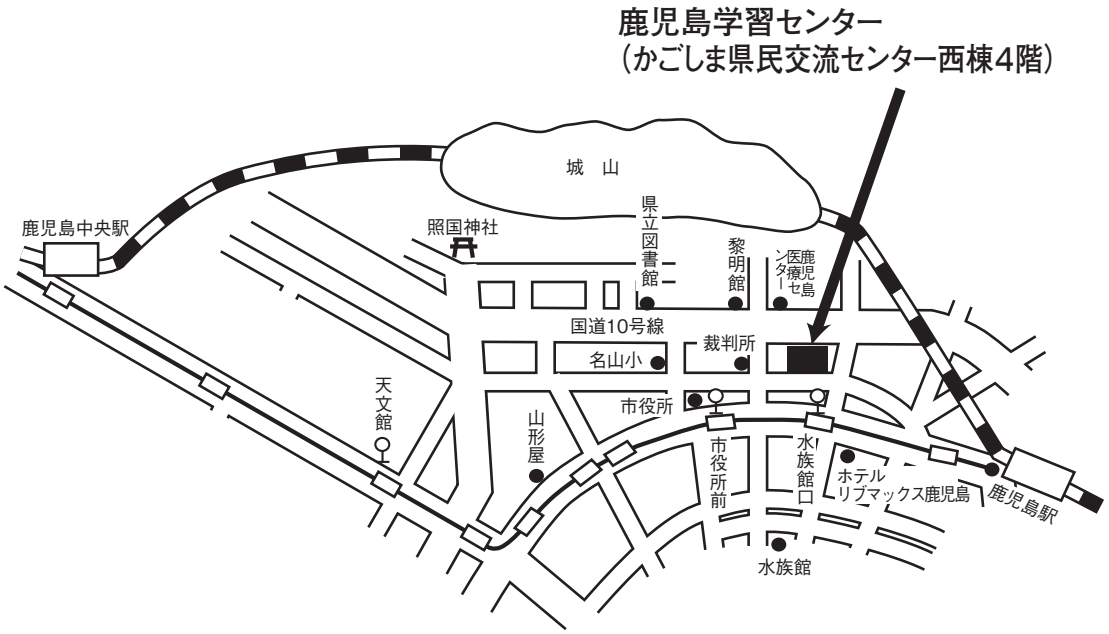
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

教科書は使用しません。

鹿児島学習センター
（コード：４６Ａ）

鹿児島学習センター案内図　☎099-239-3811



【所在地】〒892-0816　鹿児島市山下町１４－５０（かごしま県民交流センター西棟4階）

【交通アクセス】
（1）JR九州
　鹿児島駅から徒歩10分
　鹿児島中央駅から電車・バス約15分
（2）電車・バス
　水族館口下車徒歩4分

【駐車場】
・かごしま県民交流センターの地下1階、地下2階が駐車場になっています。
（館内の行事等によっては、満車になる場合もあります。）
・放送大学鹿児島学習センター事務室（西棟4階）で学生証を提示し、駐車券の認証を受けると、駐車料が無料になります。
（無料の取り扱いは、放送大学鹿児島学習センター事務室の閉所後、30分までです。）

【その他連絡事項】
面接授業は鹿児島会場（※かごしま県民交流センター内）と奄美会場（県立奄美図書館4階）で開講します（一部例外あり）。面接授業時間割表をよく確認し、受講会場を間違えないように注意してください。
　※かごしま県民交流センター内会場
　　鹿児島学習センター講義室（西棟4階）
　　大研修室第3（東棟4階）
　　大研修室第4（東棟4階）

科目コード	2635445
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**戦後日本政治入門**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	平井（ヒライ）　一臣（カズオミ） 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授
日程実施時間	10月14日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 10月15日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第４（東棟４階） （鹿児島市山下町14－50） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

第二次世界大戦後の日本の政治の歩みについての講義です。敗戦と占領から高度経済成長を経て、現在の長期停滞の時代に至るまで、日本の政治は大きな変化を遂げてきました。政治家や政党の行動、制度の変化などを中心に説明し、歴史を通して日本政治の現状と課題を考えていくことにします。

【授業テーマ】
第１回　敗戦と占領
第２回　冷戦と占領政策の転換
第３回　55年体制
第４回　高度経済成長と自民党政治
第５回　田中支配の時代
第６回　中曽根内閣と新自由主義
第７回　冷戦の終焉と日本政治の流動化
第８回　「改革」の時代の３０年－日本政治の今とこれから

【学生へのメッセージ】
政治の世界は絶えず変化をしています。日本の政治がどのように変化してきたのか、変化はなぜ生じてきたのかを皆さんと一緒に考えることにします。歴史と政治に関心をもって受講してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
歴代首相物語 増補新版（御厨貴 編／新書館／￥2,200 ／ ISBN=9784403251085）ネットショッピングなどでも入手できます。
昭和史 戦後篇1945－1989（半藤一利／平凡社／￥990 ／ ISBN=9784582766721）
べ平連とその時代 身ぶりとしての政治（平井一臣／有志舎／￥3,080 ／ ISBN=9784908672415）

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2624990
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	田爪（タヅメ）　宏二（ヒロツグ） 京都教育大学 教育学部教授
日程実施時間	10月14日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 10月15日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

本科目では、４つの心理学実験および関連する補助実験を取り上げます。心理学の基礎実験の体験を通して、第一に心理学における実験的研究法の意義について理解し、その手法を習得すること、第二には心理学における諸現象を体験的に学習し、その背景となる理論について考察することを目的とします。受講生は８コマ全ての実験に実験者及び実験対象者として出席し、４つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　知覚の実験：大きさの錯視（大きさの恒常性）
第２回　実験結果の分析と解説、および補助実験（知覚）
第３回　情動の実験：要求水準
第４回　実験結果の分析と解説、および補助実験（情動）
第５回　記憶の実験：系列位置効果
第６回　実験結果の分析と解説、および補助実験（記憶）
第７回　学習の実験：運動技能学習におけるフィードバックの効果
第８回　実験結果の分析と解説、および補助実験（学習）

【学生へのメッセージ】
実験を通して心理学における諸現象を体験します。実験結果を他の心理学の授業内容に関連づけながら考察するとより学びが深くなります。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、電卓と30㎝定規を持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会認定心理士資格認定委員会 編／金子書房／￥2,750 ／ ISBN=9784760830312）

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2635518
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**認知症と高齢者のこころの病気**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	長友（ナガトモ）　医継（イツギ） 社会福祉法人中江報徳園理事長
日程実施時間	10月20日（金） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 10月27日（金） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

現在、本邦は高齢化率が25％を越える超高齢社会ですが、今後ますます高齢化は進行し、これに伴い「認知症の人」も増加していくと予想されています。認知症の症状、病気、その治療法などを学習するとともに、現在、実施されている施策である新オレンジプランへの理解を深めていただきたいと思います。

【授業テーマ】
第１回　老化
第２回　認知症とは
第３回　認知症を呈する病気
第４回　認知症との鑑別を要する高齢者のこころの病気
第５回　認知症の治療と対応
第６回　介護家族の心理
第７回　認知症対策の社会的資源
第８回　認知症の予防

【学生へのメッセージ】
本邦はこれから「認知症の人」がますます増加していきます。これらの人々を住み慣れた地域で支えていくためにも、本講義を通じて、認知症の正しい理解を深めてください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635496
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**画像記号による計算機操作の基礎**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	内山（ウチヤマ）　博之（ヒロユキ） 鹿児島大学名誉教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 10月22日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

私たちは視覚を使って外界から情報を取り込みますが、交通標識のように一目でわかるものと、文章のようにより時間をかけて理解しなければならないものを使い分けています。皆さんが使っているスマホやパソコンでは、「一目でわかる」シンプルな絵（アイコン）でアプリを表現しているので、使いたいアプリをすぐに選び出すことができます。アイコンなどの画像的なシンボル（画像記号）を多用したコンピュータの操作法を、グラフィカル･ユーザー･インターフェイス(GUIと略す)といいます。このGUIの基礎を中心に学びます。

【授業テーマ】
第１回　コンピュータの操作法：ヒューマン・インターフェイスとは？
第２回　コンピュータ本体の進歩の歴史
第３回　コンピュータの操作法の歴史
第４回　画像記号による操作法を用いるコンピュータの特徴
第５回　私たちはどのように見て、どのように考えるのか：ヒトの視知覚と認知機能の特性
第６回　画像記号を用いたコンピュータの操作法の特徴（１）
第７回　画像記号を用いたコンピュータの操作法の特徴（２）
第８回　コンピュータの操作法の未来

【学生へのメッセージ】
スマホやパソコンの仕組みやインターフェイスのことについて知らなくても理解できるように、その設計思想を基礎から解説します。授業を受けると、スマホやパソコンの使用者が世界中で爆発的に増加した理由がわかります。

【受講前の準備学習等】
特に予備知識は必要ありませんが、パソコンやスマホの使用経験が望ましいです。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2635534
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**心理アセスメントの基礎**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	関山（セキ ヤマ）　徹（トオル） 鹿児島大学 学術研究院教育学系准教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 10月22日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第３（東棟４階） （鹿児島市山下町14－50） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

心理アセスメント（心理査定）は、心理的な援助を必要としている人を多角的・多層的に理解するだけでなく、生活環境等との関係性も含めて全体的に把握して、支援に役立てていく営みです。また、そのための方法として、観察法や面接法、心理テスト（質問紙法・投映法等）があります。本講義では、心理アセスメントの中核となる病院や相談機関におけるあり方を主軸にして、そこでの基本的な考え方や仕組みについて理論的に学んでいきます。

【授業テーマ】
第１回　心理アセスメントに臨む姿勢（科学性・共感性）と倫理
第２回　収集すべき情報とその整理の仕方
第３回　心理テスト（１）：パーソナリティの考え方と質問紙法の仕組み
第４回　心理テスト（２）：知能の考え方と知能検査の仕組み
第５回　心理テスト（３）：投映法の考え方とその仕組み
第６回　心理テスト（４）：投映法を用いたパーソナリティ等の理解
第７回　観察法・面接法の考え方と仕組み
第８回　総合的なアセスメント：初回面接（インテーク面接）をめぐって

【学生へのメッセージ】
本講義では、個別の心理テスト等の実施法を伝えるのではなく、心理的に苦しんでいる人の支援に役立つアセスメントはいかにあるべきかを第一に考えながら、科学性と共感性の両方を大切にして進めていきます。

【受講前の準備学習等】
臨床心理学や統計学を初めて学ぶ人は、以下の参考書を事前に読んで、専門用語に馴染んでおいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・心理アセスメントの理論と実践：テスト・観察・面接の基礎から治療的活用まで（高瀬由嗣･関山徹･武藤翔太（編著）／岩崎学術出版社／￥3,960 ／ ISBN=9784753311668）
＊本講義の内容全般の理解に役立つ基本書籍
・心理的アセスメント（津川律子・遠藤裕乃（編）／遠見書房／￥2,860 ／ ISBN=9784866160641）＊「心理アセスメントの理論と実践」よりも簡略な内容の図書
・心理統計学の基礎：統合的理解のために（南風原朝和／有斐閣アルマ／￥2,420 ／ ISBN=9784641121607）＊心理アセスメントの科学性や質問紙法・知能検査の仕組みを理解するために役立つ書籍
・はじめて学ぶパーソナリティ心理学：個性をめぐる冒険（小塩真司／ミネルヴァ書房／￥2,750 ／ ISBN=9784623056842）＊パーソナリティについて理解するために役立つ書籍

科目コード	2635410
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**中国語で話してみよう**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	寺西（テラ ニシ）　光輝（ミツ テル） 鹿児島大学学術研究院 総合教育学系講師
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 10月29日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第３（東棟４階） （鹿児島市山下町14－50） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。発音の基礎から学び、初歩的な中国語能力を身につけます。国内での中国語圏からの観光客や滞在者との交流を想定した実践的な練習を行い、ごく簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。

【授業テーマ】
第１回　中国･中国語とは。発音の基礎（中国語の声調、ピンインの読み方①）
第２回　発音の基礎（中国語の声調、ピンインの読み方②）
第３回　名前や出身地、仕事について話そう
第４回　身の周りのものや人について話そう
第５回　数字を覚えて使ってみよう
第６回　一日の行動について話そう
第７回　趣味や好みについて話そう
第８回　中国語で話してみよう

【学生へのメッセージ】
授業では、社会の中でコミュニケーションの「道具」として、中国語をいかに使うかを考えながら学習に取り組んでください。

【受講前の準備学習等】
自分がどんな場面で中国語を使う可能性があるのかを想像し、中国語の基礎を学ぶことで、“何ができるようになりたいか”を考えておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、筆記試験（口述試験を含みます）により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2635526
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**リスクコミュニケーション論**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	奈良（ナラ）　由美子（ユミコ） 放送大学教授
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 10月29日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

わたしたちが生きる現代について「現代はリスク社会である」との記述がしばしば用いられます。この記述の意味を論じるときには、①リスクの客観的な様相の局面、②リスクの主観的な認識の局面、そして③リスクへの対処の局面を考えなければなりません。この授業では、まずリスクの様相についておさえたうえで、主にリスクの認識（リスク認知）と対処の局面（リスクコミュニケーション）について具体的な事例を交えながら考えます。

この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の２ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。（96ページ参照）

【授業テーマ】

第１回　緒言（授業の構成、授業のねらい、授業と評価の方法）
第２回　リスクの様相（リスク定義、リスクの本質、不確実性、リスクの分類、リスクの実際）
第３回　リスクの認知（１）（主観リスク、客観リスク、ヒューリスティック、認知バイアス）
第４回　リスクの認知（２）（リスクの受容、便益、ゼロリスク要求）
第５回　リスクの認知（３）（個体的要因、文化的・環境的要因、日本人のリスク観）
第６回　リスクコミュニケーション（１）（欠如モデル、リスクコミュニケーションの概念と目的、相互作用プロセス、技法）
第７回　リスクコミュニケーション（２）（信頼、伝統的信頼モデル、主要価値類似性モデル、リスクガバナンス、事例）
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】

この授業では、いかに私たちがリスクを客観的には見ていないかということを理解します。さらに、立場の異なる人たちのあいだでリスクに対処するための手法の一つであるリスクコミュニケーションについて学びます。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635550
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**宮沢賢治の童話を読む**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	村瀬（ムラセ）　士朗（シロウ） 鹿児島国際大学 国際文化学部教授
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:40 試験・レポート等　16:40～17:00 11月５日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

宮沢賢治の童話作品は、子供のための楽しい読み物でありつつ、大人が読むと鋭い社会批判や哲学が語られていて、きわめて多面的な魅力を持っています。童話作家、詩人にして自然科学者、教育者、宗教者、音楽家でもあった、宮沢賢治というクリエーターを取り上げることで、「文学的」な作品の「鑑賞」に限定されない、分野を超えた様々な問題を考えるきっかけを作っていきます。

【授業テーマ】

第１回　「どんぐりと山猫」（１）―「黄金いろの草地」での体験は一郎にとってどんな意味を持っていたか
第２回　「どんぐりと山猫」（２）―学校教育の寓話としての「どんぐりと山猫」
第３回　「どんぐりと山猫」（３）―権力構造のメカニズム
第４回　「どんぐりと山猫」（４）―「塩鮭の頭」と「黄金のどんぐり」
第５回　「なめとこ山の熊」（１）―成立しない三すくみ
第６回　「なめとこ山の熊」（２）―人間・文明・自然：宮崎駿『もののけ姫』との比較
第７回　「なめとこ山の熊」（３）―小十郎と熊との関係の変化
第８回　「なめとこ山の熊」（４）―星が示すもの

【学生へのメッセージ】

授業はテキストを読みながら話を進めていきますので、すでに取り扱う作品を他の本でお持ちの場合も、必ず指定されたテキストを購入して持ってきてください。

【受講前の準備学習等】

特別な予備知識は必要ありませんが、事前に作品を読んで、授業に臨んでください。

【成績評価の方法】

成績評価は、各日最後に行うレポートにより行います。

【教科書】

注文の多い料理店（改版）（宮沢賢治／新潮社／￥484 ／ ISBN=9784101092065）
※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。

【参考書】

宮沢賢治ハンドブック（新装版）（天沢退二郎 編／新書館／￥1,980 ／ ISBN=9784403251092）

科目コード	2635470
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**近代天皇制から象徴天皇制へ**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	チャ ダニ　セイ イチ 茶谷　誠一 志學館大学 人間関係学部教授
日程実施時間	11月９日（木） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月10日（金） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

2019年５月、天皇の代替りによって平成から令和へと改元しました。明治期以降、初となる天皇の生前退位をうけ、改めて天皇制や皇室への国民の注目が集まっています。この講義では、幕末期から明治維新のさなかに誕生した近代天皇制から敗戦後の新憲法制定にともなって成立した象徴天皇制につき、主に昭和期における天皇制の変遷と実態、そして現状を学んでいきます。

【授業テーマ】
第１回　明治維新と「万世一系」の皇統
第２回　近代皇室制度の整備（典憲体制の成立）
第３回　天皇制慈恵主義（日英君主制の比較から）
第４回　「終戦工作」の内幕（遅すぎた聖断の考察）
第５回　象徴天皇制の成立
第６回　“象徴”となった昭和天皇の実態
第７回　大衆天皇制論とミッチー・ブーム
第８回　象徴天皇制のゆくえ

【学生へのメッセージ】
歴史学の視点から客観的に天皇制の仕組みを学んでいきます。導入科目ですので、映像資料を交えながら分かりやすい授業を心がけていきます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から各自で参考となる文献などを読んで自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
象徴天皇制のゆくえ（茶谷誠一 編／志學館大学出版会／￥1,650／ISBN=9784860742850）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2635542
学習センター(コード)	46A
クラスコード	K
科目名	**鹿児島の地域課題と政策2**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ニシ　ケイ イチ ロウ 西　啓一郎 前鹿児島県人事委員会委員長 クワ シロ　タケ ヒコ 桑代　毅彦 鹿児島県総合政策部次長 ホン ダ　トヨ ヒロ 本田　豊洋 鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課長 カタ ノ ダ　タクヨウ 片野田　拓洋 鹿児島県商工労働水産部販路拡大・輸出促進課主幹(連携担当)
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月12日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

鹿児島県は“地域課題のデパート”と称されるように、高齢化の進行、離島の存在、自然災害の発生、交通基盤などの課題を抱えている一方、世界遺産に象徴される、多様な自然や観光資源、豊かな農林水産物や焼酎など加工品、歴史や文化などに恵まれています。
人口減少社会の到来、グローバル化、デジタル化の進展など時代の転換期に当たり、またコロナ後も見据えながら、鹿児島県として、地方自治体として、どのように地域課題を認識・解決し、多様な可能性を生かして豊かな地域社会をつくっていくかを考えることにより、広く政策についての理解を深めます。

【授業テーマ】
第１回　はじめに／行政組織と税財政の仕組み〔本田〕
第２回　共生・協働社会の実現に向けて　～自助・共助・公助～〔本田〕
第３回　鹿児島の目指す姿　「かごしま未来創造ビジョン」〔桑代〕
第４回　再生可能エネルギーやデジタル化、GXと地方自治体〔桑代〕
第５回　人口減少社会における子育て支援施策〔片野田〕
第６回　グローバル化と地方自治体の国際交流施策〔片野田〕
第７回　データから見る鹿児島県の特性と課題，可能性〔 西 〕
第８回　課題解決への具体的取組例／まとめ　〔 西 〕

【学生へのメッセージ】
鹿児島県の課題や政策を中心に、県庁の実務家（大学教員経験者も含む）が中心になり授業を担当します。講義だけでなく、なるべく質疑応答や意見交換の時間も確保したいと考えます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容やテーマを参考に、県やお住まいの市町村の取組を新聞記事、広報紙、ホームページ等で調べるなど、事前の学習をお勧めします。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
2019～2022年度，各第2学期に開講した「自治体行政論１」、「自治体行政論２」、「自治体行政論３」、「鹿児島の地域課題と政策１」の内容を一部含みます。

科目コード	2635569
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**建築のカタチを考える**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	柴田（シバタ） 晃宏（アキヒロ） 鹿児島大学 学術研究院工学系准教授
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月19日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

建築のカタチはどの様にして決められるのでしょうか？（本講義の「カタチ」は思想、技術、法則などを経て得られた形態を指しています）建築の形態を決める要因は、施設の機能性や安全性、室内の快適性、工法や構造、コスト、関連法規、人体寸法、人の行動や認識、更に芸術性などと非常に多岐に亘ります。本講義では、建築計画学や建築の構造形式、人の行動や認識、建築における寸法、日本住宅の変遷、美学に関する項目を取り上げ、建築のカタチを考える上での基礎知識を習得することを目的とします。

【授業テーマ】
第１回　建築をデザインすること
第２回　建築における計画学
第３回　建築の構造と形
第４回　建築の中の寸法
第５回　空間の認識と人の行動
第６回　日本における住宅の変遷
第７回　海外現代建築の形態的多様性
第８回　建築における視覚的快適性

【学生へのメッセージ】
授業では講義と実例のスライド写真などを用いて解説し、建築のカタチを考える上で基本となる事柄を学びます。修得した知識によって建築の理解が深まるように頑張りましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
建築のしくみ　住吉の長屋/サヴォワ邸/ファンズワース邸/白の家（安藤直見・柴田晃宏・比護結子／丸善出版／￥3,960 ／ ISBN=9784621079614）
空間要素―世界の建築・都市デザイン（日本建築学会／井上書院／￥3,300 ／ ISBN=9784753017393）

科目コード	2635577
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**鹿児島の自然環境と土砂災害**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	寺本（テラモト） 行芳（ユキヨシ） 鹿児島大学 学術研究院農学系准教授
日程実施時間	11月18日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月19日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第３（東棟４階） （鹿児島市山下町14－50） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

鹿児島県は温暖で、世界自然遺産に登録された屋久島、奄美大島、徳之島をはじめ多くの離島を有しています。海岸に目を向けると、日本三大砂丘のひとつである吹上砂丘もあります。桜島をはじめ多くの活火山も分布しており、自然に大変恵まれた地域です。他方、鹿児島は全国的にみても土砂災害の多い県です。過去には土砂災害に加え、海岸地域での飛砂害も発生しています。本授業では鹿児島の自然環境を理解し、自然がもたらす土砂災害とその発生の仕組みなどについて考えます。

【授業テーマ】
第１回　鹿児島の自然環境（気候、地形、地質など）と土砂災害
第２回　土砂災害の発生の仕組み
第３回　鹿児島県で発生した土砂災害を知る（1993年鹿児島豪雨災害を中心にして）
第４回　活火山地域で発生した土砂災害を知る（1914年桜島大正大噴火災害を中心にして）
第５回　近年の土砂災害を知る（2017年九州北部豪雨災害など）
第６回　森林を主とした植物の持つ防災機能
第７回　海岸防災林の機能と自然環境①
第８回　海岸防災林の機能と自然環境②

【学生へのメッセージ】
鹿児島県はなぜ土砂災害が多いのでしょうか。また、森林はどんな防災機能を発揮しているのでしょうか。さらに、海岸に分布する森林はなぜ造られ、どんな機能を発揮してきたのでしょうか。一緒に考えましょう。
各授業の終わりには、理解度を測るためのレポートを作成して頂く予定です。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635453
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**発酵食品のひみつ**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	髙峯（タカミネ）　和則（カズノリ） 鹿児島大学 学術研究院農学系教授
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月26日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第３（東棟４階） （鹿児島市山下町14－50） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

発酵食品といえば、味噌、醤油、清酒、お酢、ヨーグルトそして焼酎等、食卓には欠かすことのできない食品です。これらの発酵食品に関わる微生物がなぜアルコールや乳酸、酢酸、芳香成分などを作るのか、なぜ美味しさや栄養価、保存性が向上するのか、それに関わる微生物の役割やその製造法、健康機能性等から発酵食品のひみつを解き明かします。

【授業テーマ】
第１回　発酵食品に関わる微生物（麹菌、酵母、乳酸菌など）
第２回　発酵食品いろいろ（乳酸菌飲料、味噌、醤油、酢）
第３回　発酵食品に関わる酵素
第４回　芋焼酎と黒糖焼酎
第５回　香の科学
第６回　酒の功罪
第７回　発酵食品の健康機能性
第８回　鹿児島県特産の発酵食品いろいろ

【学生へのメッセージ】
発酵食品とそれに関わる微生物、健康機能性などについて、基礎的なことから実際の応用まで幅広く講義したいと思います。

【受講前の準備学習等】
発酵食品に欠かすことのできない微生物について参考書等で自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
発酵食品学（小泉武夫／講談社／￥4,180 ／ ISBN=9784061537347）本書は、鹿児島学習センター図書室でも閲覧できます。
焼酎の科学　発酵、蒸留に秘められた日本人の知恵と技（鮫島吉廣、髙峯和則／講談社／￥1,100 ／ ISBN=9784065268070）本書は、鹿児島学習センター図書室でも閲覧できます。

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2624710
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験３**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	有倉（ユウクラ）　巳幸（ミユキ） 鹿児島大学 学術研究院教育学系教授
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月26日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学における実験的研究を４つ（鏡映描写、触二点閾、囚人のジレンマ、SD法）取り上げます。
心理学実験３では、心理学の初学者が最低限知っておきたい実験をいくつか紹介したいと考えています。この授業をとおして、心理学の基礎知識、方法を身につけ、様々な視点からの人間理解を進めてもらいたいと思います。受講生の皆さんは、８コマの授業すべてに出席し、4つの実験全てについてのレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理学実験の基礎（以下の実験で用いる統計処理の方法、レポートの書き方など）
第２回　SD（セマンティック・デファレンシャル）法（key word:SD法、因子分析、評定法）
第３回　鏡映描写（知覚－運動学習）(1)（key word：知覚運動学習、両側性転移）
第４回　鏡映描写（知覚－運動学習）(2)
第５回　触二点閾の測定（1）（key word:触二点閾、精神物理学的測定法、弁別閾、極限法）
第６回　触二点閾の測定（2）
第７回　囚人のジレンマ（1）（key word：囚人のジレンマ、応報戦略、信頼）
第８回　囚人のジレンマ（2）

【学生へのメッセージ】
心理学の基礎的な実験の方法を経験することで、科学的な視点で人間行動を理解できるようになってもらいたいと思います。なお、授業時間については、進み具合によって多少変わることを了承ください。

【受講前の準備学習等】
実験の説明に時間をとりたいので、統計処理の考え方と手法（平均、標準偏差、推測統計（分散分析）、因子分析）についてはあらかじめ学習しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
心理学基礎実習マニュアル（宮谷真人、坂田省吾／北大路書房／￥3,080／ISBN=9784762826658）本書は、鹿児島学習センター図書室でも閲覧できます。

【その他（特記事項）】
内容の一部は、2010年度に開講した「心理学基礎実験A」、2011・2012年度に開講した「社会心理学基礎実験」と重複しています。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18)」、「心理学研究法（'20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。

科目コード	2635437
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**精神的健康のセルフマネジメント**
科目区分	導入科目：生活と福祉
ナンバリング	220
定員	30名
担当講師	山下（ヤマシタ）　亜矢子（アヤコ） 鹿児島大学 学術研究院医学系教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月３日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

私たちは日常生活のなかで、周りの人とどう関わっていけばよいのか分からなくなる時があります。そのような時に目の前の出来事や自分自身について新たな発見や気づきに出会い元気になれるよう、本講義ではコミュニケーションやセルフマネジメントについて学びます。また、自己のコミュニケーションの特徴について理解を深め、他者と良好なコミュニケーションをとることができ、自分自身の精神的健康が高まるよう演習などを取り入れながら実践的に学びます。

【授業テーマ】
第１回　精神的健康のためのセルフマネジメント
第２回　コミュニケーション（対象理解と自己理解）
第３回　コミュニケーションスキル（傾聴）
第４回　リフレーミング（出来事の枠組みを変える）
第５回　感情と認知
第６回　元気回復行動プラン①
第７回　元気回復行動プラン②
第８回　元気回復行動プラン③

【学生へのメッセージ】
日常からテレビや新聞などから精神保健に関する情報に関心を持つようにしてください。授業では、自分で作る自分のための元気回復行動プランも行います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2635429
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**観光とおもてなしのための英語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	20名
担当講師	山崎（ヤマサキ）　美智子（ミチコ） 有限会社アイエス通訳システムズ 代表取締役社長
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 12月10日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島学習センター 講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

コロナ禍で減少していましたが、外国人観光客が鹿児島にも戻ってきつつあります。鹿児島のマリンポートにはかなりの数のクルーズ船が来航します。そのような状況のもと、外国人を鹿児島に歓迎するための接遇表現や、道案内の表現、あるいは鹿児島の観光地を紹介する簡単な英語表現を学習し、実際に役立てることができるようにします。オリジナルのテキストを用いて鹿児島の現実に即した学習をします。

【授業テーマ】
第１回　導入、外国人に話しかけるコツ、基本表現
第２回　道案内の会話
第３回　レストランでの会話　（鹿児島の食）
第４回　買い物をするときの会話　（お土産の説明）
第５回　鹿児島の紹介（鹿児島県、鹿児島市）
第６回　鹿児島の紹介（桜島）
第７回　鹿児島の紹介（仙巌園）
第８回　復習　まとめ

【学生へのメッセージ】
英語のレベルは初級から中級者を対象としています。
鹿児島を訪れる外国人観光客に気軽に話しかけられるようになります。

【受講前の準備学習等】
鹿児島を訪れる外国人にどのようなことを伝えたいか、シミュレーションをしていてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
辞書（電子辞書でも可）

【教科書】
オリジナルテキスト（放送大学受講生のための英会話集）（山崎美智子／アイエス通訳システムズ／￥1,000）※本書は、授業当日に鹿児島学習センターで販売します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2635461
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**日本経済の概観 －現状と課題－**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	石塚（イシヅカ）　孔信（ヨシノブ） 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 12月10日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	かごしま県民交流センター 大研修室第３（東棟４階） （鹿児島市山下町14－50） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

日本経済はデフレ不況が続いており、「失われた30年」といわれる状況です。これほど長期にわたって経済が成長しない状況が続いている理由を戦後の日本経済の歩みを振り返り、日本経済を概観することによって考えていきます。さらに、デフレ不況を脱却するための処方箋としての経済政策についても議論していきます。また、トピックとして消費税増税が日本経済に与える影響やグローバル化が地域経済に与える影響、さらにはコロナ禍後の日本の経済社会について考えてみます。

【授業テーマ】

第１回　GDPと景気
第２回　日本経済のマクロ経済学的概観①
第３回　日本経済のマクロ経済学的概観②
第４回　戦後の日本経済の歩み（①第2次世界大戦後～ 1980年代、②1980年代～現在）
第５回　財政政策と金融政策の現状と問題点
第６回　（トピック①）消費税増税の日本経済への影響
第７回　（トピック②）グローバル化の進展と地域経済への影響
第８回　（トピック③）コロナ禍後の社会経済の動向
まとめ

【学生へのメッセージ】

経済学の基礎知識は必要ありません。日本経済の概観をイメージする能力が身につき、戦後の日本経済の変遷も理解できるようになり、新聞やテレビの時事問題や経済問題に対して自分の意見を持つことができます。

【受講前の準備学習等】

日ごろから、新聞、雑誌に目を通して、時事問題や経済問題に関心を持つように努力してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

日本経済の黒い霧（植草一秀／ビジネス社／￥1,870 ／ ISBN=9784828423852）

【その他（特記事項）】

この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2635500
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**水族館学入門**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	16名
担当講師	佐々木（ササキ）　章（アキラ） 公益財団法人鹿児島市水族館公社館長 検見崎（ケンミサキ）　温久（ハルヒサ） 公益財団法人鹿児島市水族館公社総務課課長 久保（クボ）　信隆（ノブタカ） 公益財団法人鹿児島市水族館公社展示課主幹
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　9:55～11:25 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:45～17:15 12月17日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:45～13:15 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	いおワールドかごしま水族館 鹿児島市本港新町３番地１ ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

博物館法によって水族館が博物館の１つであるとされる立場から見た「水族館学」という視点で水族館を学ぶ授業です。かごしま水族館の施設概要や経営、情報発信、展示コンセプト、調査研究、学習交流事業等の講義を受講します。その後、海水取入れ施設等の現場を見学し、水族館らしい「楽しく学ぶ」教育プログラムを体験学習します。また、魚類や海獣類の飼育を職員の指導のもと実習します。

【授業テーマ】

第１回　水族館とは何か、かごしま水族館の展示内容
第２回　水族館経営学・施設管理学
第３回　水族館教育プログラム（１）
第４回　水族館教育プログラム（２）
第５回　魚類飼育実習（１）
第６回　魚類飼育実習（２）
第７回　海獣飼育実習（１）
第８回　海獣飼育実習（２）

【学生へのメッセージ】

水族館は飼育する力、調査･研究する力、教育する力、情報発信する力、展示する力が合わさって生きた水族館へ発展します。かごしま水族館が２５年以上かけて、漁業者や水族館ボランティア、大学や研究機関、来館者の皆様、その他の多くの応援によって進めてきたことを「水族館学」としていっしょに学んでいきたいと思っています。

【受講前の準備学習等】

書籍等から海洋や環境、生物多様性に関する基本学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

かごしま水族館施設入館料（各日1,500円）、または年間パスポート（3,000円、１年間有効）が必要です。また、入館料とは別に、施設管理費（1,000円）が必要です。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目」に該当します。
・２日間とも、いおワールドかごしま水族館で実施し、現地集合・現地解散となります。受講者には別途詳細をお知らせいたします。
・通常の時間を変更して実施します。
・動きやすい服装でお越しください（2日目は、濡れた場合に備えて着替えを準備してください）。
・長靴を準備します（受講生は事前にサイズを連絡していただきますが、当日履いてみてサイズが合わない場合は、取り替えが可能です）。
・魚介類を触るとアレルギー反応がある方は事前にお知らせください。
・水族館内は滑りやすい場所や階段での移動が多いため、健康で階段の昇降に支障の無い方に限ります。
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（別冊子「開設科目一覧」P.17参照）。
・いおワールドかごしま水族館ホームページ（http://ioworld.jp/）

鹿児島学習センター奄美会場実施科目（46A）

※　奄美会場で開講する科目は以下の2科目です。鹿児島学習センターでは実施しませんので、実施会場を間違えないようご注意ください。

科目コード	2635526
学習センター(コード)	46A
クラスコード	L
科目名	**リスクコミュニケーション論**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	10名
担当講師	奈良（ナラ）　由美子（ユミコ） 放送大学教授
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 10月29日（日） 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	鹿児島県立奄美図書館第１研修室(4階) （奄美市名瀬古田町１－１） ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の２ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。(90ページ参照)

わたしたちが生きる現代について「現代はリスク社会である」との記述がしばしば用いられます。この記述の意味を論じるときには、①リスクの客観的な様相の局面、②リスクの主観的な認識の局面、そして③リスクへの対処の局面を考えなければなりません。この授業では、まずリスクの様相についておさえたうえで、主にリスクの認識（リスク認知）と対処の局面（リスクコミュニケーション）について具体的な事例を交えながら考えます。

【授業テーマ】

第１回　緒言（授業の構成、授業のねらい、授業と評価の方法）
第２回　リスクの様相（リスク定義、リスクの本質、不確実性、リスクの分類、リスクの実際）
第３回　リスクの認知（１）（主観リスク、客観リスク、ヒューリスティック、認知バイアス）
第４回　リスクの認知（２）（リスクの受容、便益、ゼロリスク要求）
第５回　リスクの認知（３）（個体的要因、文化的・環境的要因、日本人のリスク観）
第６回　リスクコミュニケーション（１）（欠如モデル、リスクコミュニケーションの概念と目的、相互作用プロセス、技法）
第７回　リスクコミュニケーション（２）（信頼、伝統的信頼モデル、主要価値類似性モデル、リスクガバナンス、事例）
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】

この授業では、いかに私たちがリスクを客観的には見ていないかということを理解します。さらに、立場の異なる人たちのあいだでリスクに対処するための手法の一つであるリスクコミュニケーションについて学びます。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635488
学習センター（コード）	46A
クラスコード	K
科目名	**唐詩へのいざない**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	15名
担当講師	高津（タカツ）　孝（タカシ） 放送大学鹿児島学習センター所長
日程実施時間	11月25日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 第５時限　16:50～18:05 試験・レポート等 18:05～18:20 11月26日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:10 第３時限　13:00～14:30 試験・レポート等 14:30～15:00
実施会場	鹿児島県立奄美図書館第１研修室(4階) （奄美市名瀬古田町１－１） ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

中国唐代の詩は、日本人に特に好まれ、日本文学にも大きな影響を与えてきた文学です。皆さんも、今回、ご紹介する唐詩については、これまでどこかで読んだことがあったり、テレビなどで視聴したことがあるでしょう。この授業では唐詩の中でも特に著名な詩人、王維、李白、杜甫、白居易らの作品を取り上げ、唐王朝の歴史や詩人の経歴、詳しい語句の解釈について説明し、より深く唐詩を理解する手助けをします。この授業を通じて、唐詩が身近なものになります。

【授業テーマ】

第１回　唐という時代と詩人たち：王翰・涼州詞
第２回　山水詩の世界：王維・鹿柴
第３回　別れの歌：李白・黄鶴楼の詩
第４回　寒山寺の鐘：張継・楓橋夜泊
第５回　孤独を詠む：柳宗元・江雪
第６回　住めば都：白居易・香炉峰の詩
第７回　杜牧・江南春
第８回　戦争と詩歌：杜甫・春望

【学生へのメッセージ】

特に準備は必要ありません。唐詩に興味を持ち、勉強してみようという意欲のある方は是非受講してみてください。唐詩を味わいつつ、一緒に勉強して行きましょう。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

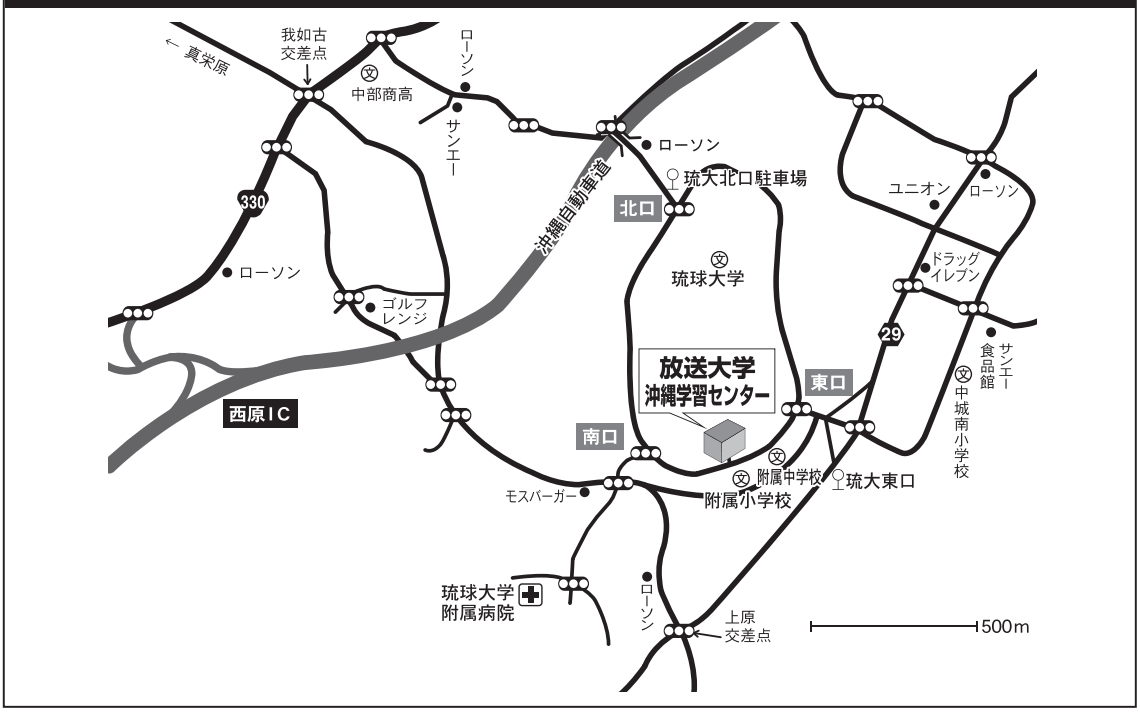
漢詩への招待（石川忠久／文藝春秋／￥803／ISBN=9784167679613）
ビギナーズ・クラシックス　中国の古典　唐詩選（深澤一幸／角川学芸出版／￥817／ISBN=9784044072162）

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（別冊子「開設科目一覧」P.17参照）。

沖縄学習センター
（コード：４７Ａ）

沖縄学習センター案内図　☎098-895-5952



【所在地】〒903-0129　沖縄県中頭郡西原町字千原1
（琉球大学地域国際学習センター棟4・5階）

【交通アクセス】

97番 琉大線（那覇バス）　主な経由地
那覇バスターミナル－牧志－儀保－琉大附属病院前－琉大東口で下車、徒歩約10分

98番 琉大線（琉球バス）　主な経由地
那覇バスターミナル－牧志－おもろまち駅前－興南高校前－真栄原－沖国大前－
琉大北口駐車場（終点）で下車、徒歩約15分

●沖縄都市モノレール
（経路）那覇空港駅－……－首里駅－石嶺駅－経塚駅－浦添前田駅－てだこ浦西駅（終点）
※「那覇空港駅」から「てだこ浦西駅」までの標準時間37分。
てだこ浦西駅下車、沖縄学習センターまでタクシーで約15分

【その他連絡事項】

（昼食について）
・土曜日については、琉球大学内の学食をご利用いただけます。
（利用時間：土　11:30～14:30　**※日曜日は休み**）
・沖縄学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

科目コード	2635658
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科　目　名	**南島考古学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定　　員	40名
担当講師	上原　静（ウエハラ　シズカ） 沖縄国際大学名誉教授
日程実施時間	10月14日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月15日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

琉球列島に展開した先史・原史・歴史時代の文化を概観します。まず、沖縄諸島の新石器時代がどのような過程で形成されてきたのかをみます。その次に沖縄諸島と起源を異にする宮古・八重山諸島の先史文化を紹介し、その特質を探ります。

【授業テーマ】
第１回　講義概要の説明、沖縄考古学の歩み
第２回　沖縄の旧石器時代　概説
第３回　沖縄の縄文時代　概説
第４回　沖縄のうるま時代（弥生～平安平行期）　概説
第５回　先島諸島の先史時代（有土器・無土器）　概説
第６回　グスク時代　概説
第７回　琉球王国時代
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】
講義中の質問、コメントという形での参加を望みます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。とくに生活圏にある遺産の所在や由来について、関心をもって調べていてほしい。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
南島考古入門（沖縄考古学会編／ボーダーインク／￥2,200／ISBN=9784899823421）

科目コード	2635690
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科　目　名	**神経科学入門**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定　　員	14名
担当講師	高木　博（タカギ　ヒロシ） 琉球大学大学院 医学研究科准教授
日程実施時間	10月14日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月15日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

脳と神経の仕組みを理解することによって、自分の脳を上手く活用できるかその方法について考えていきます。私たちの生活にどのような恩恵をもたらすかについても解説します。また、最先端の脳研究の成果についても紹介します。パソコンを用いた、実験プログラムを用いることによって、脳や神経の機能を体験してもらうことも考えています。

【授業テーマ】
第１回　脳と神経の仕組みについて（１）　神経細胞とグリア細胞
第２回　脳の神経の仕組みについて（２）　シナプス伝達と可塑性について
第３回　脳の神経の仕組みについて（３）　記憶のメカニズム
第４回　脳の神経の仕組みについて（４）　最新の研究成果について
第５回　脳と神経の仕組みを体験する（１）　神経細胞の活動電位の発生機構を実験によって体験する
第６回　脳と神経の仕組みを体験する（２）　記憶のメカニズムを実験によって体験する
第７回　脳のメカニズムの産業応用　（１）　臨床分野への応用
第８回　脳のメカニズムの産業応用　（２）　工業分野への応用

【学生へのメッセージ】
脳をしっかりと働かせることができるように、体調を整えて、ご参加ください。
教科書の内容をそのまま解説するのでは、図書館で本を読んでいるのと同じになってしまいます。教科書には書いてない最近の知見をできるだけ紹介します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
もっとよくわかる! 脳神経科学－やっぱり脳はスゴイのだ！（実験医学別冊 もっとよくわかる! シリーズ）（工藤佳久／羊土社／￥4,620／ISBN=9784758122016）

科目コード	2635585
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**お金についての本当の話**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	120
定員	28名
担当講師	日熊（ヒノクマ）　隆則（タカノリ） 元琉球大学 教育学部准教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月22日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

この講義に副題をつけるならば、『大人の常識が子どもたちの未来を破壊する』とでもなるでしょう。

私たち大人の９９％の人がお金に対して誤解をしているため、未来の子どもたちに大変なつけを残すことになるのです。それを防ぐには、私たち大人一人ひとりがお金に関しての正しい認識を持ち、それをひろげることが急務です。

この講義では、お金に関しての正しい認識を持つための基礎をゆっくり学んでいきます。

【授業テーマ】

第１回　衰退国家日本！？
第２回　国民ひとり当たり1000万円の借金ってどういうこと？
第３回　消費税は何パーセントにするべきなんだろう
第４回　お金の正体、お金はいつ生まれていつ消えるのか
第５回　国債発行の仕組みを知ろう
第６回　税金の役割と消費税
第７回　君たちはまだ長いトンネルの中
第８回　子どもたちの未来のためにどうすべきか

【受講前の準備学習等】

国の借金はどうすべきか？消費税は何％にするべきか？を自分なりに考えておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この科目は2009 ～ 2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2635623
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**怒り解消のアンガーマネジメント**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	大湾（オオワン）　知子（トモコ） 琉球大学 医学部准教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月22日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

アンガーマネジメントについての基礎知識を習得して自分自身の怒りを分析します。さらに、怒りをコントロールして　解消する方法について理解を深め、自分自身で怒りのマネジメントができるようになり日常生活の実践に活かせます。快適に過ごせるチャンスにもなりますので、一緒に学びましょう。

【授業テーマ】

第１回　アンガーマネジメントに関する基礎知識・用語の定義
第２回　怒りの諸問題と怒りのスタイル
第３回　隠された怒りスタイル（怒り回避・危険な怒り）
第４回　隠された怒りスタイル（内に向けられる怒り）
第５回　習慣的な怒りスタイル
第６回　突然の怒り解消のアンガーマネジメント
第７回　道徳的な怒り解消のアンガーマネジメント
第８回　怒り解消のアンガーマネジメントのまとめ

【学生へのメッセージ】

怒りは、私たちが生きている中で自分自身が「問題である」という捉え方で生じます。その時の問題について、多角的な見方をしたり、活力が湧き出るパワーアップにより、うまく怒りを解消できることを学びましょう。

【受講前の準備学習等】

受講前に自分が怒る時は、どういう場合（いつ、どこで、だれに、どのように、なぜ）か、どのように解消したのかをノートに書いて授業で自己分析に努めましょう。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

自分自身の怒りを箇条書きに列挙して書いたノートを持参してください。当日、自己分析に役立てられます。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

アンガーマネジメント 11の方法―怒りを上手に解消しよう（ロナルドT.ポッターエフロン, パトリシア S.ポッターエフロン著；藤野京子監訳／金剛出版／￥3,740 ／ ISBN=9784772415132）

自分の「怒り」タイプを知ってコントロールするはじめての「アンガーマネジメント」実践ブック（安藤俊介／ディスカヴァー・トゥエンティワン／￥1,650 ／ ISBN=9784799319574）

科目コード	2624990
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	古川（フルカワ）　卓（タカシ） 琉球大学 保健管理センター教授
日程実施時間	10月21日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月22日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

本講義では、代表的な心理学実験を３つ取り上げます。「心的回転」、「自由再生」そして「ドット・プローブ課題」です。受講生の皆さんは、実験者、実験参加者、そしてレポート（論文）作成者の３つの立場を兼ねて参加してください。実験は各自パソコンを操作して、実験の実施（データ収集）、レポート作成を行います。

受講生の皆さんは、８コマの授業すべてに出席し、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】

第１回　心理学実験とレポートの書き方
第２回　実験１「心的回転」の実施
第３回　実験１「心的回転」のデータ分析とレポート作成
第４回　実験２「自由再生」の実施
第５回　実験２「自由再生」のデータ分析とレポート作成
第６回　実験３「ドット・プローブ課題」の実施
第７回　実験３「ドット・プローブ課題」のデータ分析とレポート作成
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】

パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、ワード、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいてください。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

授業当日は、USBメモリ（実験のデータ保存用）及び学生証、指定した教科書「心理学実験を遊ぼう！」を持参してください。

また、可能な場合は、各自のノートパソコンを持参して来てもよいです。

【教科書】

心理学実験を学ぼう！（小河妙子・斉藤由里・大澤香織／金剛出版／￥2,420／ISBN=9784772411608）

【その他（特記事項）】

心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。

放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。

事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2624516
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	14名
担当講師	國田（クニタ）　樹（イツキ） 琉球大学 工学部准教授
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月29日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。

【授業テーマ】

第１回　パソコンの基本操作（キーボード入力･マウス操作･オンライン授業に必要な基本スキル）
第２回　ワードによる文書作成とPDF保存
第３回　Web とメールの活用
第４回　セキュリティ
第５回　システムWAKABA・自己学習サイト
第６回　放送大学附属図書館の電子情報サービス
第７回　オンライン授業の実践
第８回　まとめと振り返り（第７回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）

【学生へのメッセージ】

基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートしますので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講できます。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

授業当日は、USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です）及び学生証（授業内でログイン操作を伴う実習があります）を必ず持参してください。

【教科書】

新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学）授業当日に配布します。

【その他（特記事項）】

この科目は2009 ～ 2015年度「基礎科目」に該当します。
（履修制限）「初歩からのパソコン」の単位を修得済みの方は登録できません。
「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。

科目コード	2635607
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**基礎からはじめる英語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	12名
担当講師	大城（オオシロ）　賢（ケン） 琉球大学名誉教授
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月29日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 小講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

英語の基礎で躓いた人は多いと思います。また、「英文法は大嫌い」という学生も多いことでしょう。そこで、文法を中心に英語を基礎から学びます。

【授業テーマ】
第１回　英語の効果的な学び方
第２回　冠詞/複数形
第３回　基本文型
第４回　助動詞
第５回　動名詞と不定詞
第６回　受動態
第７回　関係代名詞
第８回　英語の語彙

【学生へのメッセージ】
英語を基礎から学びたい学生におススメです。暗記型の学習ではなく、英文法の「理屈」を学びます。「理屈」がわかれば英文法も楽しくなります。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習を進めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英語辞書（電子辞書可）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009 ～ 2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2635615
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**老年学への招待**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	14名
担当講師	下地（シモジ）　敏洋（トシヒロ） 琉球大学大学院 教育学研究科教授
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月29日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

少子高齢社会が進展する中、高齢期の特徴及び老化の過程を理解することは、生涯発達の視点からますます重要なものとなっています。本授業では、老年学に関する研究知見を踏まえ、主観的幸福感及び健康寿命の背景要因等に関する理解の深化を主な目的としています。「生涯発達」を共通のコンセプトとして、講義及び議論を通して学びます。

【授業テーマ】
第１回　高齢者のイメージと特徴
第２回　健康長寿者の特徴
第３回　高齢期のライフイベントと課題
第４回　老化理論と寿命
第５回　老化と生涯発達
第６回　生きる意味と生きがい
第７回　死の準備教育
第８回　主観的幸福感の背景要因

【学生へのメッセージ】
日本人の平均寿命は女性87.26歳、男性81.09歳と着実に寿命が延びていますが、正しい老化の過程は十分に理解されていないのが現状です。「生涯発達の視点」から老化を捉え、健康長寿の背景要因や主観的幸福感について考えます。

【受講前の準備学習等】
健康長寿や生きがい等について、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
東大がつくった高齢社会の教科書（東京大学高齢者社会総合研究機構 編／東京大学出版／￥1,980 ／ ISBN=9784130624183）※書店、ネットでの購入が可能です。

科目コード	2635640
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**脳の機能とその異常の物質的理解**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	山本（ヤマモト）　秀幸（ヒデユキ） 沖縄リハビリテーション福祉学院学院長
日程実施時間	10月28日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月29日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

誰でも、試験前日には、自分の記憶力の悪さを嘆いたことがあったと思います。そして歳をとると記憶力が悪くなったと実感することも多くなります。また、私達は、多くのストレスにさらされながら生活しています。時には、心が晴れないこともあるかもしれません。さらに体の動きも昔と違うと嘆くこともあると思います。そんな時、脳のことを少し勉強していると不安が和らぐかもしれません。この講義では、脳について、私がこれまで研究や講義をしてきた中から、いくつかのテーマを選び、わかりやすく説明させて頂く予定です。

【授業テーマ】
第１回　記憶とその異常1（記憶の種類と記憶に関わる脳の部位）
第２回　記憶とその異常2（記憶の科学的理解）
第３回　記憶とその異常3（認知症とアルツハイマー病の概説）
第４回　精神・神経疾患の物質的理解1（うつ病と躁うつ病の概説）
第５回　精神・神経疾患の物質的理解2（うつ病と躁うつ病の治療）
第６回　精神・神経疾患の物質的理解3（統合失調症の概説）
第７回　精神・神経疾患の物質的理解4（パーキンソン病の概説）
第８回　麻薬性鎮痛薬と脳内の鎮痛に関わる物質

【学生へのメッセージ】
心理学的な話題については触れません。治療薬は、それぞれの病気の原因を理解するために説明し、診療の場での投与量などについては触れません。脳の細かい解剖やCTなどの画像診断についても触れない予定です。

【受講前の準備学習等】
できるだけわかりやすく話す予定ですが、大脳皮質、海馬、神経細胞、神経伝達物質、シナプス、受容体という言葉の意味はある程度知っておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2635682
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**ＡＩ・機械学習入門**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	14名
担当講師	宮田（ミヤタ）　龍太（リョウタ） 琉球大学 工学部助教
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月５日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

現在さまざまな分野で利活用が進んでいるAI（人工知能）技術を支える機械学習・ディープラーニングの基本原理について、プログラミングで実際に手を動かしながら学びます。

【授業テーマ】
第１回　AI・機械学習の概要を理解する
第２回　決定木を理解する
第３回　ランダムフォレストを理解する
第４回　線形回帰を理解する
第５回　ロジスティック回帰を理解する
第６回　ニューラルネットワークを理解する
第７回　畳み込みニューラルネットワークを理解する
第８回　ディープラーニングの概要を理解する

【学生へのメッセージ】
初学者大歓迎です。「Google Colaboratory」というGoogleが提供しているブラウザでAIプログラミングが無料でできるサービスを使います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業内でPCにログインするため、学生証は必ず持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
Pythonで動かして学ぶ！あたらしい機械学習の教科書 第3版（伊藤真／翔泳社／￥2,970 ／ ISBN=9784798171494）授業の第1回と第4回から第7回で扱う内容が記載されています。
深層学習教科書 ディープラーニング G検定（ジェネラリスト）公式テキスト 第2版（猪狩宇司、今井翔太、江間有沙、岡田陽介、工藤郁子、巣籠悠輔、瀬谷啓介、徳田有美子、中澤敏明、藤本敬介、松井孝之、松尾豊、松嶋達也、山下隆義、一般社団法人日本ディープラーニング協会／翔泳社／￥3,080 ／ ISBN=9784798165943）

科目コード	2635704
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科　目　名	**やさいの機能性**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定　　員	40名
担当講師	上地（ウエチ）　俊徳（シュントク） 一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター参与
日程実施時間	11月４日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月５日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

「人生100年時代」とは何？今回は全８回の講義を通して“健康で長生き”のための“ヒント”となる“医食情報”を講義します。目標は“二つの寿命”の延伸ですが､そこには“生活習慣病”と“医療費増大”の２課題が立ち塞がっています。そこで消費者庁にできたのが“機能性食品制度”です。その内容や国の施策を概説し、野菜・肉・魚等に含まれる機能性関与成分を取り上げ、機能性食品に期待される健康への影響・効果を検証します。後半では農水畜産物にヒトが手を加えた“ゲノム編集食品”の概要及び“島やさい”の機能性等を紹介します。

【授業テーマ】
第１回　人生100年時代とは？世界の平均・健康寿命 / 寿命と遺伝子
第２回　国の健康寿命延伸プラン/高齢者科学（フレイル・睡眠・運動）
第３回　機能性食品制度：制度誕生の背景/超高齢化社会の課題
第４回　機能性表示食品各論（1）：”生鮮食品”中の機能性関与成分
第５回　機能性表示食品各論（2）：”加工食品”中の機能性関与成分
第６回　おきなわの伝統野菜等の機能性試験
第７回　人手を加えたゲノム編集食品の誕生：付加価値の付与
第８回　長寿日本一奪回を目指す沖縄県の取り組み～総括

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容を参考の上自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2624680
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科　目　名	**心理学実験１**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	20名
担当講師	遠藤（エンドウ）　光男（ミツオ） 八戸学院大学 健康医療学部教授
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月12日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学の基礎的な実験の中から3つの実験（社会的促進、ミューラー・リヤー錯視､心理尺度）を行います。皆さんはそれらの実験に実験者や参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。それらを行うことによって、実験の方法、結果のまとめ方、研究レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理学実験、記述統計、レポートの書き方等の説明
第２回　実験1「社会的促進」の実施
第３回　実験1「社会的促進」のデータ整理とレポート作成
第４回　実験2「ミューラー・リヤー錯視」の実施
第５回　実験2「ミューラー・リヤー錯視」のデータ整理とレポート作成
第６回　実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の実施
第７回　実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」のデータ整理とレポート作成
第８回　まとめ

【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等に、パソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（エクセル、ワード等）を習得しておいてください。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、USBメモリ（実験データ保存用）及び学生証を持参してください。
また、可能な場合は、各自のノートパソコンを持参してもよいです。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18)」､「心理学研究法（'20)」､「心理学統計法（'21)」を視聴してください。

科目コード	2624737
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	田中（タナカ）　寛二（カンジ） 琉球大学 人文社会学部准教授
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月12日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理検査に関して、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介を行う。その後、２種類の心理検査（Y－G性格検査とバウムテスト）と１種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などに関する説明を行う。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめる（レポートは自宅で仕上げ、後日提出）。

【授業テーマ】

第１回　心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意
第２回　心理検査が測定する対象～知能、性格、無意識などの概説
第３回　心理検査の結果の解釈に重要な情報
第４回　具体的な心理検査１　Y－G性格検査
第５回　具体的な心理検査２　Y－G性格検査
第６回　具体的な心理検査３　バウムテスト
第７回　具体的な心理検査４　バウムテスト
第８回　具体的な心理検査５　心理尺度（タイプA性格）

【学生へのメッセージ】

実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめ１週間以内に提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。なお、レポートは、単位認定試験成績通知後に返却します。

【受講者が当日用意するもの】

授業当日は、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、４Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4 単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

科目コード	2635712
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**沖縄の自然環境と世界自然遺産**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	佐々木（ササキ）　健志（タケシ） 琉球大学博物館助教
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月12日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10
実施会場	１日目（11月11日） 沖縄学習センター中講義室 ２日目（11月12日） 第3・4時限琉球大学博物館 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

先ず沖縄を特徴づける「島」をキーワードに、琉球列島の成り立ちやそこに生息する様々な生物などから、東洋のガラパゴスとも呼ばれる沖縄の自然環境の特性を概観します。さらに、沖縄の人たちが、どのように自然を上手く利用しながら暮らしてきたのかを、植物利用を中心に紹介します。そして、なぜ沖縄が世界自然遺産に登録されたのか、また登録によって見えてきた様々な課題について、自然環境の保全と観光の両面から解説します。第7、8回は、琉球大学博物館で授業に関連した実物標本を見ながら、それまでの学習内容を振り返ります。

【授業テーマ】

第１回　沖縄の自然環境の特性
第２回　やんばるの自然と環境問題
第３回　沖縄の外来生物
第４回　沖縄のホタル
第５回　沖縄の植物と人の暮らし
第６回　沖縄の世界自然遺産とこれからの課題
第７回　琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説1
第８回　琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説2

【学生へのメッセージ】

受講に際して、沖縄が世界自然遺産に登録されたことを受け、登録によるメリットとデメリット（課題）についてみなさんで考えてみてください。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。なお、レポートは、後日提出です。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

第７、８回に琉球大学博物館で解説します。「学生教育研究災害傷害保険（100円）」及び「通学中等傷害危険担保特約」（40円）の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。（開設科目一覧P.17参照）

科目コード	2635593
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**日本語教育の世界 ～入門編～**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	120
定員	16名
担当講師	尚（ショウ） 真貴子（マキコ） 沖縄国際大学 総合文化学部教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月３日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

日本語教育は「日本語を学ぶこと」、あるいは「日本語を教えること」です。学ぶ側はなぜ日本語を勉強し、教える側はそのために何を伝えていけばいいのでしょうか。基盤にあるのは、円滑なコミュニケーションと良好な人間関係を築くことで、まずは、日本語について知ることです。そこで、本授業では日本語を客観的な視点から見つめ直し、日本語学習者が「何を」「どのように」学んでいるかを基礎となる幅広い事柄から見ていきます。日本語教育の世界を知りたい方、これから歩みたいと考えている方の入門として役立ててください。

【授業テーマ】
第１回　日本語教育事情（国内／海外）
第２回　日本語学習者と日本語教師
第３回　日本語学習者の視点からの日本語
第４回　日本語の語彙と意味
第５回　学習レベルと教材・教具
第６回　教材分析と小道具活用法
第７回　日本語学習者の作文の添削
第８回　まとめ（振り返り）

【学生へのメッセージ】
一方的な講義ではなく、皆さんと意見を交換しながら、双方向的な授業を行う予定です。また、グループワークや他の受講生とともに協力して、主体的に楽しく学びましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスに記載されている毎回の講義テーマを確認し、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
超基礎・日本語教育（太田陽子他５名／くろしお出版／￥1,760／ISBN=9784874248034）
日本語を教えるための教材研究入門（深澤のぞみ・本田弘之／くろしお出版／￥1,980／ISBN=9784874248201）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2635666
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**世界文化遺産というシステム**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	河野（コウノ） 俊行（トシユキ） 九州大学名誉教授
日程実施時間	12月２日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月３日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

本講義では、世界遺産条約が生まれた背景、世界遺産制度の仕組み、現状と課題そして未来について、体系的にアプローチします。その際、できるだけ多様な具体例を用いることで、世界の文化多様性を実感できるようにデザインします。さらに、世界遺産以外の文化遺産保護分野の条約、とりわけ水中文化遺産条約、無形文化遺産条約についても概観することで、広い視野から国際文化遺産法の概要が把握できるようにします。

【授業テーマ】
第１回　世界遺産条約の成立と制度的構造
第２回　世界遺産の登録プロセス、変遷、政治過程
第３回　顕著で普遍的価値（その１）：登録基準
第４回　顕著で普遍的価値（その２）：真実性、完全性、管理計画
第５回　モニタリング、危機リスト
第６回　文化遺産概念の進化と世界遺産の諸相
第７回　世界遺産の課題と未来
第８回　関連文化遺産条約：水中文化遺産と無形文化遺産条約を中心に

【学生へのメッセージ】
制度としての世界遺産を体系的に解説します。事例や場合によっては動画を活用して楽しめるものを創り上げたいと考えています。

【受講前の準備学習等】
参考書等を用いて、事前に関連する基礎知識を習得しておくことをお勧めします。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
世界文化遺産の思想（西村幸夫・本中眞（編）／東京大学出版／￥3,080／ISBN=9784130230742）

科目コード	2625164
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科　目　名	**家族心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	40名
担当講師	井村（イムラ）　弘子（ヒロコ） 放送大学 沖縄学習センター客員教授
日程実施時間	12月９日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月10日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

「家族」の定義や機能は社会とともに変容してきました。本講義では、「家族心理学」という新しい学問領域から「家族」という小集団をとらえ、家族理解の鍵となる理論や概念、全体をシステムとしてとらえる見方・考え方について解説します。また、家族療法の実際をDVD等で視聴することにより、家族支援の具体的な方法について、事例を交えながら紹介します。そして、家族をめぐる現代の心理的課題について考察したいと思います。

【授業テーマ】
第１回　家族の定義と機能　家族多様性
第２回　家族システム理論　システムの中の家族
第３回　家族の中の関係性　会話分析
第４回　家族の構造的特徴
第５回　家族の発達的特徴
第６回　家族の支援に役立つ援助技法
第７回　事例に学ぶ家族支援のあり方
第８回　家族をめぐる現代の心理的課題

【学生へのメッセージ】
講義のテーマに沿って、受講生に意見を述べてもらったり、コメントシートを提出してもらったりします。主体的に受講してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容を確認し、参考書等を読んで、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
家族の心理　第２版　家族への理解を深めるために（平木典子・中釜洋子・藤田博康・野末武義／サイエンス社／￥2,090 ／ ISBN=9784781914480）
家族心理学　第２版　家族システムの発達と臨床的援助（中釜洋子・野末武義・布柴靖枝・無藤清子／有斐閣／￥2,750 ／ ISBN=9784641184466）

科目コード	2624710
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科　目　名	**心理学実験３**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定　　員	20名
担当講師	廣瀬（ヒロセ）　等（ヒトシ） 琉球大学 教育学部教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月17日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

心理学における実験的研究を３つ（ストループ効果、短期記憶検索、ＳＤ法）取り上げます。
受講生の皆さんは、それらの実験に実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、８コマの授業全てに出席し、３つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】
第１回　心理学の研究法
第２回　ストループ効果の実験１
第３回　ストループ効果の実験２
第４回　心理学的なレポートの作成
第５回　短期記憶検索の実験１
第６回　短期記憶検索の実験２
第７回　ＳＤ法１
第８回　ＳＤ法２

【学生へのメッセージ】
心理学的な研究法を習得するということの中には、単に実験や調査に参加するだけでなく、得られたデータをパソコンで集計・分析すること、科学的な形式でレポートにまとめることも含まれます。やることは非常に多いので、積極的な参加意図を持って受講してください。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容については、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日は、USBメモリ（実験データの保存用）を持参してください。また、システムWAKABAにログインする際には、ご自身のログインID及びパスワードが必要となりますので、忘れないでおいてください。
また、可能な場合は、各自のノートパソコンを持って来てもよいです。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１･心理学実験２･心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2635674
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**ユーラシアの都市と交通空間**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	長部（オサベ）　悦弘（ヨシヒロ） 琉球大学名誉教授
日程実施時間	12月16日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月17日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施

授業概要

内陸部と沿海部から成るユーラシアを東部・中部・西部の3大地域に分けた上で、自然環境を背景に成立した都市と交通路線網の紡いだ歴史を、3大地域を通貫した所謂「シルク＝ロード」も視野に入れて講義します。複数の都市を結ぶ交通路線網は山脈間平原上の陸上交通路はもとより、内海・湖沼・河川を利用して生まれた水上交通路により形成されました。本授業では交通路線網、とりわけても水上交通路に焦点を当て代表的な都市を取り上げてユーラシアで展開してきた歴史を見てみることとします。

【授業テーマ】
第１回　序章ユーラシアの地形概観　山脈・平原・内海・湖沼・河川
第２回　第１章ユーラシア西部第１節ローマ・イスタンブール・カイロ
第３回　第１章ユーラシア西部第２節キーウ（キエフ）・モスクワ
第４回　第１章ユーラシア西部第２節サンクトペテルブルク：第３節パリ
第５回　第２章ユーラシア中部第１節バグダッド：第２節サマルカンド
第６回　第３章ユーラシア東部第１節長安：第２節洛陽
第７回　第３章ユーラシア東部第３節開封・揚州・杭州
第８回　第３章ユーラシア東部第４節大阪・京都・奈良

【学生へのメッセージ】
各都市の歴史と現在の様子を視聴覚教材でみながら、みなさんが楽しめるよう紹介します。

【受講前の準備学習等】
授業で取上げる都市の位置・地形を世界地図・日本地図を事前に確認しておいてください。なお授業で使う地図は配付します。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

沖縄学習センター（47A）（石垣市会場実施科目）

科目コード	2635631
学習センター（コード）	47A
クラスコード	K
科目名	**健康生成論とストレス対処力**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	戸ヶ里（トガリ）　泰典（タイスケ） 放送大学教授
日程実施時間	11月11日（土） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月12日（日） 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	大濱信泉記念館多目的ホール （沖縄県石垣市登野城2－70） ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

医療・看護・福祉系の現場では疾患の治療や予防という医学生物学的観点だけでなく広い意味での健康の回復、維持、増進という生活や人生といった観点でのアプローチが必要になります。これをストレス対処の切り口で、社会レベルで捉えて整理した健康社会学者アントノフスキーの理論を基礎から分かりやすく解説します。グループワークを交えながら、より良い私たちの生き方・ストレスへの向き合い方、ヘルスプロモーション（健康推進）のありかたについて考えていきます。

【授業テーマ】
第１回　健康管理の歴史と健康生成論
第２回　健康生成のメカニズムとストレス対処力SOC
第３回　ストレス対処力SOCとその測り方
第４回　SOCの形成と強化の理論
第５回　家族・家庭とSOC
第６回　仕事・職場とSOC
第７回　臨床・政策的応用の可能性
第８回　臨床・政策的応用についてのグループ討議

【学生へのメッセージ】
保健医療福祉専門職の方から、一般の方まで、また、所属コースを問わず、様々な方の受講を歓迎します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中のグループワークの参加状況及びグループワークでの成果（提出物）により評価します。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

学習センター以外の場所で行う面接授業

以下の科目は、学習センター・サテライトスペース以外の場所で行う面接授業です。
科目登録の際は、授業実施会場にご注意ください。また、申請の前に必ず本冊子の授業概要にて、詳細（場所・授業概要・当日用意する物等）をご確認ください。
なお、受講に際しては、以下のことにご留意ください。
○食事等は各自でご用意ください。また、ゴミは各自でお持ち帰りいただくようご協力ください。
○会場においては、責任者の指示に従ってください。
○交通費、宿泊費（宿泊を要する場合）については、受講者のご負担となります。

学習センター	科目名	実施会場
福岡	博物館を学ぶ	九州国立博物館1階研修室（太宰府市石坂4－7－2）
	近年の大宰府史跡の調査研究成果	九州歴史資料館、太宰府市内現地研修（福岡県小郡市三沢5208-3、太宰府市内）
	情報化社会における図書館	福岡学習センター及び九州大学附属図書館筑紫図書館（1日目4時限）
佐賀	まちを読み解く	11/4（土）は佐賀学習センター　アバンセ第1研修室、11/5（日）は肥前浜宿旧乗田家住宅（佐賀県鹿島市大村方甲115）
	日本の城と城下町の歴史	11/18（土）佐賀学習センター　アバンセ第1研修室、11/19（日）の1・2限目は佐賀城公園（佐賀県佐賀市城内1）、3・4限目は佐賀大学（佐賀県佐賀市本庄町1）
	微生物による発酵とは？	1/6（土）は佐賀学習センターアバンセ第2研修室・1/7（日）は基山商店（佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151）
長崎	伝統的絵画表現	長崎大学教育学部美術・技術棟2階216室
熊本	西洋建築史研究のエッセンス	熊本学習センター及び熊本大学五高記念館（2日目3時限）
大分	大分の小説を読む	大分学習センター教室2、2日目は日田で現地踏査を行います
	梅園のみた国東の宇宙－鬼の里	大分学習センター教室2、第2回目から8回目は国東に向かい現地学習を行います
	大分の水と温泉	大分学習センター教室2、別府地獄めぐり（海地獄　他）大分県別府市鉄輪559－1　他
	はじめて学ぶ香りの科学	大分学習センター教室1、大分香りの博物館、別府大学36号館発酵食品学科
	大分県郷土料理を探る	別府溝部学園短期大学　調理実習室（大分県別府市亀川中央町29－10）
宮崎	ホスピタリティとマナーを考える	南九州大学宮崎キャンパス1308講義室（宮崎市霧島5丁目1番地2）
	コミュニケーション英語	宮崎サザンビューティ専門学校501号室（宮崎市老松2－1－17）
	韓国語入門	宮崎県婦人会館2F「ほうおう」（宮崎市旭1－3－10）
	病気と薬：薬物治療入門	宮崎サザンビューティ専門学校501号室（宮崎市老松2－1－17）
	会計学2－税務会計（所得税）－	南九州大学宮崎キャンパス1309講義室（宮崎市霧島5丁目1番地2）
	精神保健学	宮崎県立看護大学多目的ホール（宮崎市まなび野3丁目5番地1）
	臨床心理学	宮崎県婦人会館3F「さくら」（宮崎市旭1－3－10）
	心理検査法基礎実習	宮崎県婦人会館3F「さくら」（宮崎市旭1－3－10）
	旧暦と年中行事	宮崎公立大学講義室（宮崎市船塚1丁目1番地2）
	漢字の歴史と文化	宮崎大学木花キャンパス教育学部講義棟（宮崎市学園木花台西1丁目1番地）
	果樹園芸科学	宮崎大学木花キャンパス農学部講義棟（宮崎市学園木花台西1丁目1番地）
鹿児島	戦後日本政治入門	かごしま県民交流センター大研修室第4（東棟4階）（鹿児島市山下町14-50）
	心理アセスメントの基礎	かごしま県民交流センター大研修室第3（東棟4階）（鹿児島市山下町14-50）
	リスクコミュニケーション論	鹿児島県立奄美図書館第1研修室（4階）（奄美市名瀬古田町1－1）
	中国語で話してみよう	かごしま県民交流センター大研修室第3（東棟4階）（鹿児島市山下町14-50）
	鹿児島の自然環境と土砂災害	かごしま県民交流センター大研修室第3（東棟4階）（鹿児島市山下町14-50）
	唐詩へのいざない	鹿児島県立奄美図書館第1研修室（4階）（奄美市名瀬古田町1-1）
	発酵食品のひみつ	かごしま県民交流センター大研修室第3（東棟4階）（鹿児島市山下町14-50）
	日本経済の概観－現状と課題－	かごしま県民交流センター大研修室第3（東棟4階）（鹿児島市山下町14-50）
	水族館学入門	いおワールドかごしま水族館（鹿児島市本港新町3番地1）
沖縄	健康生成論とストレス対処力	大濱信泉記念館多目的ホール(沖縄県石垣市登野城2－70)
	沖縄の自然環境と世界自然遺産	11/11(土)沖縄学習センター中講義室、11/12（日）1・2時限沖縄学習センター中講義室、3・4時限琉球大学博物館

年　　月　　日

２０２３年度　第２学期

面接授業　（＿＿＿＿＿＿ 学習センター サテライトスペース 開設科目）科目追加登録申請書

学生番号				－							－	

氏　　名		
連　絡　先	〒　　－	電　話：　　（　　） メール：

学生証（写）貼付欄

〈郵送の場合は、学生証（写）の添付のない申請書は無効です〉

○一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。

○追加登録申請書は郵送する前に必ず（写）をとり保管しておいてください。

希望	科目コード	クラス	科目名	第１回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
１０				

備考

メ モ（御自由にお使いください）

メ モ（御自由にお使いください）

放送大学

教養学部